

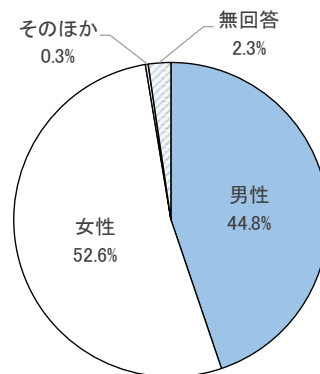
# I 子ども調査

## 第1章 回答者属性（フェイス項目）の概要

### 性別 問59（F1）

■あなたの性別をお答えください。

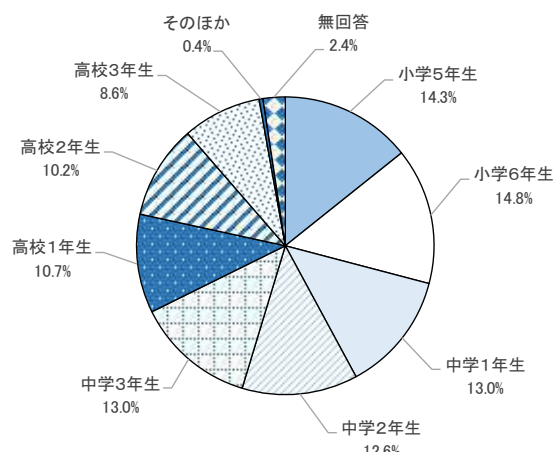
	回答数	構成比
男性	664	44.8%
女性	780	52.6%
そのほか	4	0.3%
無回答	34	2.3%
全体	1,482	100.0%



### 学年 問60（F2）

■あなたの学年をお答えください。

	回答数	構成比
小学5年生	212	14.3%
小学6年生	220	14.8%
中学1年生	192	13.0%
中学2年生	186	12.6%
中学3年生	193	13.0%
高校1年生	159	10.7%
高校2年生	151	10.2%
高校3年生	128	8.6%
そのほか	6	0.4%
無回答	35	2.4%
全体	1,482	100.0%



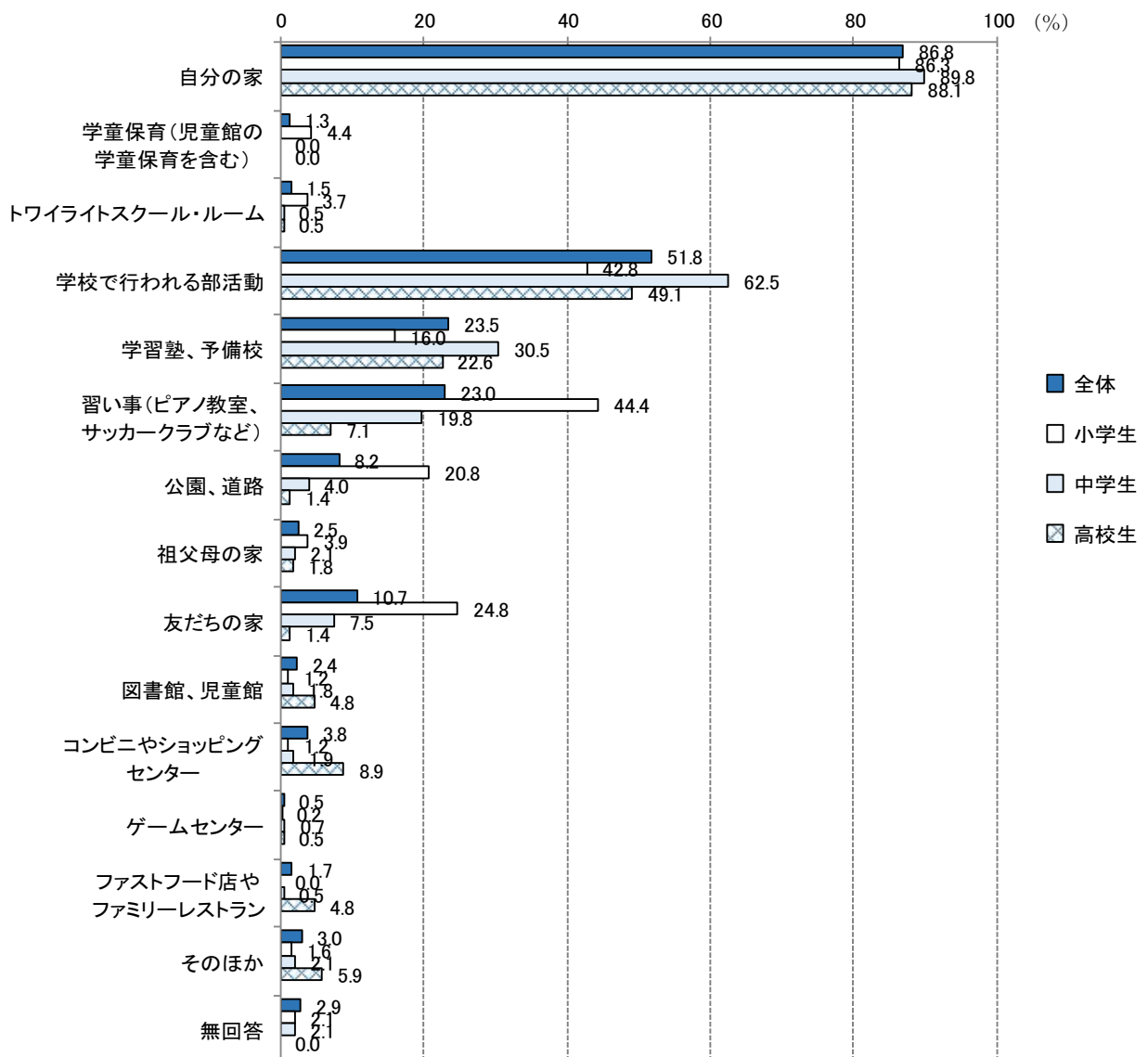
## 第2章 質問

### ～日常の生活や過ごし方に関する質問～

#### 平日の放課後の過ごし方について 【問1】

##### ■あなたは平日の授業が終わった後、主にどこで過ごしますか。(3つまで)

- ◇ 全体の86.8%は「自分の家」で過ごしている。また、「学校で行われる部活動」が51.8%、「学習塾、予備校」が23.5%、「習い事」が23.0%、「友だちの家」が10.7%となっている。
- ◇ 小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「習い事」「公園、道路」「友だちの家」で過ごす割合が高く、中学生は「学校で行われる部活動」、高校生は「コンビニやショッピングセンター」が高くなっている。



回答数 全体=3,314 小学生=1,095 中学生=1,290 高校生=862

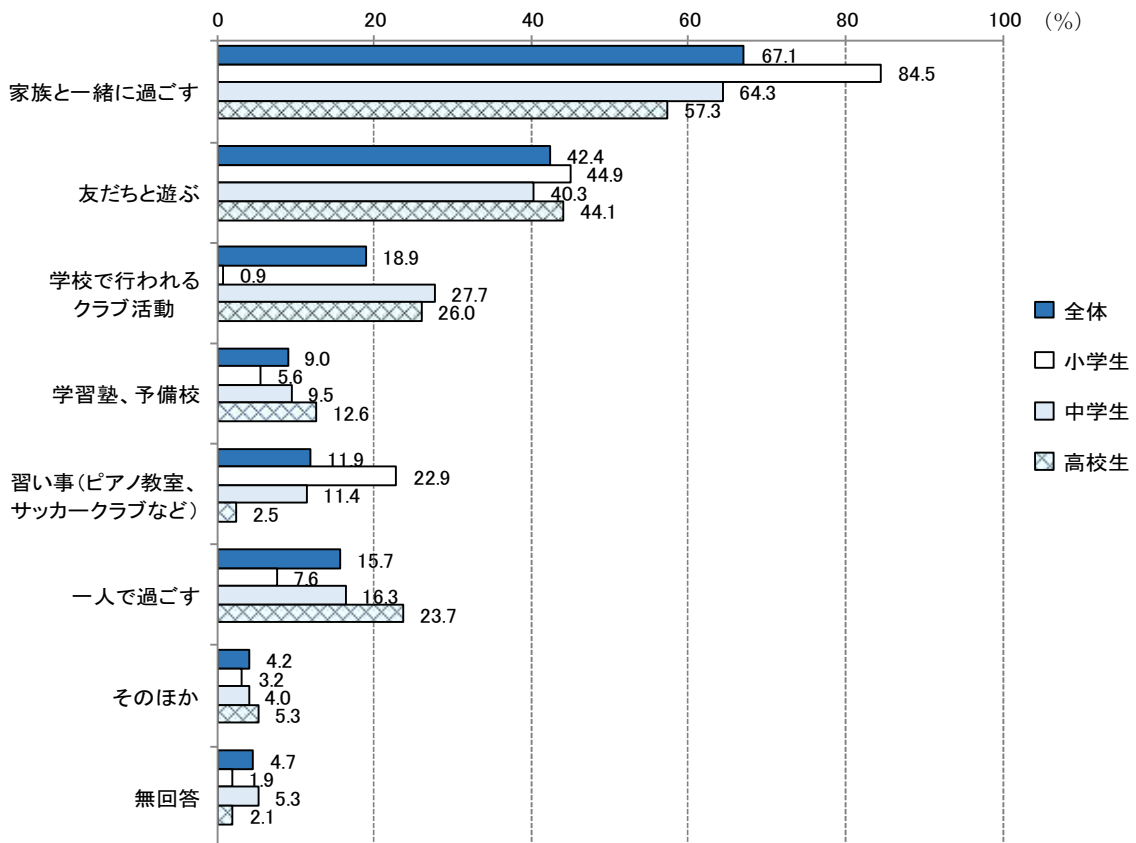
【前回調査との数値比較】

	自分の家で過ごす			友だちの家で過ごす		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	83.3	86.8	3.5	11.2	10.7	▲ 0.5
小学生	83.7	86.3	2.6	21.2	24.8	3.6
中学生	86.2	89.8	3.6	8.6	7.5	▲ 1.1
高校生	80.1	88.1	8.0	5.0	1.4	▲ 3.6

学校が休みの時の過ごし方について 【問 2】

■学校が休みのときは、主にどのように過ごしていますか。(2つまで)

- ◇ 「家族と一緒に過ごす」が 67.1%と最も多く、次いで「友だちと遊ぶ」が 42.4%、「学校で行われるクラブ活動」が 18.9%となっている。また、「一人で過ごす」が 15.7%となっている。
- ◇ 小学生は他の年齢に比べて、「家族と一緒に過ごす」「習い事」の割合が高く、中学生は「学校で行われるクラブ活動」、高校生は「一人で過ごす」割合が高い。



回答数 全体=2,577 小学生=741 中学生=1,020 高校生=760

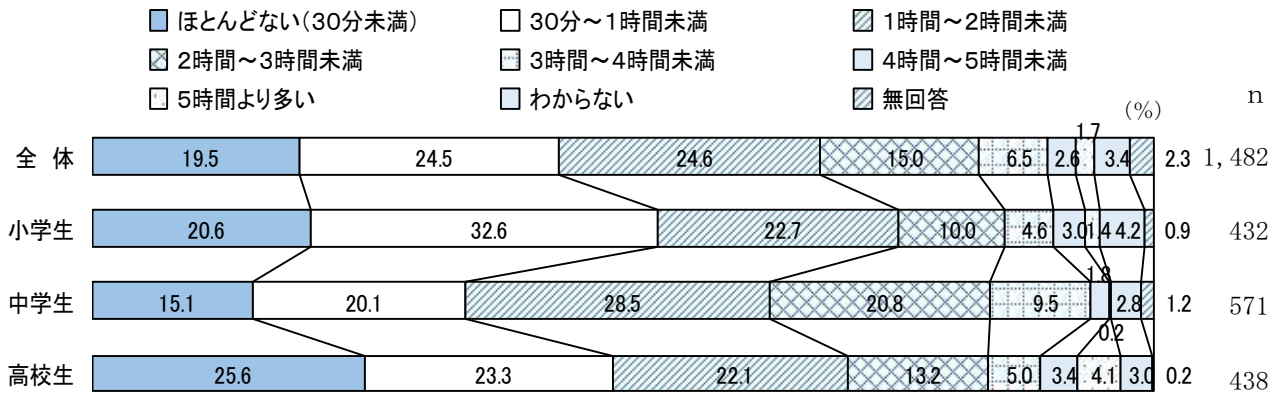
【前回調査との数値比較】

	家族と一緒に過ごす			一人で過ごす		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	61.5	67.1	5.6	15.8	15.7	▲ 0.1
小学生	82.0	84.5	2.5	5.9	7.6	1.7
中学生	58.3	64.3	6.0	16.2	16.3	0.1
高校生	46.4	57.3	10.9	24.7	23.7	▲ 1.0

平日の授業以外の勉強時間について 【問 3】

■平日、学校の授業のほかに、どのくらい勉強をしますか。(1つ)

◇ 全体では、「1時間～2時間未満」が24.6%と最も多く、次いで「30分～1時間未満」が24.5%、「30分未満」が19.5%となっている。また、「2時間以上」は合わせて25.8%である。



【前回調査との数値比較】

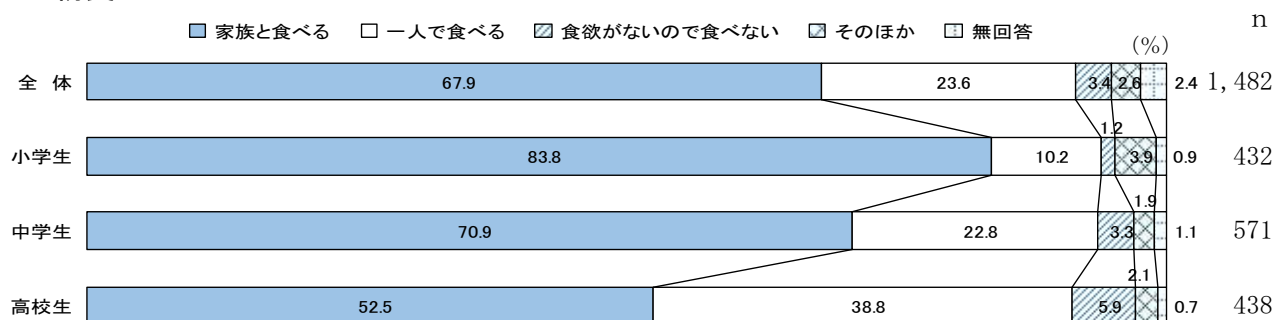
	2 時間未満		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	70.2	68.6	▲ 1.6
小学生	76.6	75.9	▲ 0.7
中学生	65.8	63.7	▲ 2.1
高校生	70.0	71.0	1.0

## 平日の食事について 【問4】

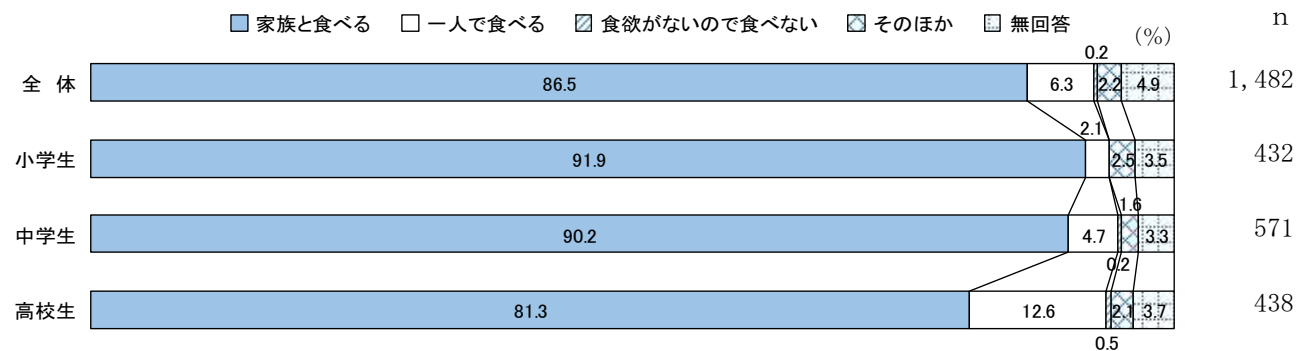
### ■平日は主にだれと食事をしていますか。(1つ)

◇ 朝食、夕食ともに「家族と食べる」が最も多く、朝食で 67.9%、夕食で 86.5%を占めている。夕食は朝食より「家族と食べる」の割合が約 18.6%高い。また、朝食を食べない子が 3.4%である。

#### ア. 朝食



#### イ. 夕食



### 【前回調査との数値比較】

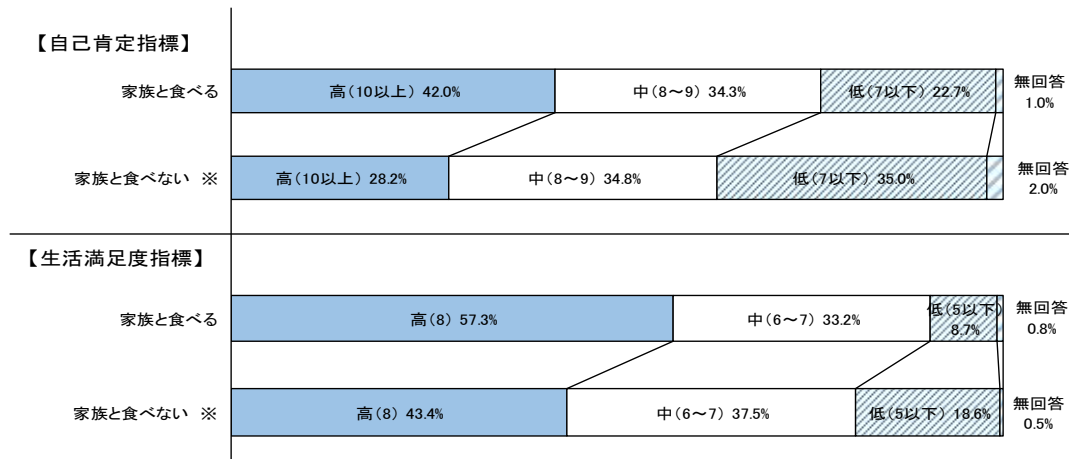
#### ア. 朝食

	家族と食べる			一人で食べる		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	73.6	67.9	▲5.7	22.4	23.6	1.2
小学生	86.7	83.8	▲2.9	10.0	10.2	0.2
中学生	74.9	70.9	▲4.0	20.8	22.8	2.0
高校生	59.7	52.5	▲7.2	36.4	38.8	2.4

## イ. 夕食

	家族と食べる			一人で食べる		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	92.8	86.5	▲6.3	5.6	6.3	0.7
小学生	93.9	91.9	▲2.0	3.5	2.1	▲1.4
中学生	94.9	90.2	▲4.7	3.8	4.7	0.9
高校生	89.2	81.3	▲7.9	10.0	12.6	2.6

『平日の食事（子ども 問4）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』  
 ○ 家族と朝食をとる子の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。



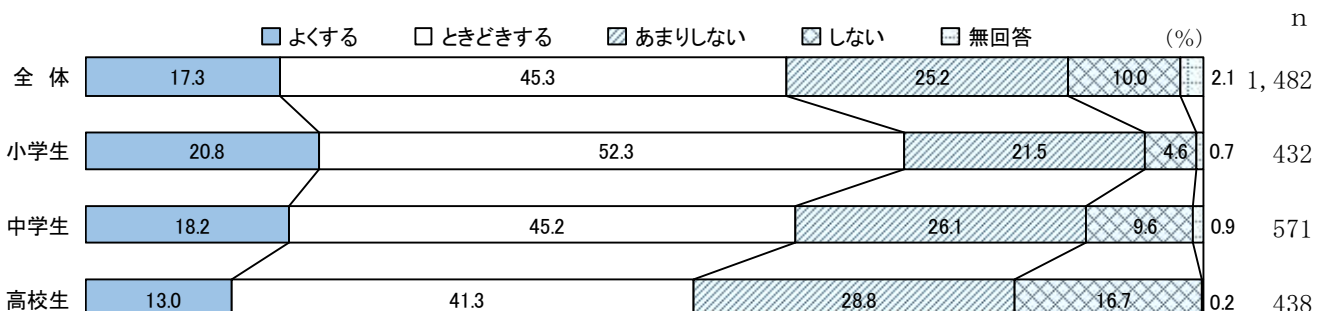
※家族と食べない：一人で食べる+食欲がないので食べない

図 自己肯定感・生活満足度と平日の食事

### 家の手伝いについて 【問5】

#### ■家の手伝いをしますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「ときどきする」が45.3%で最も多く、次いで「あまりしない」が25.2%、「よくする」が17.3%となっている。また、「しない」が10.0%である。
- ◇ 小学生のほう手伝いをする割合は高く、中学生、高校生になるにつれてその割合が低下する。

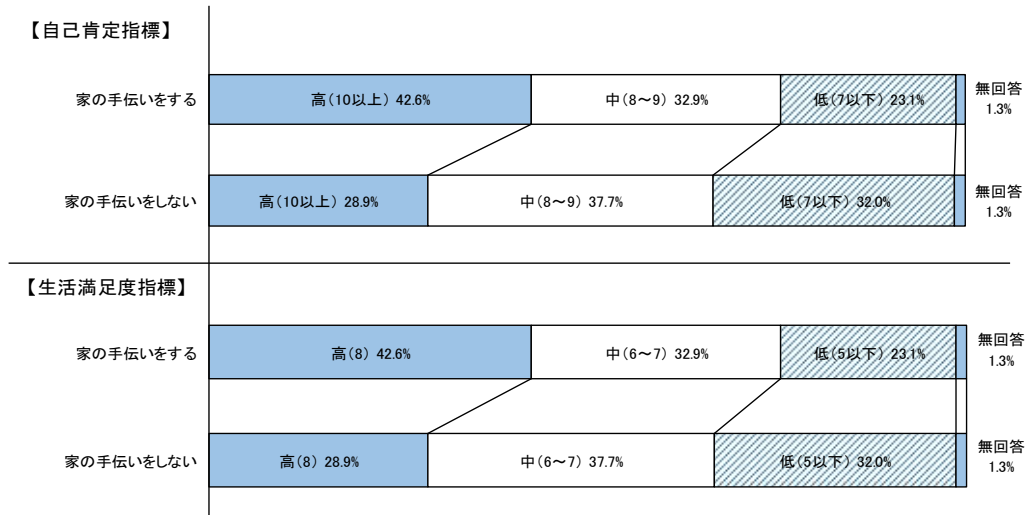


【前回調査との数値比較】

	よくする+ときどきする		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	64.2	62.6	▲ 1.6
小学生	74.7	73.1	▲ 1.6
中学生	61.2	63.4	2.2
高校生	58.3	54.3	▲ 4.0

『家の手伝い（子ども 問5）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ 家の手伝いをする子の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。



※家の手伝いをする：よくする+ときどきする ※家の手伝いをしない：あまりしない+しない

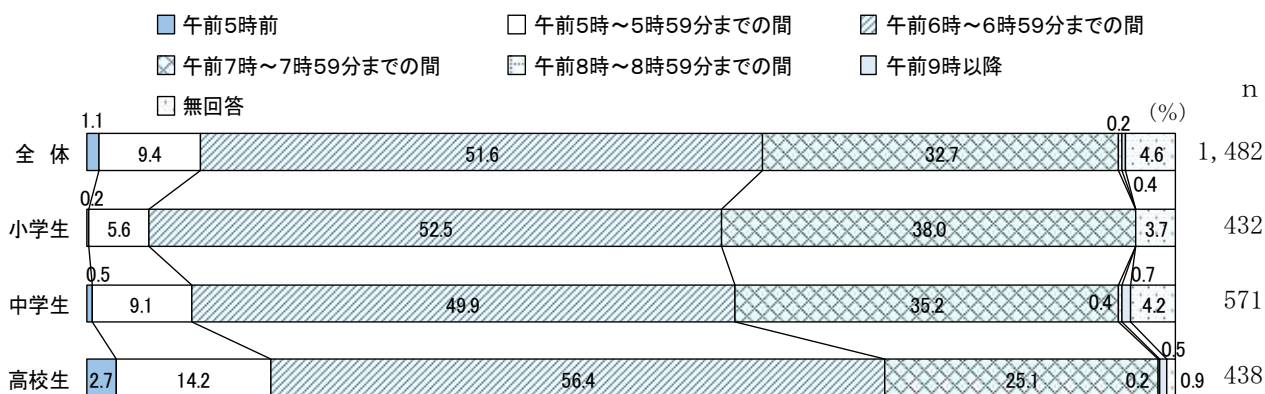
図 自己肯定感・生活満足度と家の手伝い

平日の起床時間と就寝時間について 【問6】

■平日の起きる時間と寝る時間は何時頃ですか。(1つ)

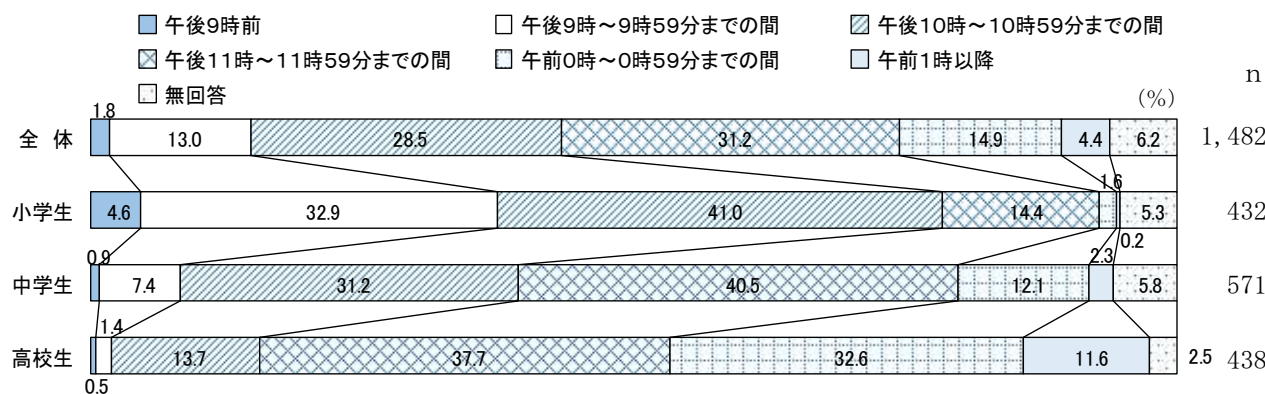
(1) 起きる時間

- ◇ 全体では「午前6時台」に起きる割合が51.6%と最も高く、「午前7時台」が32.7%である。
- ◇ 高校生は小学生に比べて早く起きる割合が高く、73.3%の人が「午前6時台」までに起きている。



(2) 寝る時間

- ◇ 全体では「午後11時台」に寝る割合が31.2%と最も高く、「午後10時台」が28.5%となっている。
- ◇ 小学生は「午後10時台」の割合が高いが、中学生と高校生は「午後11時台」「午前0時台」の割合が高くなる。





【前回調査との数値比較】

	午前7時前に起床			午後11時以降に就寝		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
全体	53.9	62.1	8.2	60.4	50.5	▲ 9.9
小学生	51.2	58.3	7.1	20.7	16.2	▲ 4.5
中学生	49.8	59.5	9.7	67.2	54.9	▲ 12.3
高校生	61.7	73.3	11.6	89.6	81.9	▲ 7.7

『就寝時間（子ども 問6）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42，43）』

○ 就寝時間が早い子ほど「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

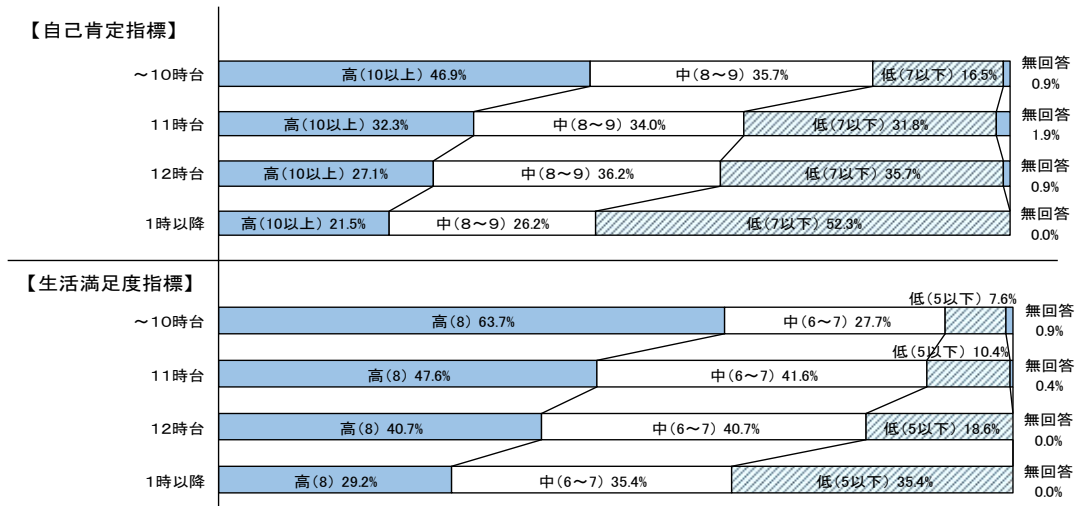
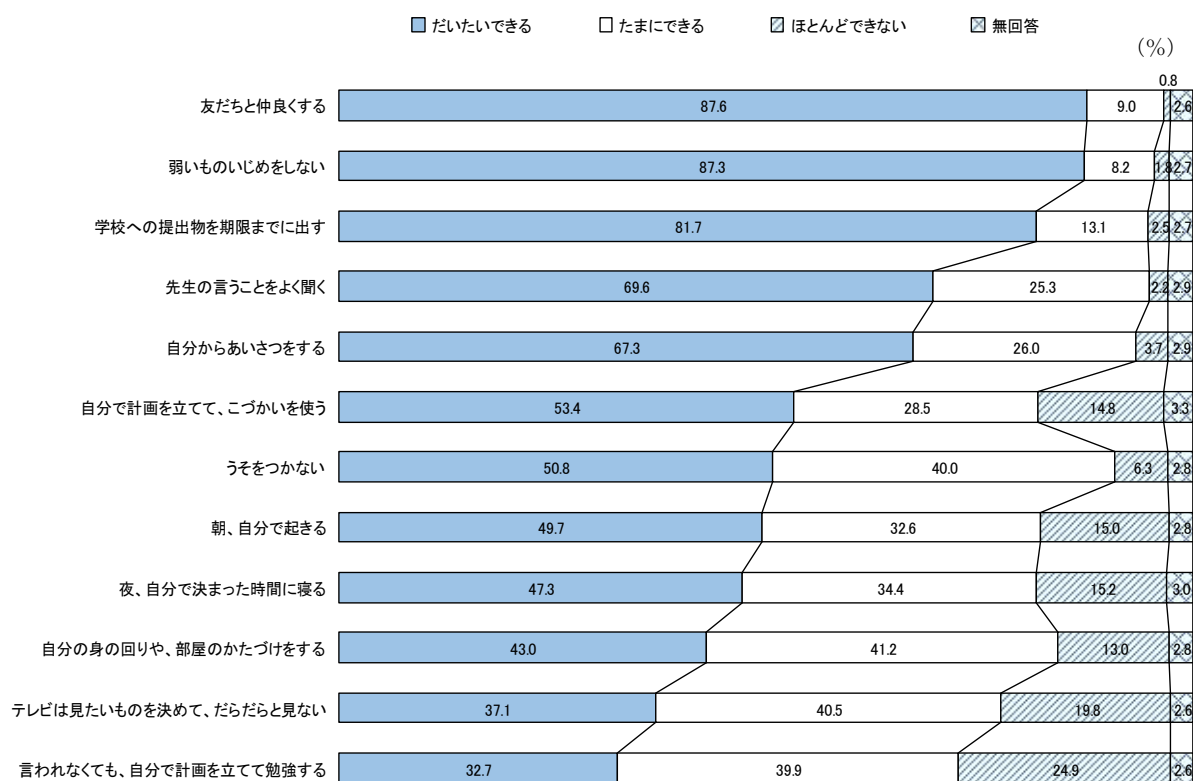


図 自己肯定感・生活満足度と就寝時間

## 自分でできることについて 【問7】

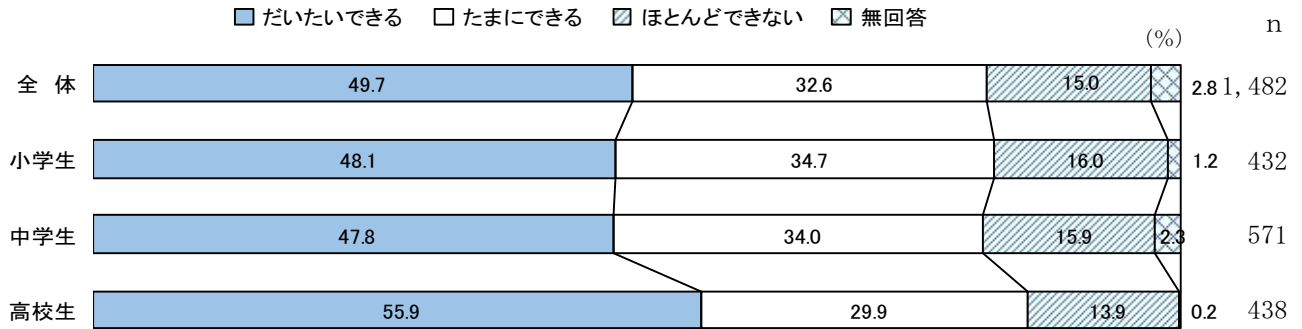
### ■ 次のことができますか。(1つ)

- ◇ 「だいたいできる」は、「友だちと仲良くする」が87.6%で最も多く、次いで「弱いものいじめをしない」が87.3%、「学校への提出物を期限までに出す」が81.7%である。
- ◇ 「だいたいできる」は、ほとんどの項目で高校生が高い割合を占めるが、「友だちと仲良くする」の項目は小学生が最も高い。
- ◇ 「ほとんどできない」は、「言われなくても、自分で計画を立てて勉強する」が24.9%で最も多く、次いで「テレビは見たいものを決めて、だらだらと見ない」が19.8%である。

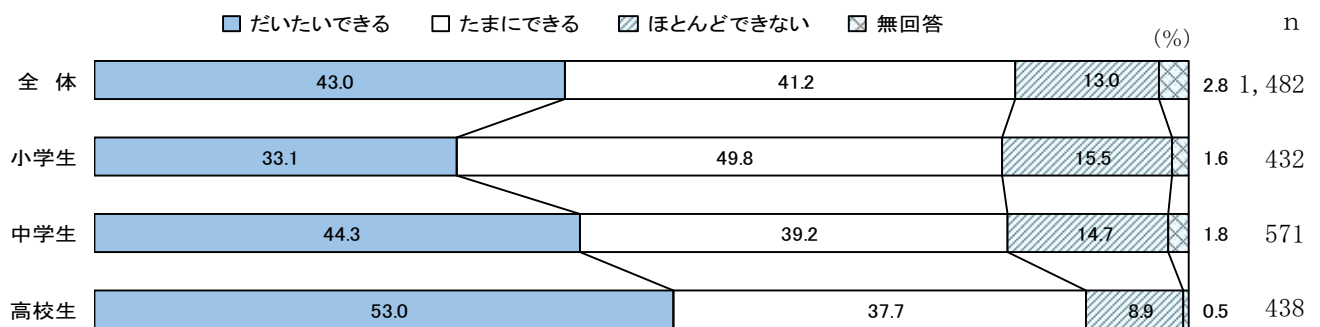


回答数 全体=1,482

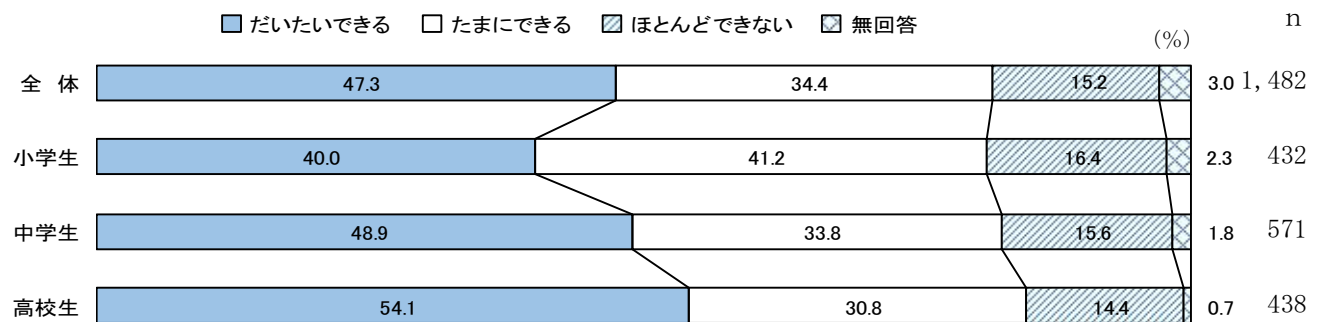
## ア. 朝、自分で起きる



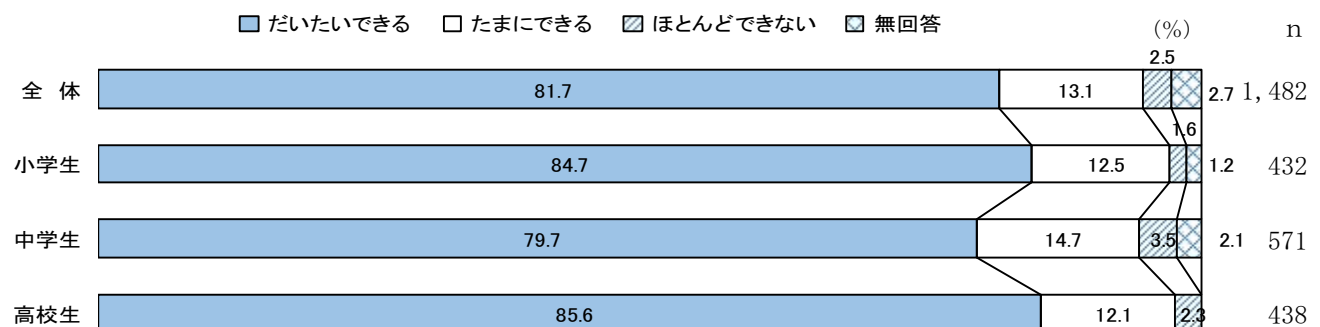
## イ. 自分の身の回りや、部屋のかたづけをする



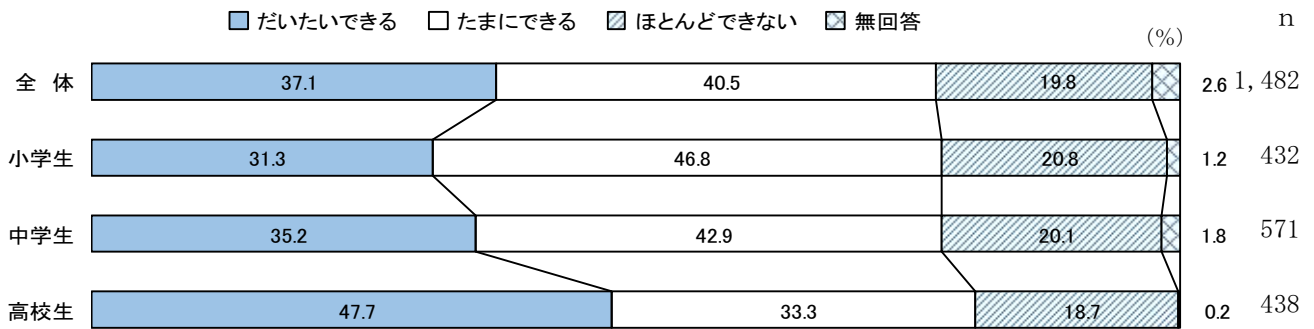
## ウ. 夜、自分で決まった時間に寝る



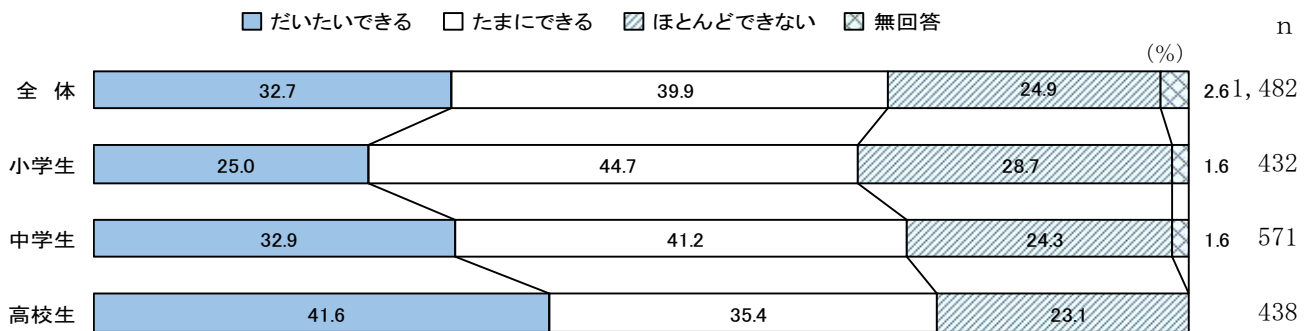
## エ. 学校への提出物を期限までに出す



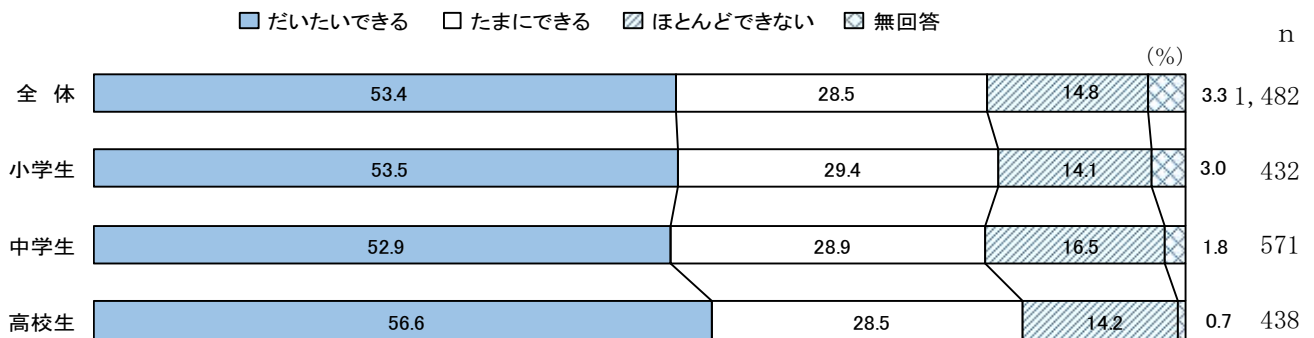
### オ. テレビは見たいものを決めて、だらだらと見ない



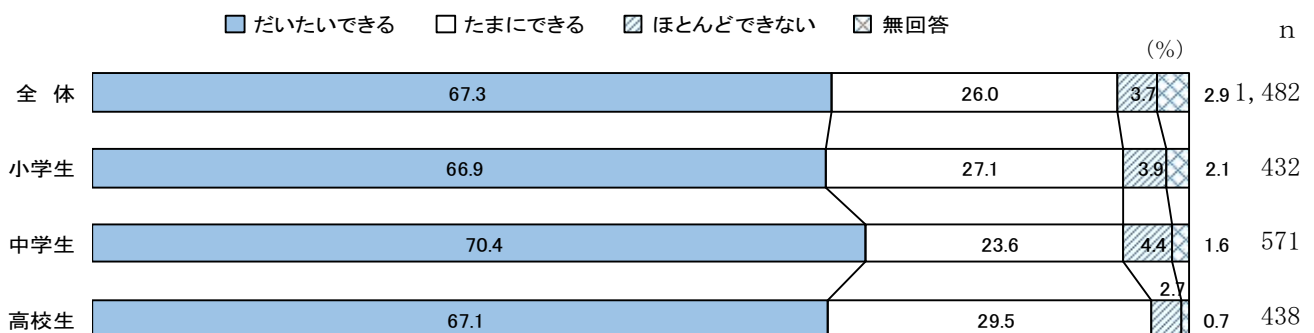
### カ. 言われなくても、自分で計画を立てて勉強する



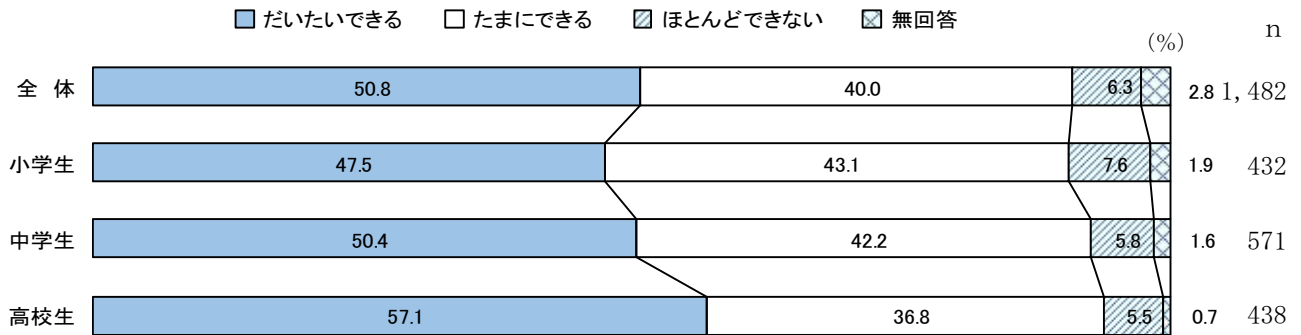
### キ. 自分で計画を立てて、こづかいを使う



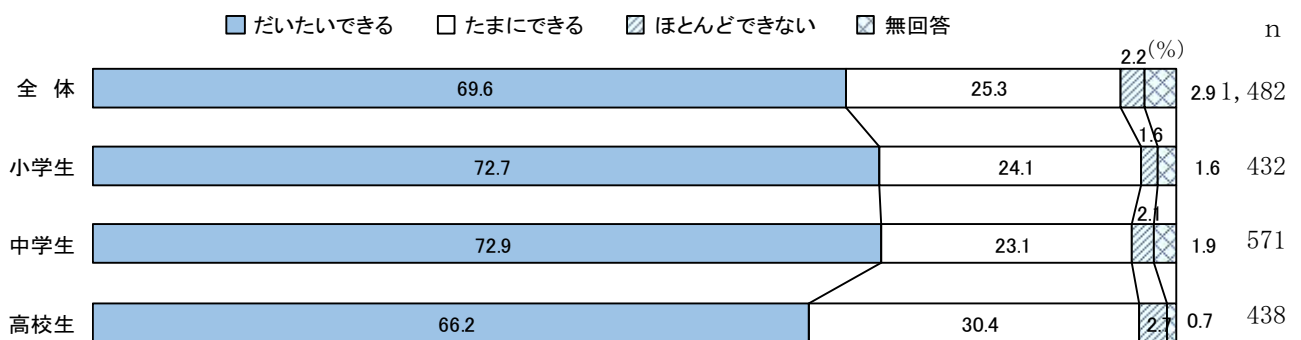
### ク. 自分からあいさつをする



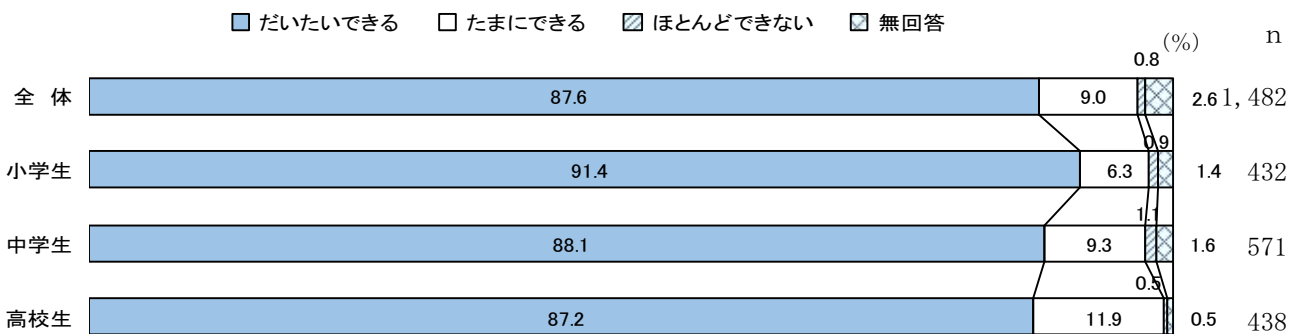
### ケ. うそをつかない



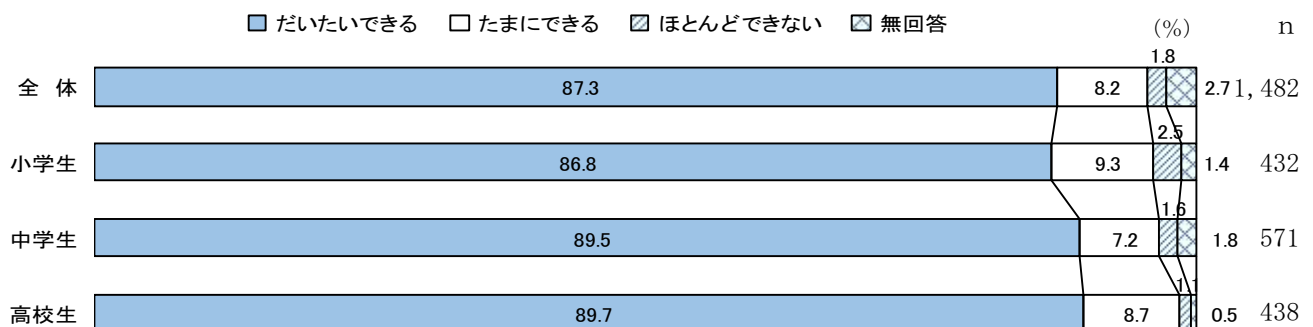
### コ. 先生の言うことをよく聞く



### サ. 友だちと仲良くする



### シ. 弱いものいじめをしない



『自分でできること（子ども 問7）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42，43）』

○ 「自分でできること」が多い子（行動指標の点数が大きい子）の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

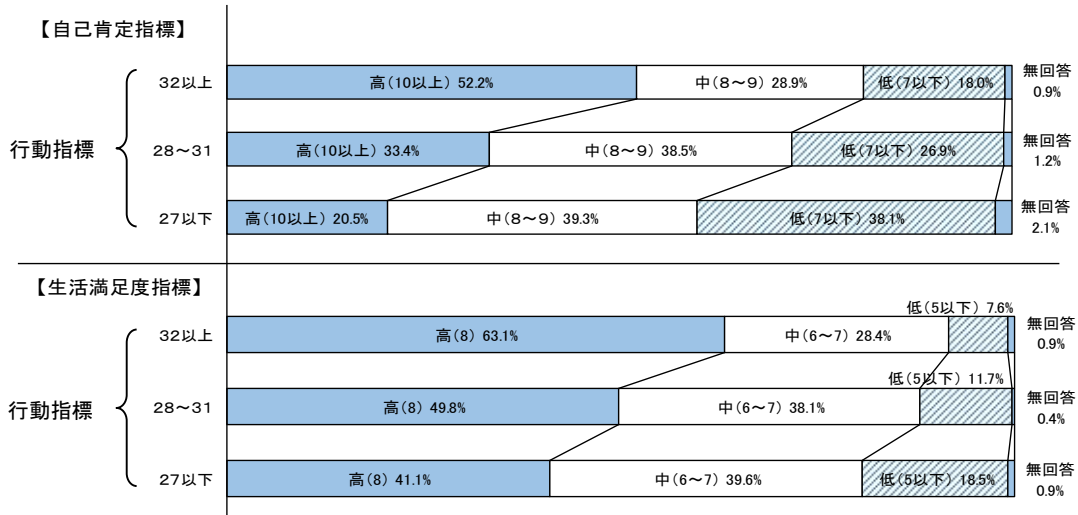
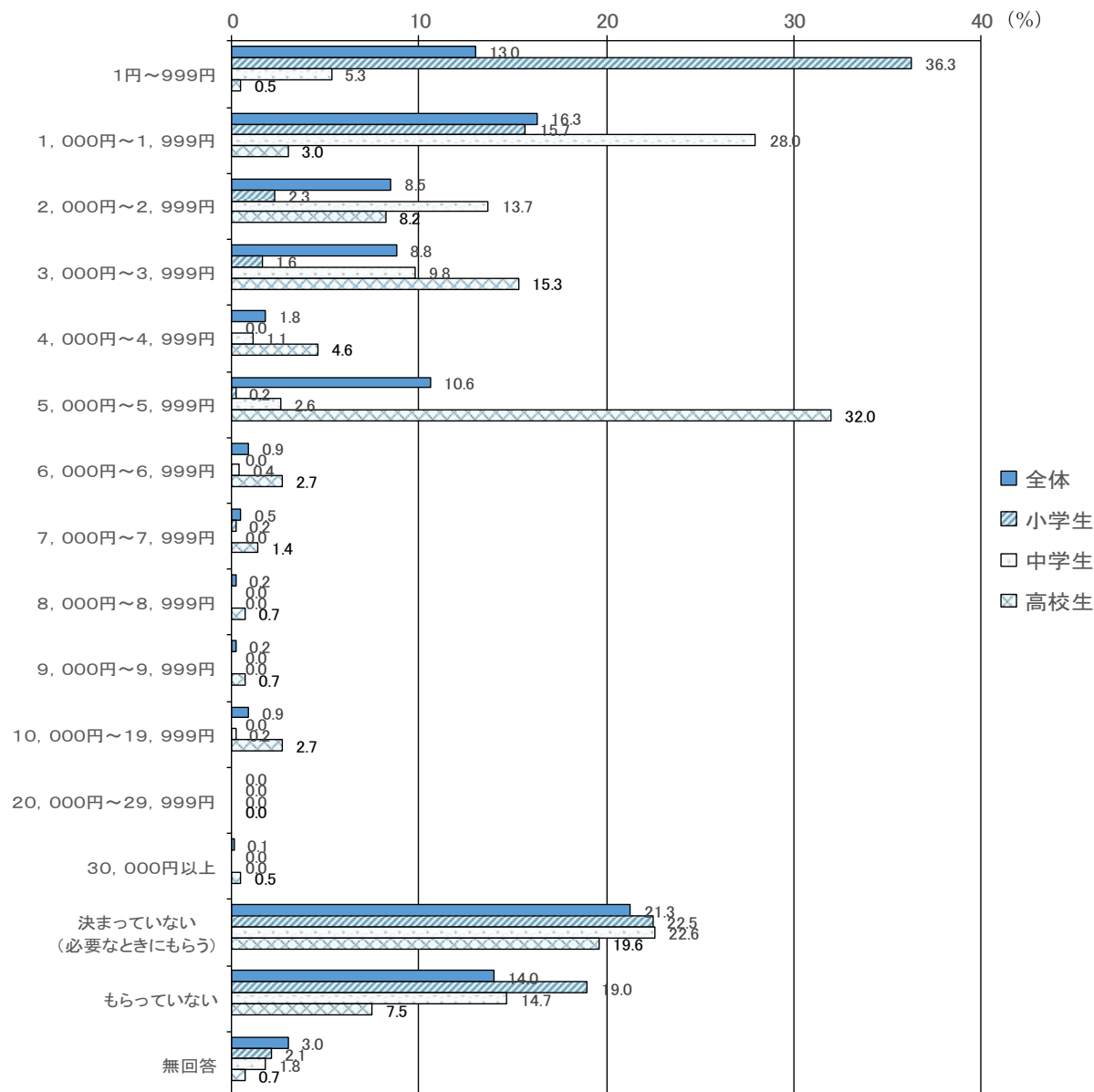


図 自己肯定感・生活満足度と行動指標

## 1ヶ月のこづかいについて 【問8】

### ■ 1ヶ月にこづかいをいくらもらっていますか。(1つ)

- ◇ 小学生は、「1円～999円」の割合が36.3%と最も高く、次いで「決まっていない(必要などきにもらう)」が22.5%、「もらっていない」が19.0%である。
- ◇ 中学生は、「1,000円～1,999円」の割合が28.0%と最も高く、次いで「決まっていない(必要などきにもらう)」が22.6%である。
- ◇ 高校生は、「5,000円～5,999円」の割合が32.0%と最も高く、次いで「決まっていない(必要などきにもらう)」が19.6%である。

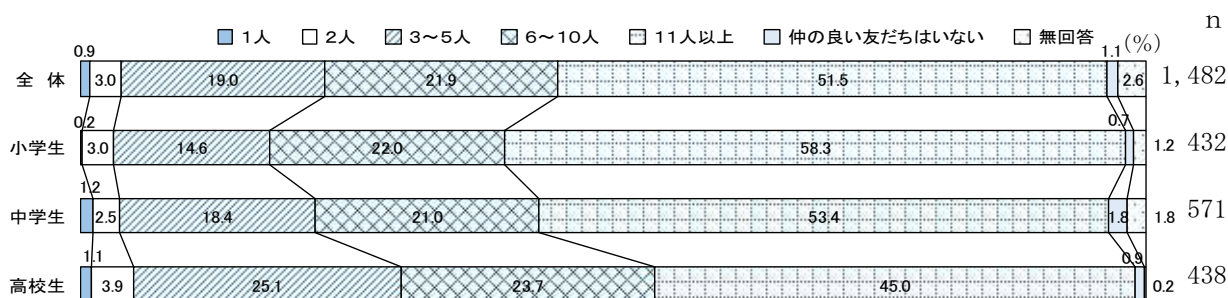


回答者数 全体=1,482 小学生=432 中学生=571 高校生=438

仲の良い友だちについて 【問9】

■仲の良い友だちは何人いますか。(1つ)

◇ 全体では「11人以上」が51.5%と最も多く、次いで「6～10人」が21.9%、「3～5人」が19.0%となっている。また、「仲の良い友だちはいない」は1.1%である。



【前回調査との数値比較】

	5人以下			6人以上		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
全体	28.1	22.9	▲ 5.2	69.4	73.4	4.0
小学生	22.3	17.8	▲ 4.5	75.4	80.3	4.9
中学生	27.9	22.1	▲ 5.8	70.0	74.4	4.4
高校生	33.5	30.1	▲ 3.4	63.5	68.7	5.2

『友だちの人数（子ども問9）と自己肯定感（子ども問39～41）・生活満足度（子ども問42，43）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子は友だちの数が6人以上の割合が高い。

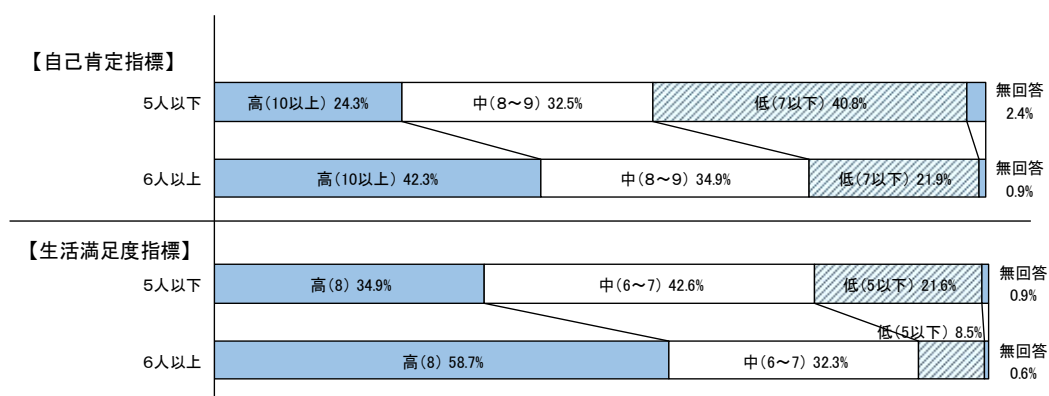


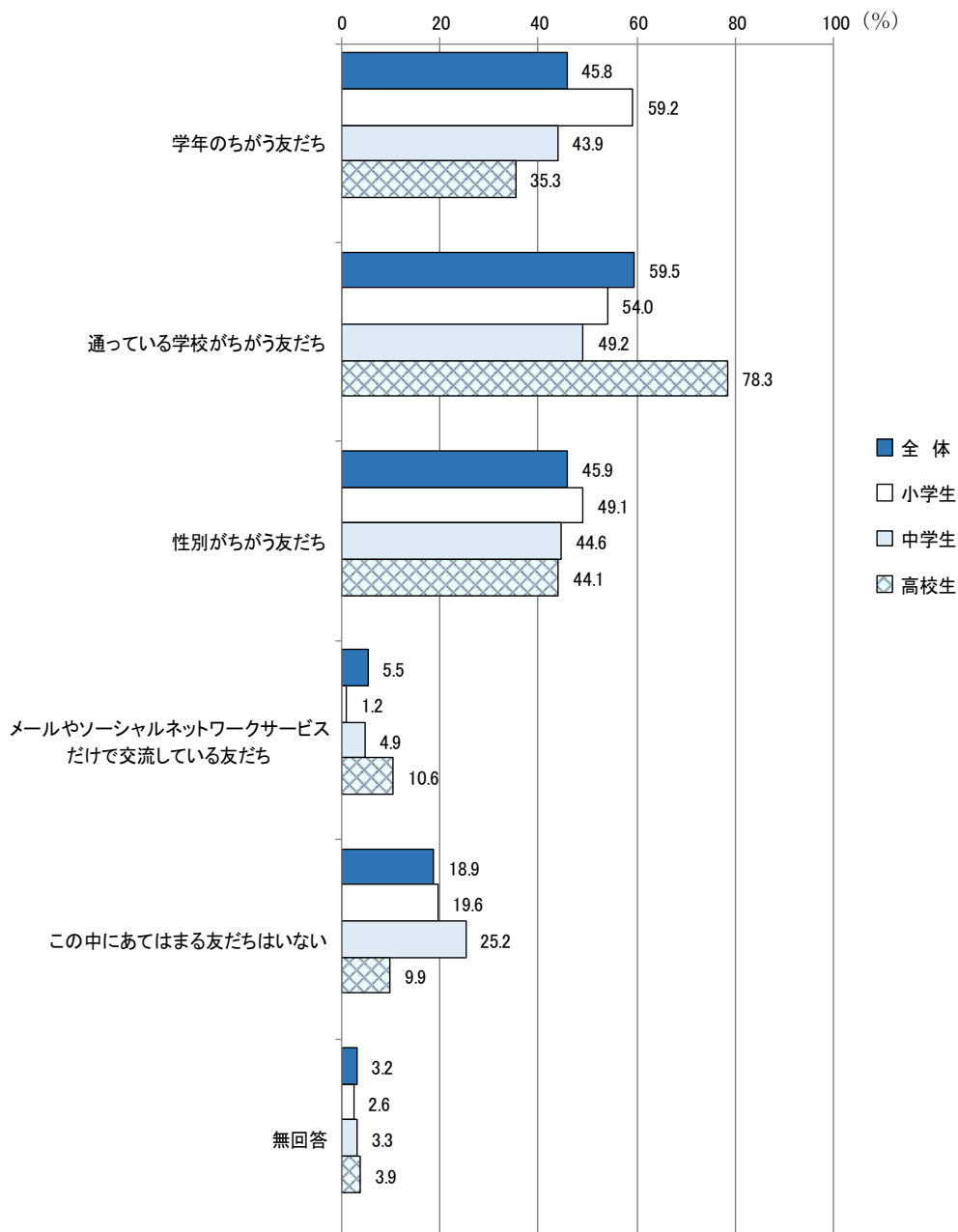
図 自己肯定感・生活満足度と友だちの人数



仲の良い友だちの種類について 【問10】

■仲の良い友だちの中に、次のような人はいますか。(複数回答)

◇ 全体では、「通っている学校がちがう友だち」が59.5%で最も多く、「性別がちがう友だち」が45.9%、「学年がちがう友だち」が45.8%となっている。



回答数 全体=2,605 小学生=795 中学生=963 高校生=794

【前回調査との数値比較】

	学年のちがう友だち		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	42.6	45.8	3.2
小学生	55.5	59.2	3.7
中学生	41.1	43.9	2.8
高校生	32.2	35.3	3.1

学校がちがう友だち		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
52.2	59.5	7.3
45.7	54.0	8.3
44.6	49.2	4.6
68.0	78.3	10.3

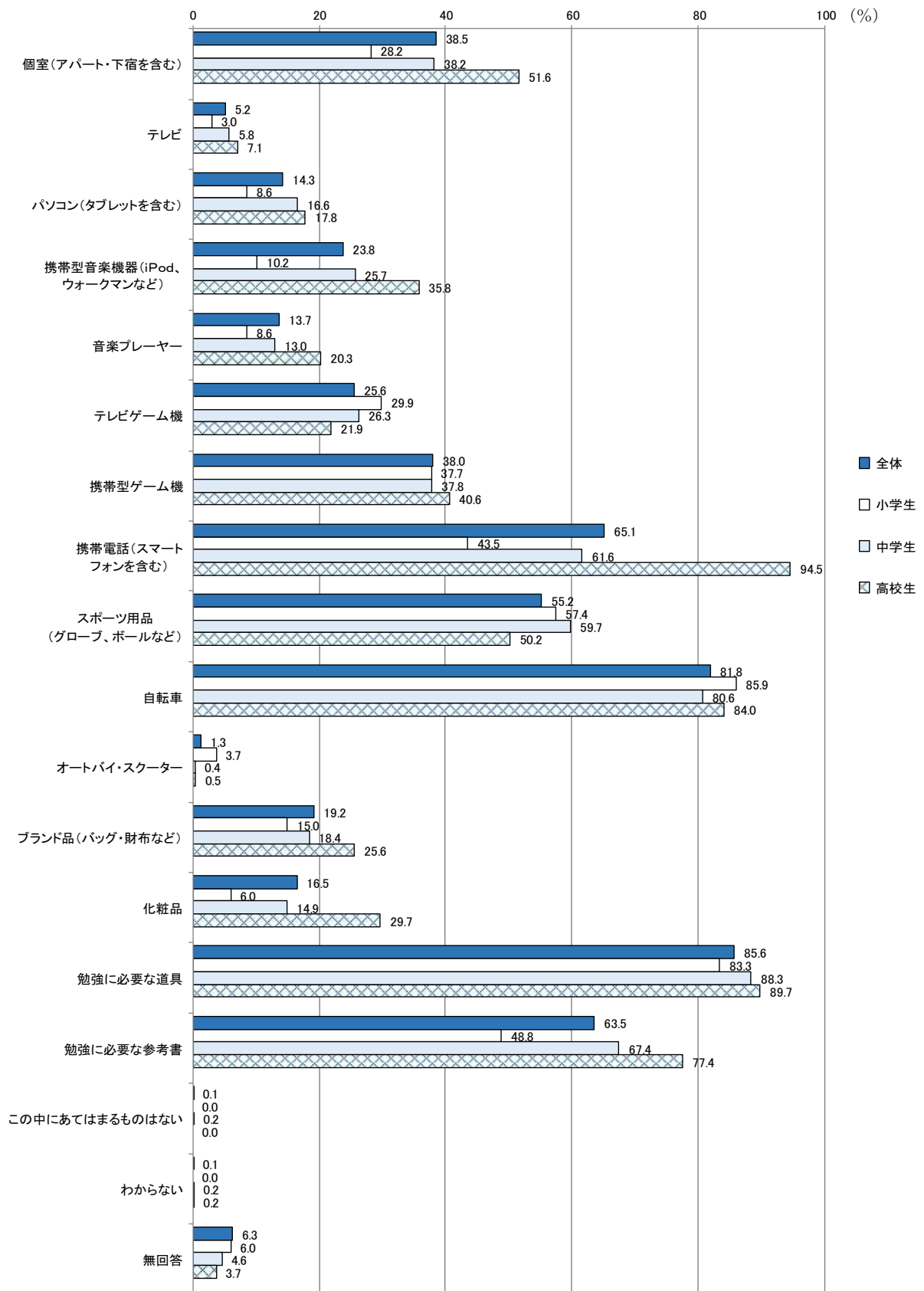
	性別がちがう友だち		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	34.6	45.9	11.3
小学生	35.6	49.1	13.5
中学生	33.1	44.6	11.5
高校生	35.3	44.1	8.8

メールやSNSだけで 交流している友だち		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
5.4	5.5	0.1
2.4	1.2	▲ 1.2
5.4	4.9	▲ 0.5
8.0	10.6	2.6

自分専用の持ち物について 【問 1 1】

■あなた「専用」のものを持っていますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「勉強に必要な道具」が 85.6%で最も多く、「自転車」が 81.8%、「携帯電話」が 65.1%となっている。
- ◇ 「勉強に必要な道具」は、小学生、中学生、高校生のどの年齢でも同様に、80%以上と高い割合がみられる。
- ◇ 「勉強に必要な道具」以外で所有割合が高いのは、小学生、中学生の場合は「自転車」、高校生の場合は「携帯電話」である。
- ◇ 「自転車」や「勉強に必要な道具」「携帯ゲーム機」などは、小学生、高校生で割合の変化はあまりみられないが、「個室」「携帯型音楽機器」「携帯電話」「化粧品」「勉強に必要な参考書」などは年齢が高いほど割合が高い傾向がみられる。



回答数 全体=8,208 小学生=2,056 中学生=3,195 高校生=2,850

【前回調査との数値比較】

	小学生			中学生			高校生		
	平成 25年	平成 30年	変化量	平成 25年	平成 30年	変化量	平成 25年	平成 30年	変化量
個室	27.1	28.2	1.1	41.8	38.2	▲3.6	50.2	51.6	1.4
化粧品	5.9	6.0	0.1	9.5	14.9	5.4	27.2	29.7	2.5
携帯電話	36.4	43.5	7.1	56.3	61.6	5.3	96.3	94.5	▲1.8
パソコン	3.2	8.6	5.4	7.9	16.6	8.7	16.0	17.8	1.8

『専用の持ち物（子ども 問11）と世帯年収（就学後 問76）』

- 勉強に必要な道具を持っている子と「世帯年収」との関係性は読みとれないが、勉強に必要な参考書を持っていない割合は、世帯年収が低い子ほど高い。

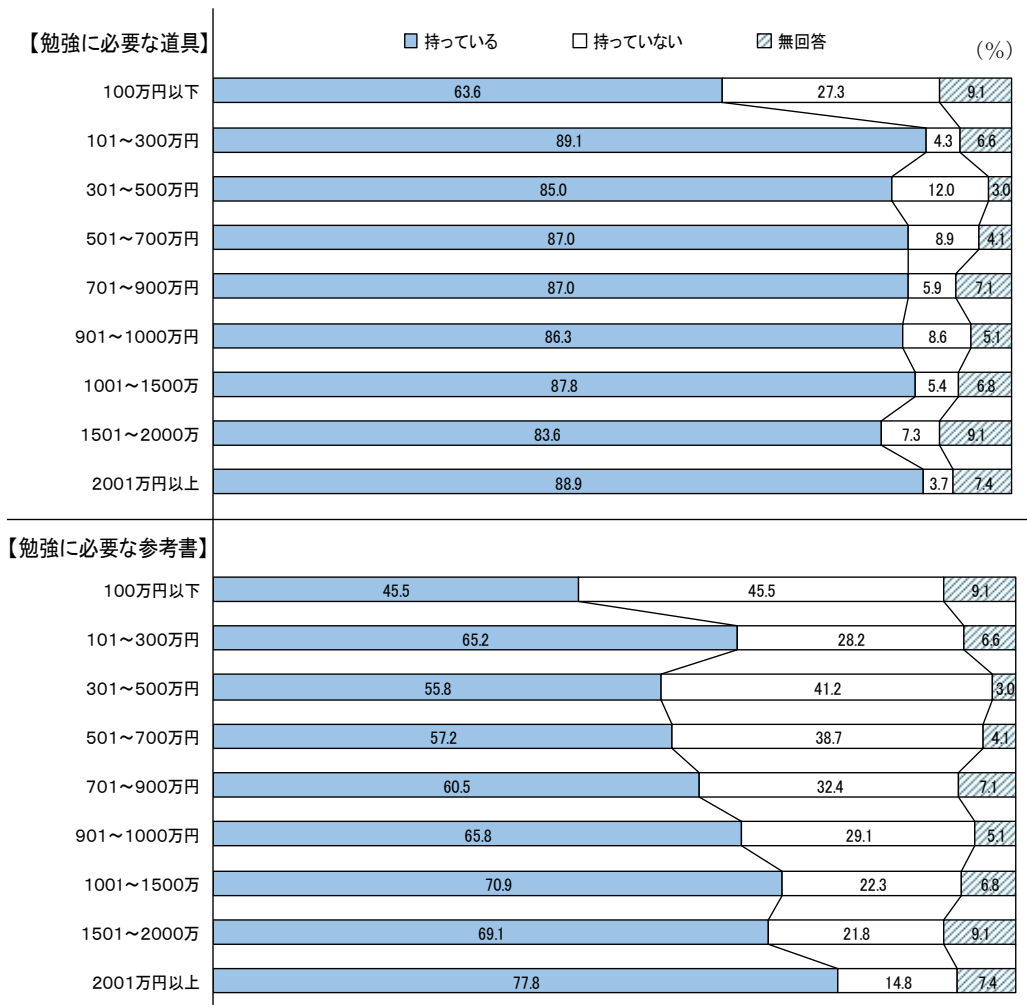
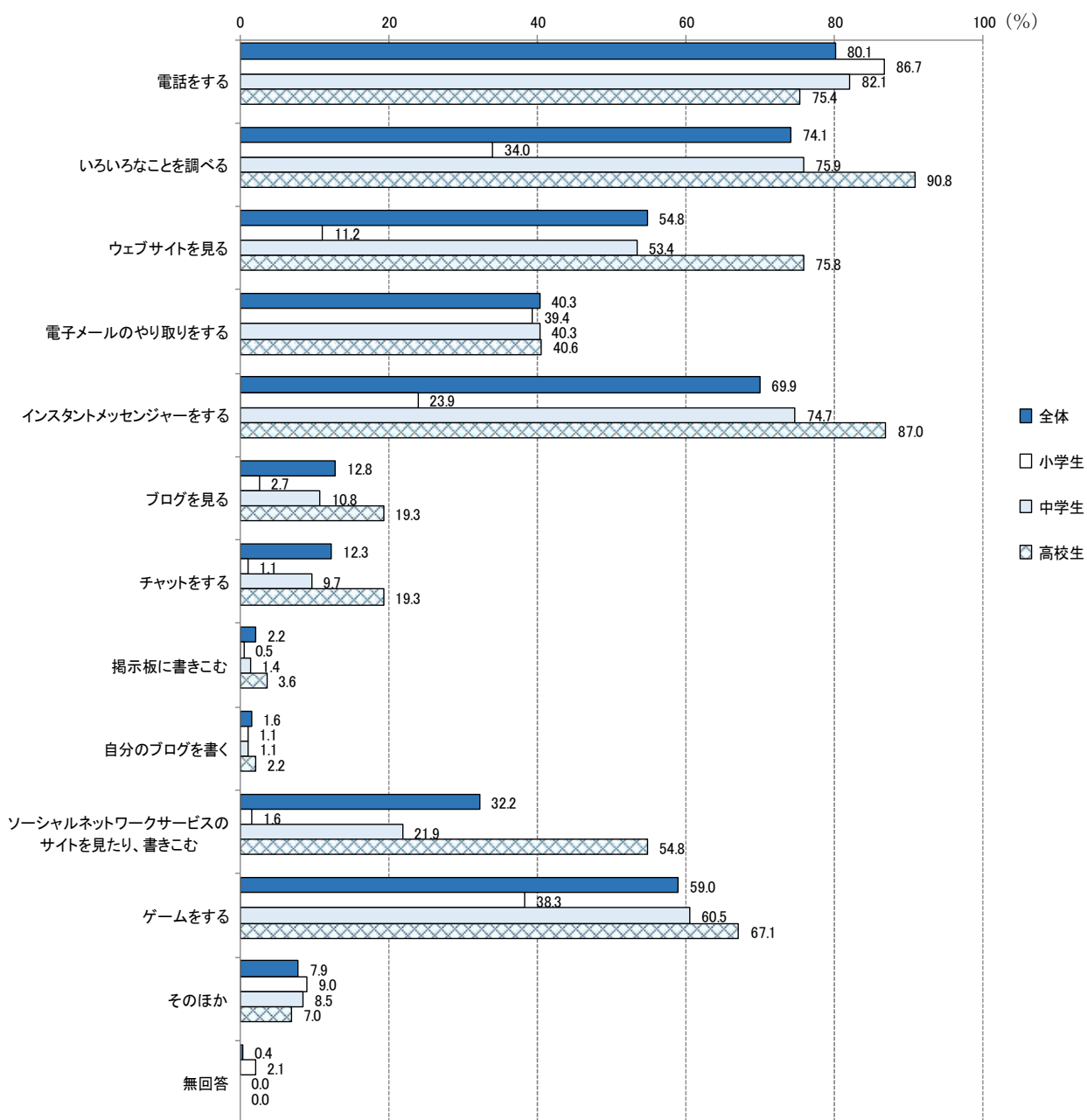


図 世帯年収と勉強に必要なものを持っている割合

## 携帯電話について 【問12】

### ■あなたは携帯電話で何をしますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「電話をする」が80.1%で最も高く、「いろいろなことを調べる」が74.1%、「インスタントメッセージ（LINEなど）をする」が69.9%となっている。
- ◇ 高校生になると、「いろいろなことを調べる」「インスタントメッセージ（LINEなど）をする」「ウェブサイトを見る」「ゲームをする」「ソーシャルネットワークサービスのサイトを見たり、書きこむ」の割合が高くなる。



回答数 全体=4,320 小学生=473 中学生=1,550 高校生=2,248

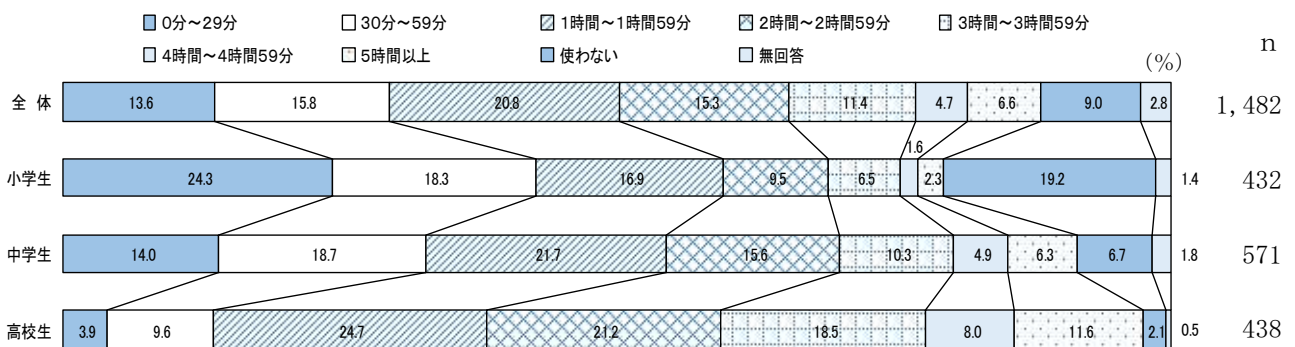
【前回調査との数値比較】

	小学生			中学生			高校生		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
電話をする	93.9	86.7	▲ 7.2	88.2	82.1	▲ 6.1	84.4	75.4	▲ 9.0
いろいろなことを調べる	18.9	34.0	15.1	49.2	75.9	26.7	78.4	90.8	12.4
ウェブサイトを見る	7.9	11.2	3.3	33.8	53.4	19.6	68.2	75.8	7.6
電子メールのやりとりをする	57.5	39.4	▲18.1	72.3	40.3	▲32.0	73.3	40.6	▲32.7
インスタントメッセージをする	10.5	23.9	13.4	43.1	74.7	31.6	75.7	87.0	11.3
ブログを見る	1.8	2.7	0.9	12.6	10.8	▲ 1.8	30.0	19.3	▲10.7
チャットをする	0.9	1.1	0.2	5.0	9.7	4.7	8.2	19.3	11.1
掲示板に書きこむ	0.4	0.5	0.1	2.1	1.4	▲ 0.7	5.1	3.6	▲ 1.5
自分のブログを書く	0.0	1.1	1.1	2.5	1.1	▲ 1.4	7.3	2.2	▲ 5.1
ソーシャルネットワークサービスのサイトを見たり、書きこむ	0.4	1.6	1.2	8.8	21.9	13.1	31.0	54.8	23.8
ゲームをする	25.9	38.3	12.4	44.7	60.5	15.8	52.0	67.1	15.1

インターネットの使用時間について 【問13】

■学校の授業以外で、パソコンや携帯電話などでインターネットを1日どのくらい使いますか。(1つ)

◇全体では、「1時間～1時間59分」が20.8%で最も多く、次いで「30分～59分」が15.8%、「2時間～2時間59分」が15.3%となっている。



【前回調査との数値比較】

	2時間以上			使わない		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
全体	24.8	38.0	13.2	17.6	9.0	▲ 8.6
小学生	6.6	19.9	13.3	33.0	19.2	▲ 13.8
中学生	24.5	37.1	12.6	16.8	6.7	▲ 10.1
高校生	42.8	59.3	16.5	4.0	2.1	▲ 1.9

『インターネットの使用時間（子ども 問13）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ インターネットの使用時間が長い子ほど「自己肯定感」や「生活満足度」が低い。

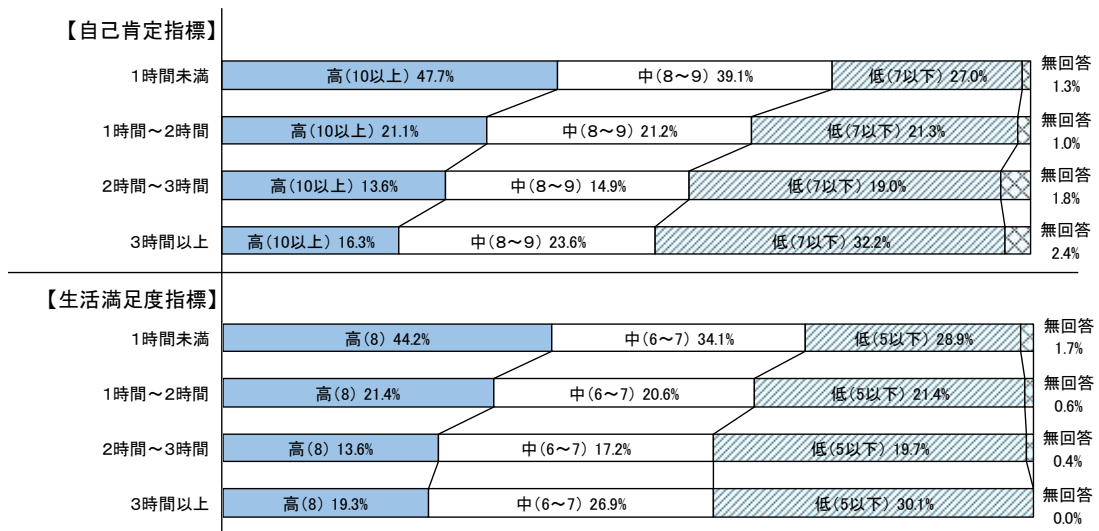
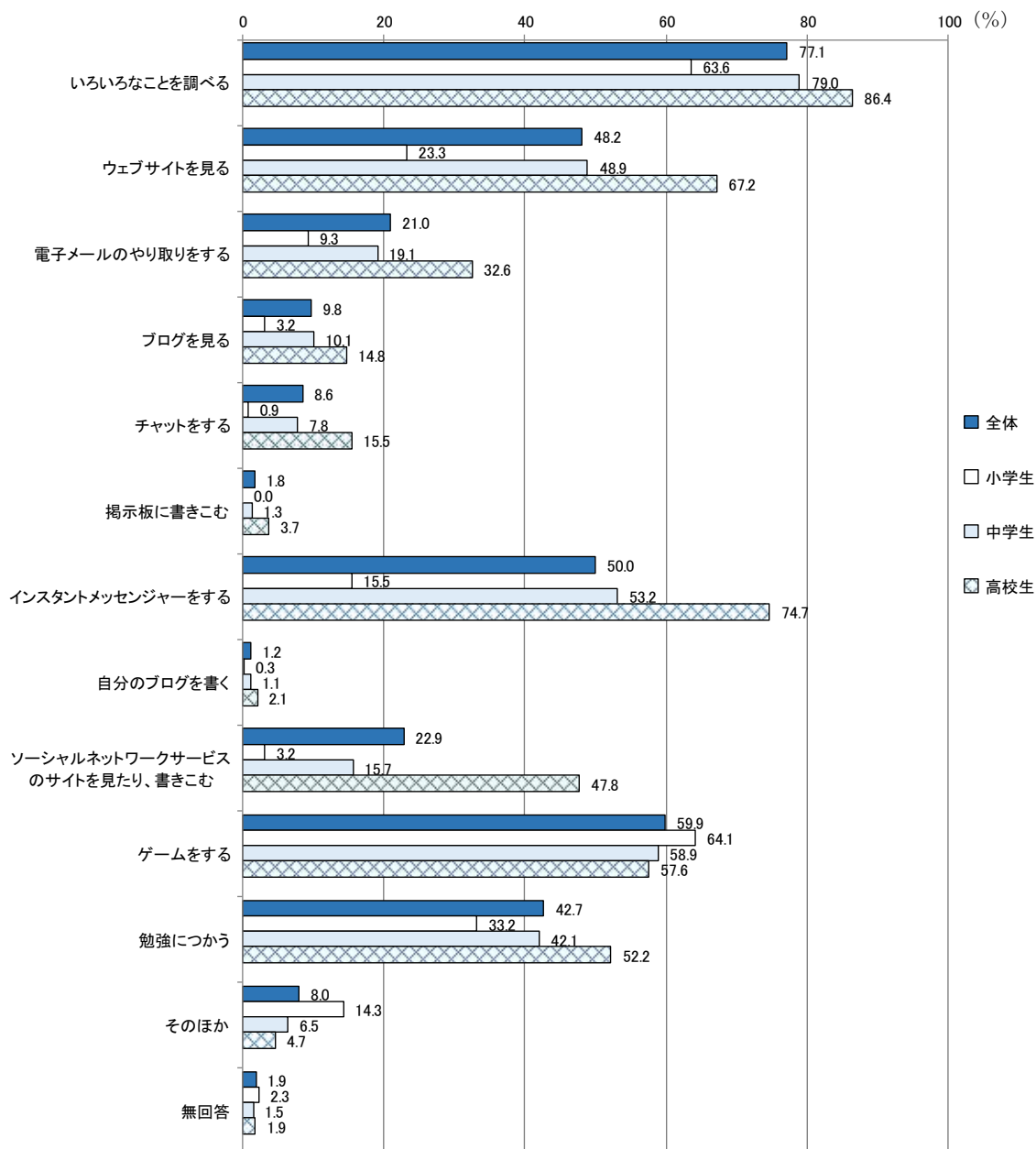


図 自己肯定感・生活満足度とインターネットの使用時間

## インターネットの使用目的について 【問14】

### ■インターネットで何をしますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「いろいろなことを調べる」が77.1%で最も高く、「ゲームをする」が59.9%、「インスタントメッセージをする」が50.0%となっている。
- ◇ 小学生の場合は「ゲームをする」の割合が高いが、高校生になると「インスタントメッセージ（LINE など）をする」「ウェブサイトを見る」「勉強に使う」「ソーシャルネットワークサービスのサイトを見たり、書きこむ」の割合が高くなる。



回答数 全体=4,618 小学生=800 中学生=1,806 高校生=1,969



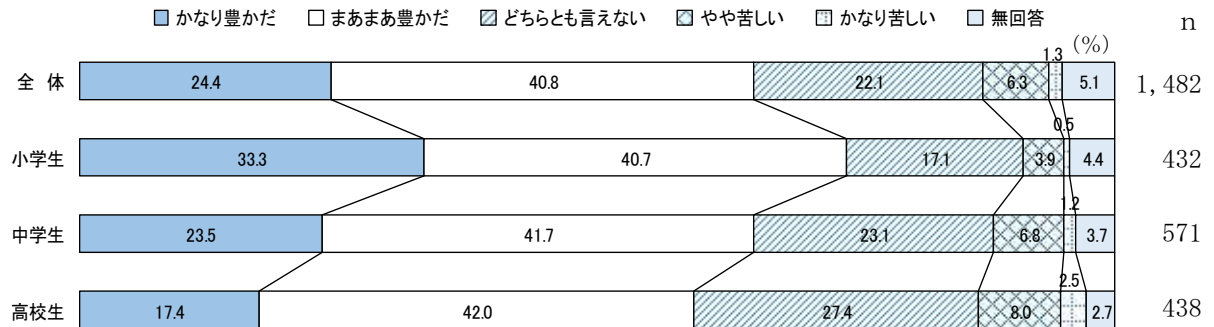
## 【前回調査との数値比較】

	小学生			中学生			高校生		
	平成 25年	平成 30年	変化量	平成 25年	平成 30年	変化量	平成 25年	平成 30年	変化量
ゲームをする	53.3	59.9	6.6	46.6	58.9	12.3	25.6	57.6	32.0
勉強につかう	38.0	33.2	▲ 4.8	36.2	42.1	5.9	24.4	52.2	27.8
電子メールのやり取りをする	7.3	9.3	2.0	25.4	19.1	▲ 6.3	19.6	32.6	13.0
ソーシャルネットワークサービスのサイトを見たり、書きこむ	1.5	3.2	1.7	8.1	15.7	7.6	16.7	47.8	31.1
いろいろなことを調べる	71.5	63.6	▲ 7.9	77.3	79.0	1.7	69.9	86.4	16.5
ブログを見る	6.8	3.2	▲ 3.6	15.7	10.1	▲ 5.6	38.8	14.8	▲24.0
自分のブログを書く	1.0	0.3	▲ 0.7	3.0	1.1	▲ 1.9	17.1	2.1	▲15.0
ウェブサイトを見る	26.3	23.3	▲ 3.0	46.6	48.9	2.3	70.5	67.2	▲ 3.3
掲示板に書きこむ	2.2	0.0	▲ 2.2	1.7	1.3	▲ 0.4	8.0	3.7	▲ 4.3
インスタントメッセージングをする	7.1	15.5	8.4	31.6	53.2	21.6	59.7	74.7	15.0
チャットをする	2.9	0.9	▲ 2.0	3.6	7.8	4.2	6.2	15.5	9.3

～家庭に関する質問～

経済的な生活レベルについて【問15】

- あなたの家庭の「経済的な生活レベル」について、あなたはどのように思いますか。(1つ)
- ◇ 全体では、「まあまあ豊かだ」が40.8%で最も多く、次いで「かなり豊かだ」が24.4%であり、65.2%は豊かだと回答している。
- ◇ 小学生の場合、豊かだと感じている割合は74.0%であるが、高校生になるにつれてその割合が低下し59.4%となる。



『生活レベル（子ども 問15）と親の最終学歴（就学後 問68）』

- 「親の最終学歴」が高い子の方が家庭の生活レベルを豊かに感じる。

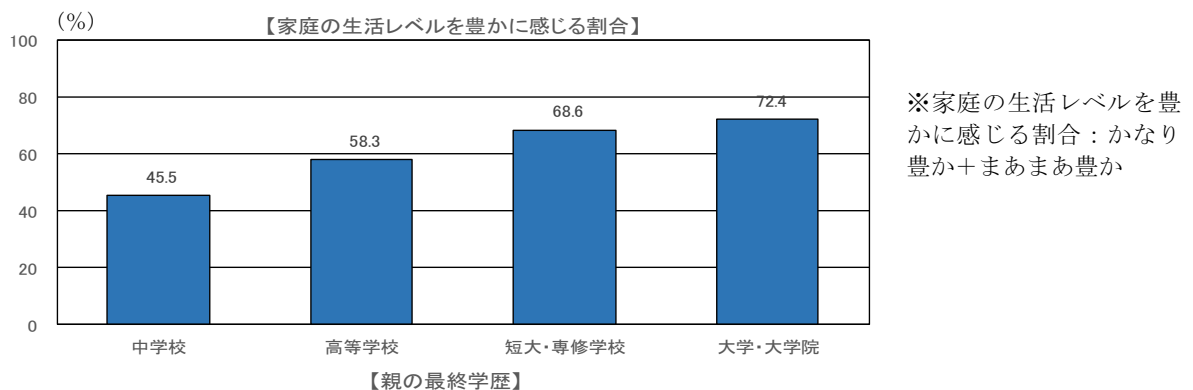


図 親の最終学歴と子どもが家庭を豊かに感じる割合

『生活レベル（子ども 問15）と世帯年収（就学後 問76）』

- 「世帯年収」が高い子の方が家庭の生活レベルを豊かに感じる。

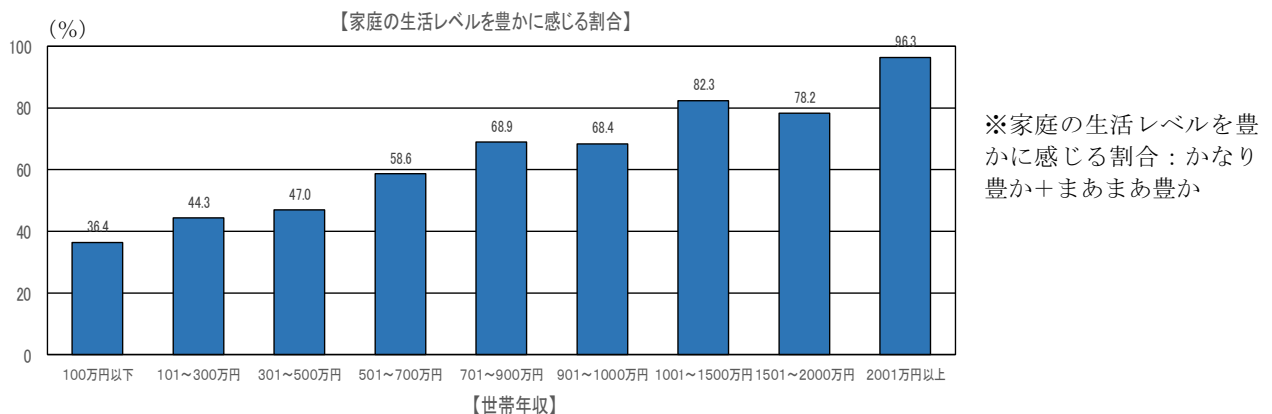
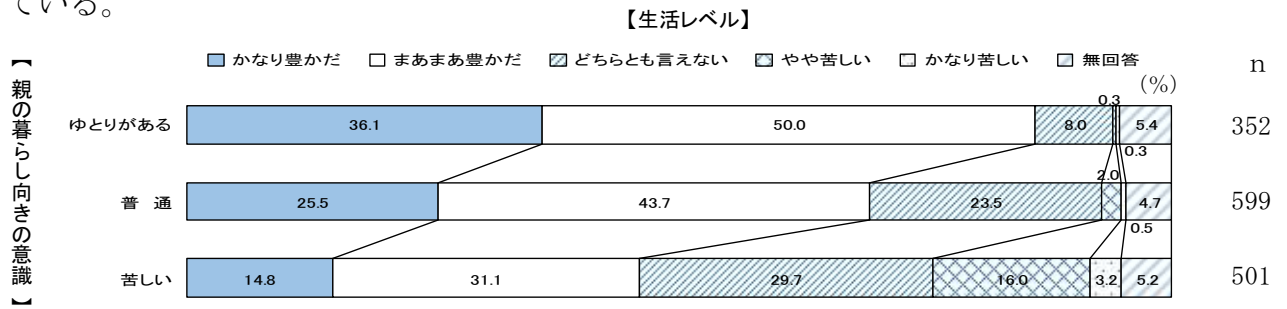


図 世帯年収と子どもが家庭を豊かに感じる割合

『生活レベル（子ども 問15）と親の暮らし向き意識（就学後 問31）』

● 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が家庭の生活レベルを豊かに感じている。



※親の暮らし向き意識：ゆとりがある＝大変ゆとりがある＋ややゆとりがある、  
苦しい＝やや苦しい＋苦しい

図 親の暮らし向き意識と子どもの感じる家庭の生活レベル

『生活レベル（子ども 問15）と自己肯定感（子ども 問39～41）・  
生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ 家庭の生活レベルを豊かに感じる子ほど「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

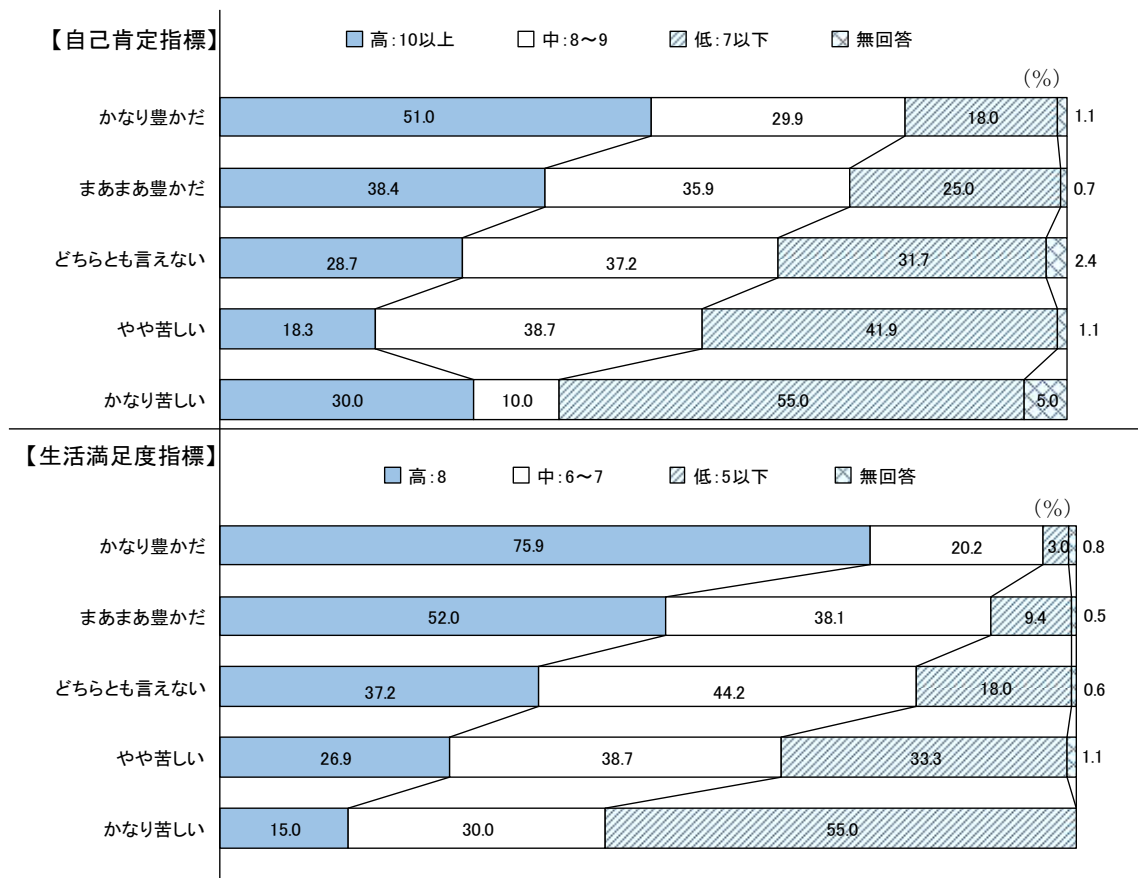


図 自己肯定感・生活満足度と子どもの感じる家庭の生活レベル

『生活レベル（子ども 問15）と成績の自己評価（子ども 問61）』

◎ 家庭の「生活レベル」を豊かに感じる子の方が成績の自己評価が高い。

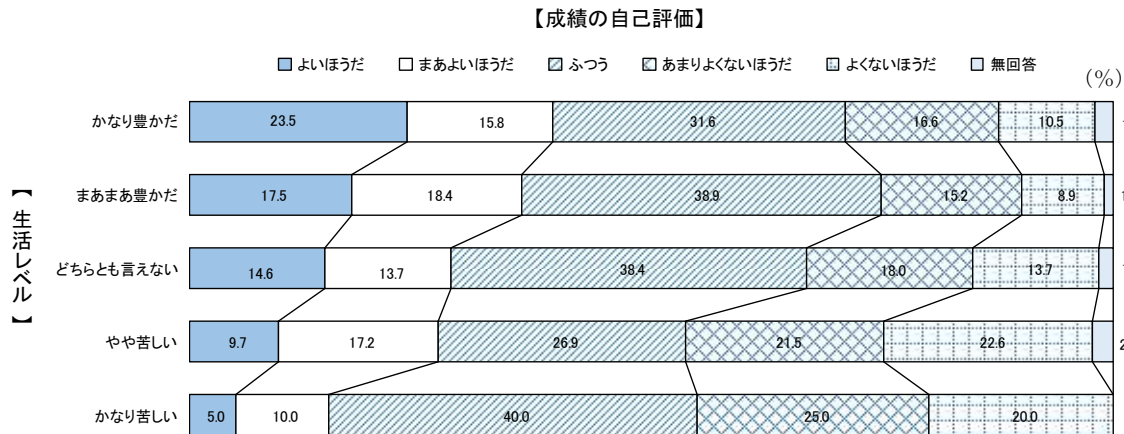


図 成績の自己評価と子どもの感じる家庭の生活レベル

『生活レベル（子ども 問15）と最終進学目標（子ども 問63）』

◎ 家庭の「生活レベル」を豊かに感じる子の方が大学や大学院への進学の希望が高い。

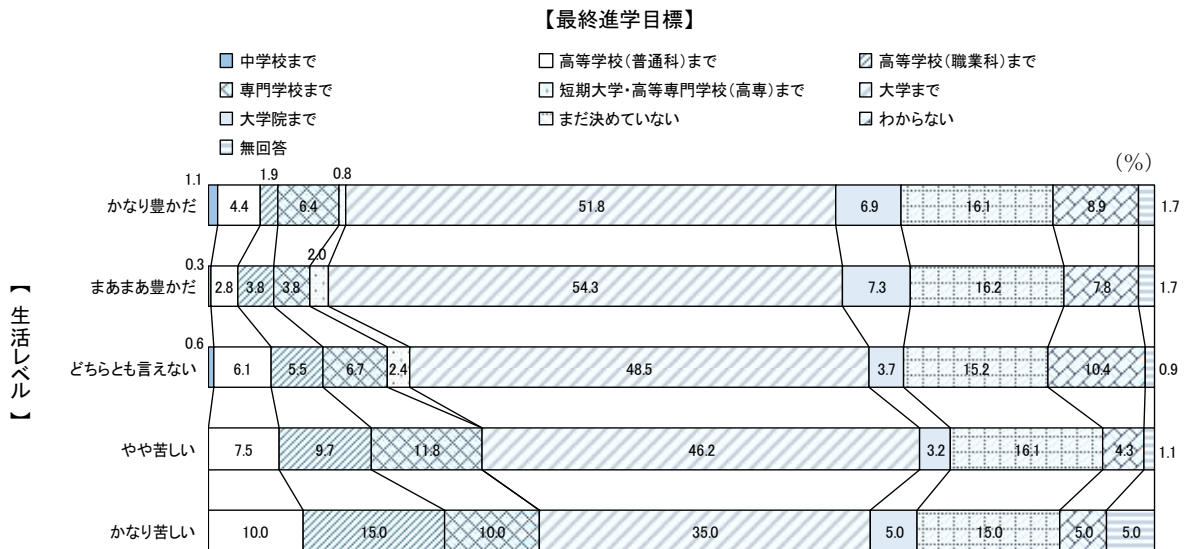
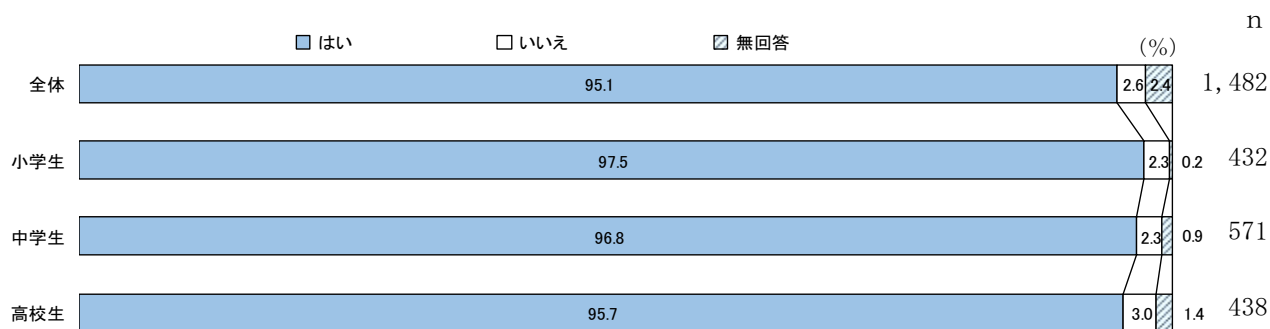


図 進学の希望と子どもの感じる家庭の生活レベル

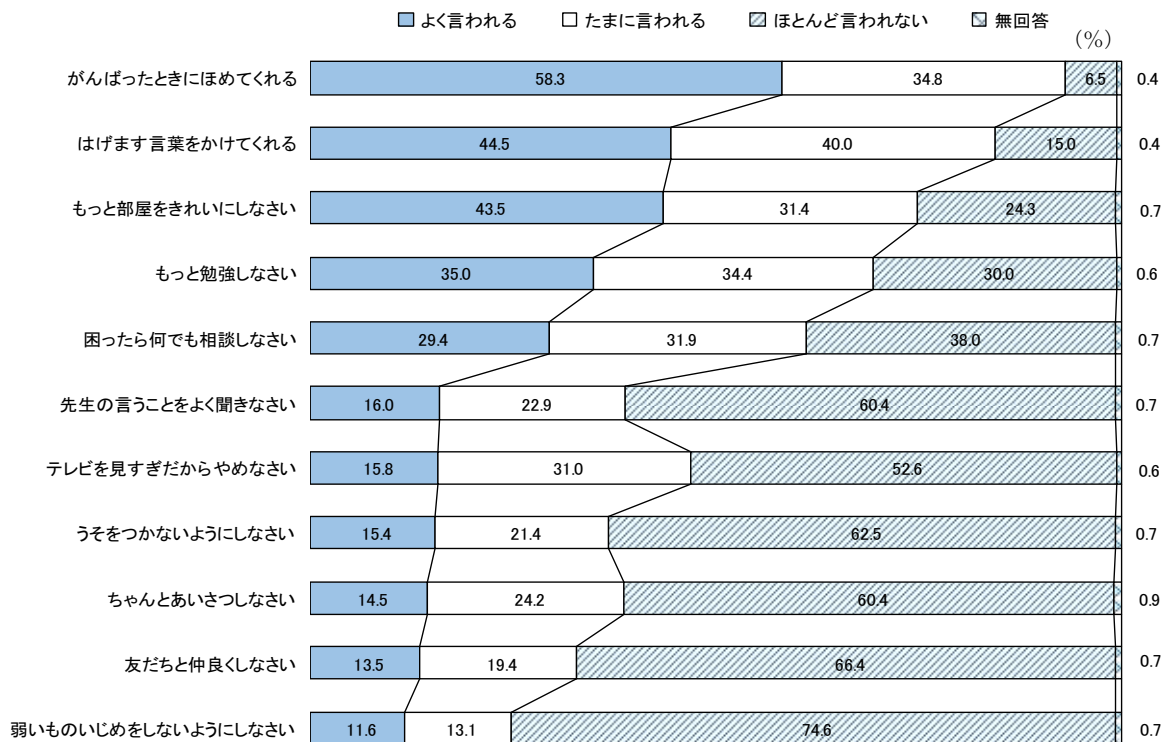
### お母さんと暮らしているかについて 【問16】

- 現在、お母さんと一緒に暮らしていますか。
- ◇ 全体では、95.1%は母親と一緒に暮らしている。



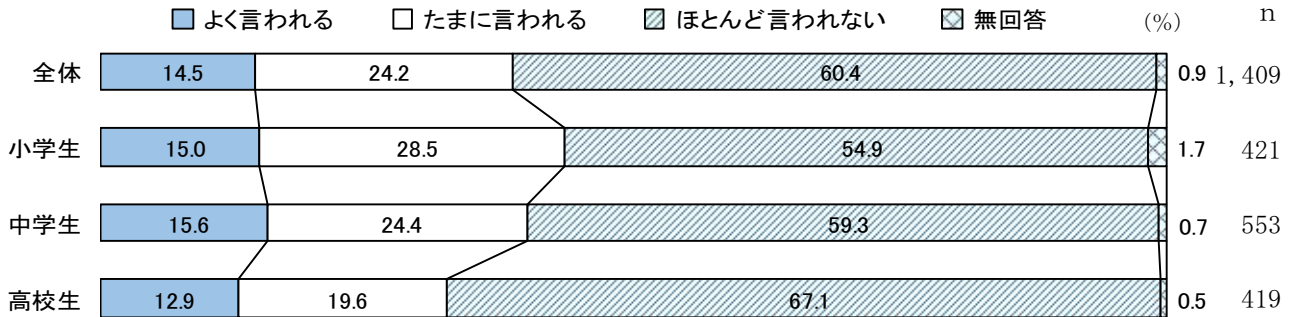
### お母さんからよく言われることについて 【問17】

- ふだんお母さんから、次のようなことを言われますか。(各1つ)
- ◇ 「よく言われる」の割合が高いのは、「がんばったときにほめてくれる」(58.3%)、「はげます言葉をかけてくれる」(44.5%)、「もっと部屋をきれいにしなさい」(43.5%)である。
- ◇ 「ほとんど言われたい」の割合が高いのは、「弱いものいじめをしないようにしなさい」(74.6%)、「友だちと仲良くしなさい」(66.4%)、「うそをつかないようにしなさい」(62.5%)である。

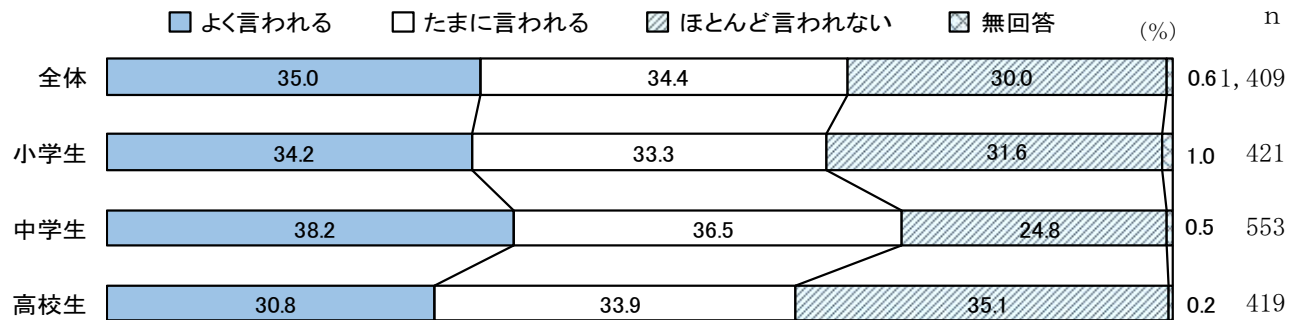


回答数 全体=1,409

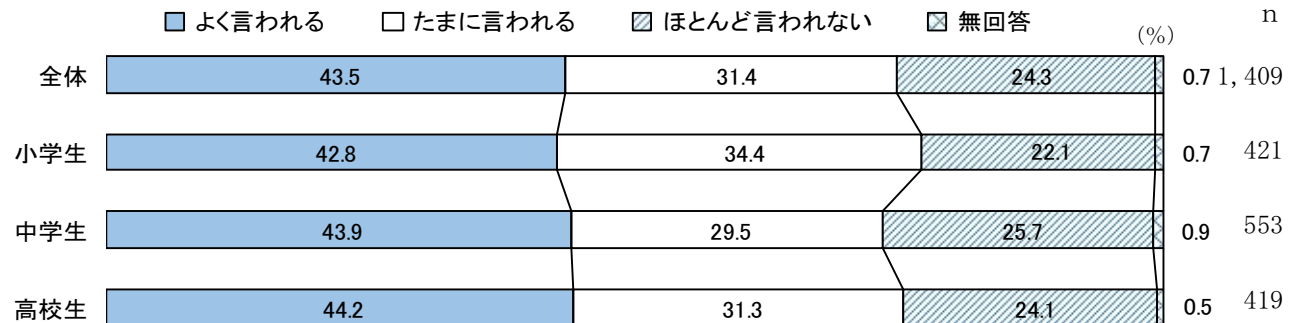
ア. ちゃんとあいさつしなさい



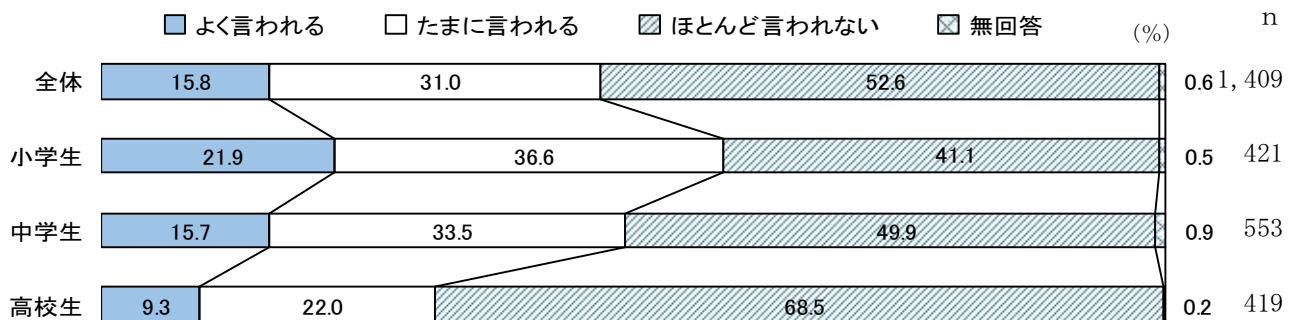
イ. もっと勉強しなさい



ウ. もっと部屋をきれいにしなさい

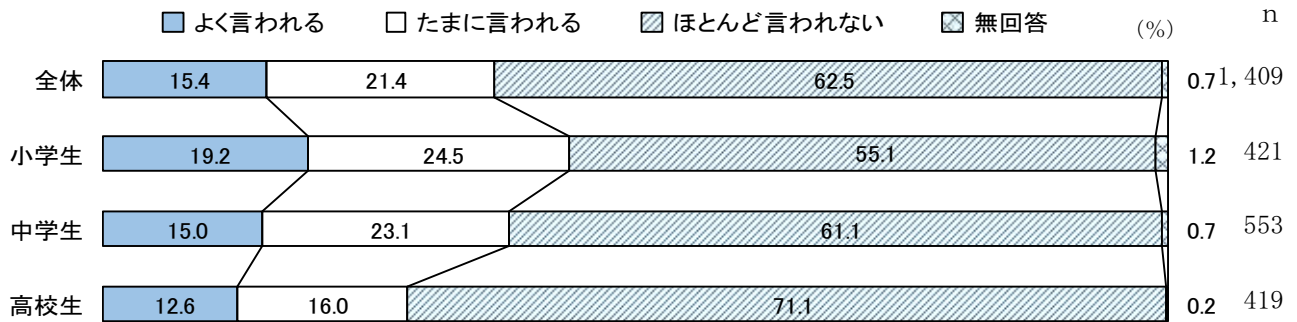


エ. テレビを見すぎだからやめなさい

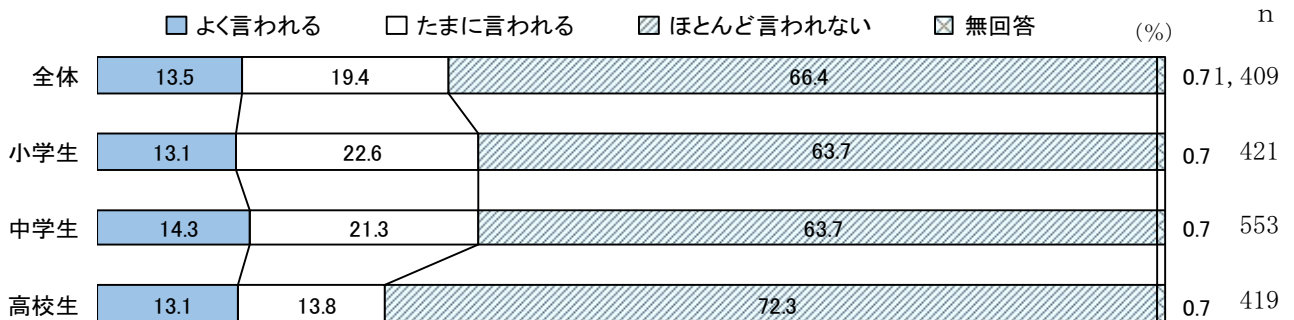




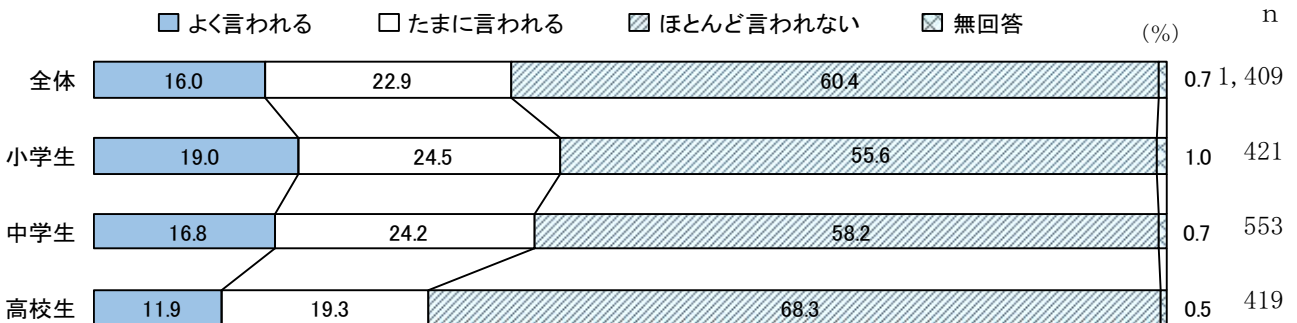
オ. うそをつかないようにしなさい



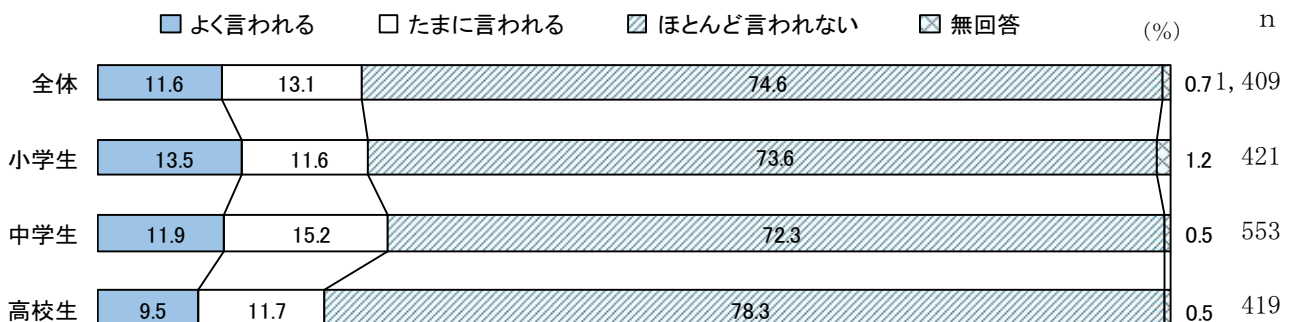
カ. 友だちと仲良くしなさい



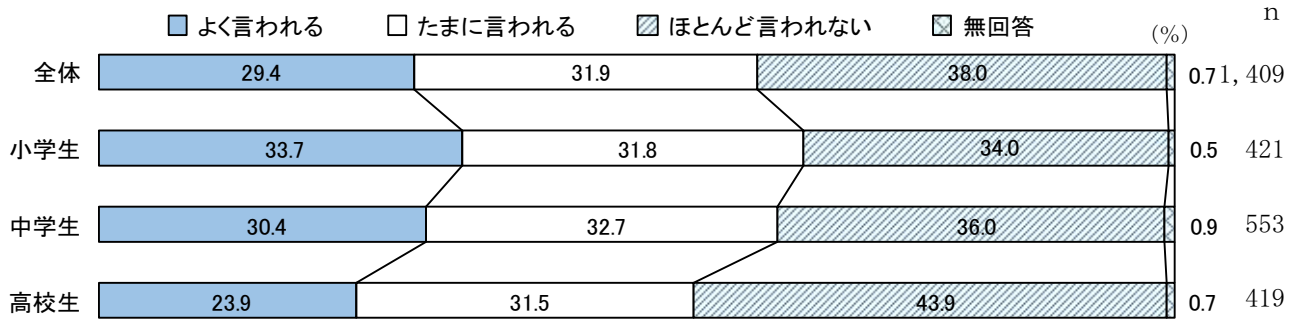
キ. 先生の言うことをよく聞きなさい



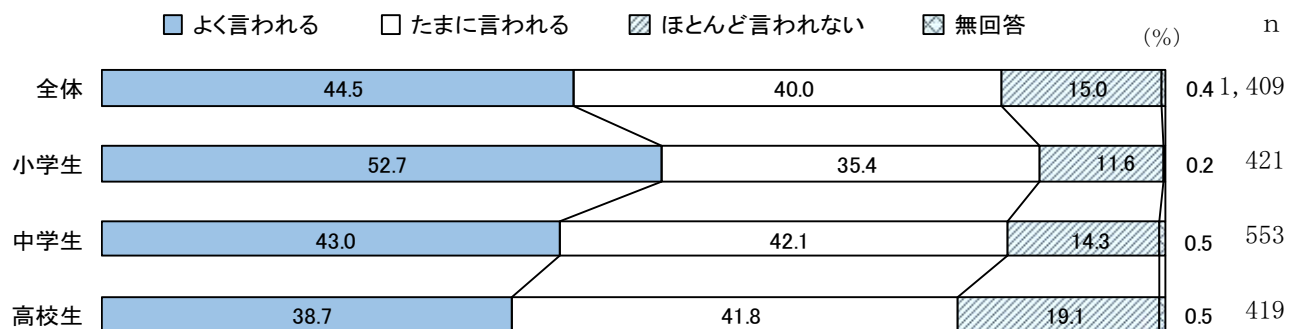
ク. 弱いものいじめをしないようにしなさい



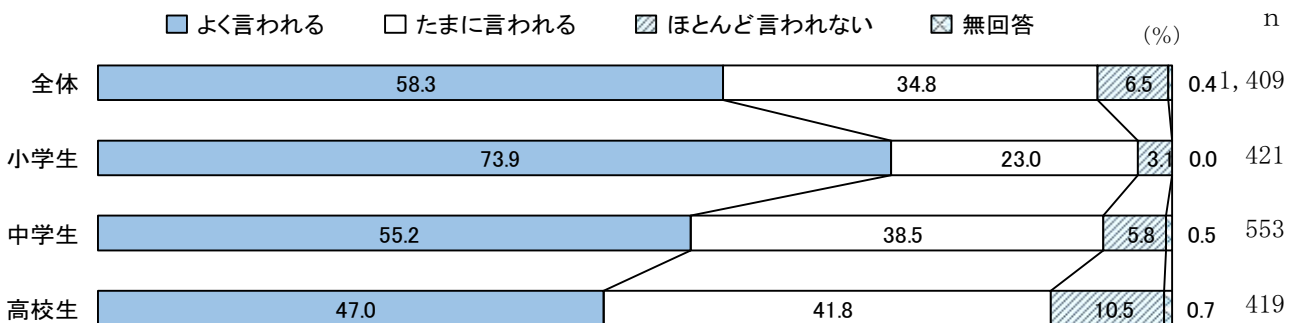
ケ. 困ったら何でも相談しなさい



コ. はげます言葉をかけてくれる



サ. がんばったときにほめてくれる



『母親から言われること (子ども 問17) と成績の自己評価 (子ども 問61)』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が母親から励ましやほめられることがよくある割合が高い。

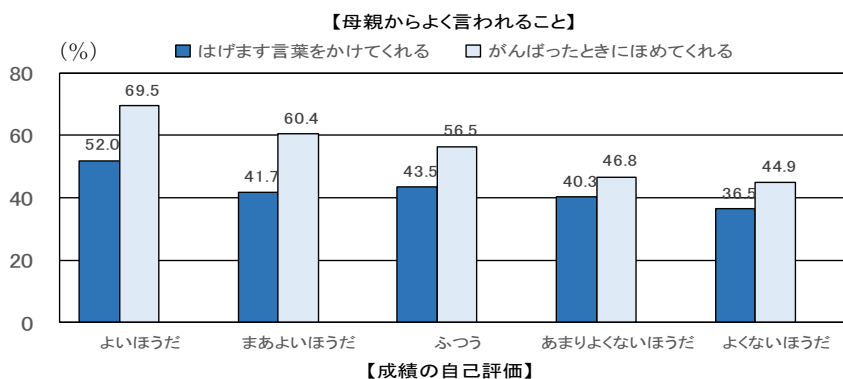


図 成績の自己評価別の母親から励ましやほめられることがある割合



『親子関係：母親（子ども 問17）と成績の自己評価（子ども 問61）』

○ 「母親と支援的な関係」が強い子（親子関係指標の点数が小さい子）の方が成績の自己評価は高い。

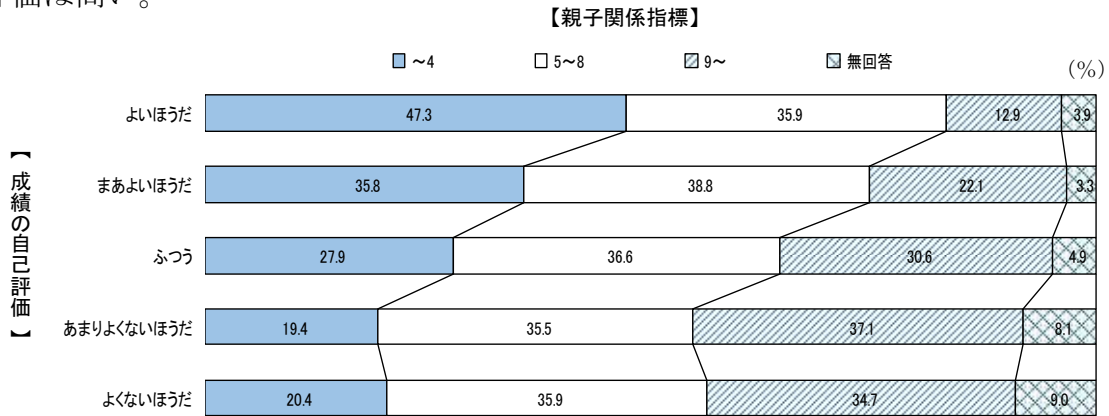


図 成績の自己評価と親子関係：母親

『親子関係：母親（子ども 問17）と自己肯定感（子ども 問39~41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ 「母親との支援的な関係」が強い子（親子関係指標の点数が小さい子）の方が自己肯定感や生活満足度が高い。

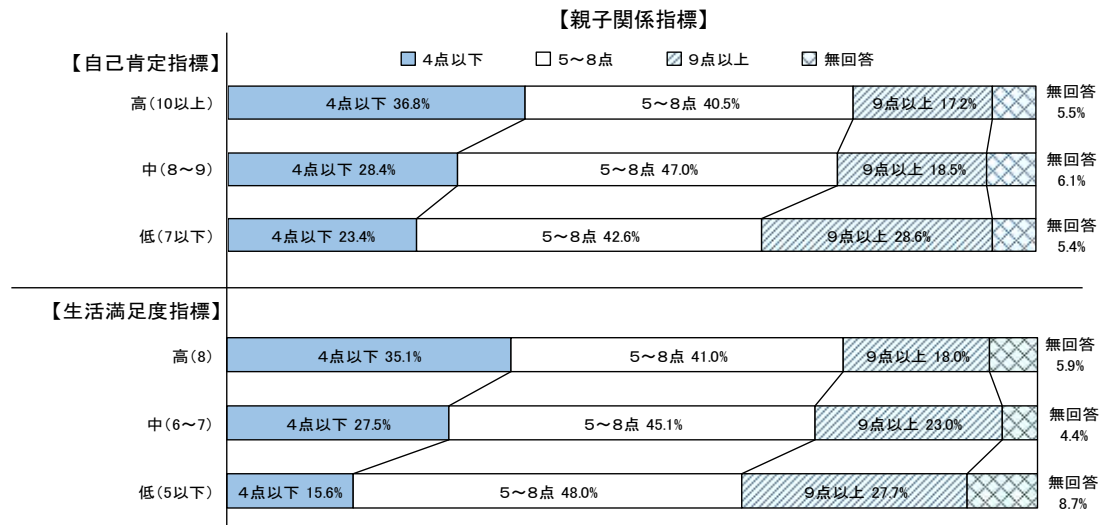
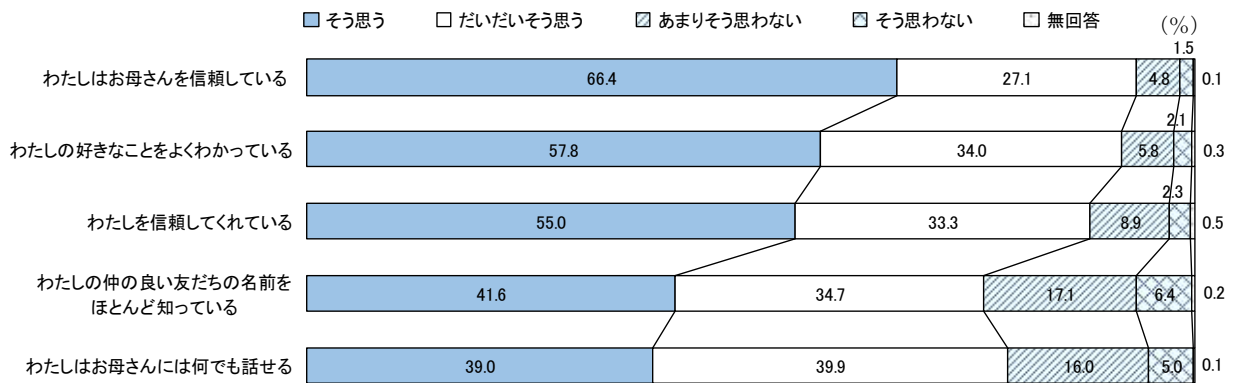


図 自己肯定感・生活満足度と親子関係：母親

## お母さんとの関係について 【問18】

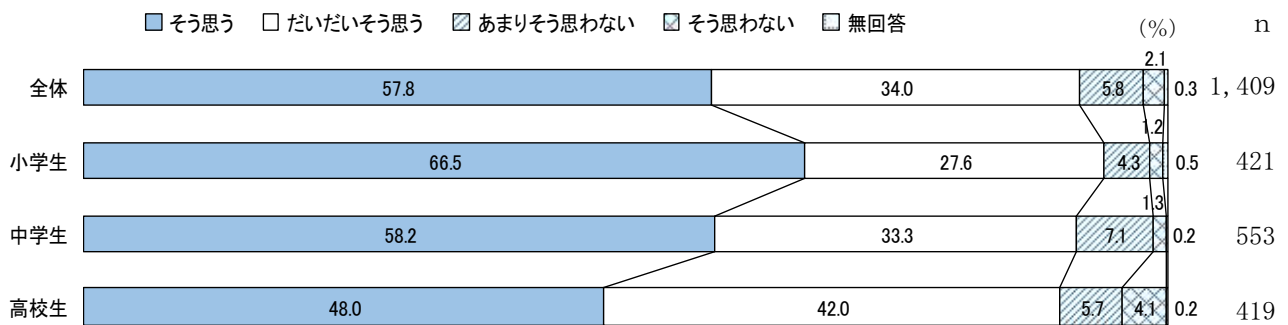
### ■あなたとお母さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。(各1つ)

- ◇ 「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計の割合が高いのは、「わたしはお母さんを信頼している」が93.5%、「お母さんは、わたしの好きなことをよくわかっている」が91.8%である。
- ◇ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計の割合が高いのは、「お母さんは、わたしの仲の良い友だちの名前をほとんど知っている」が23.5%、「わたしはお母さんには何でも話せる」が21.0%である。

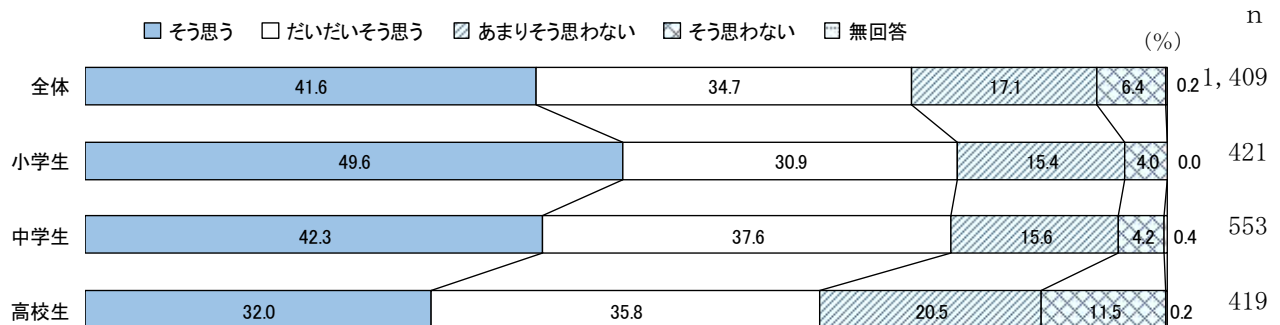


回答数 全体=1,482

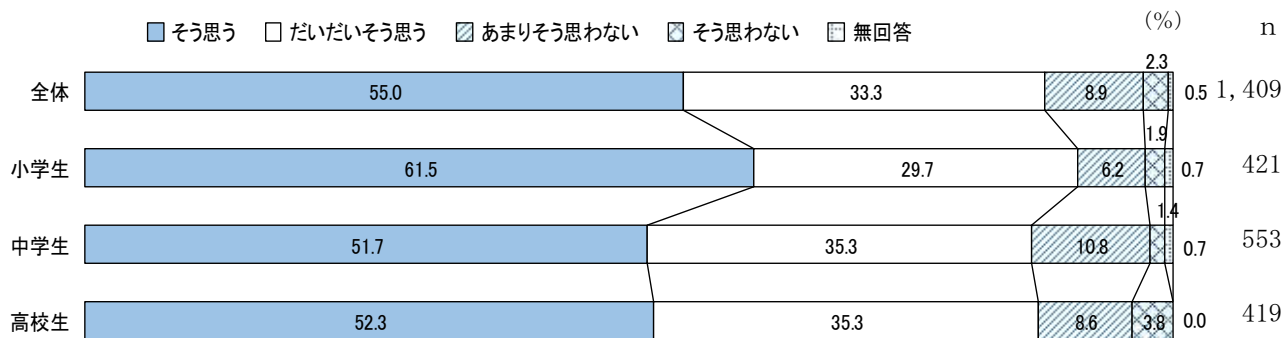
### ア. お母さんは、わたしの好きなことをよくわかっている



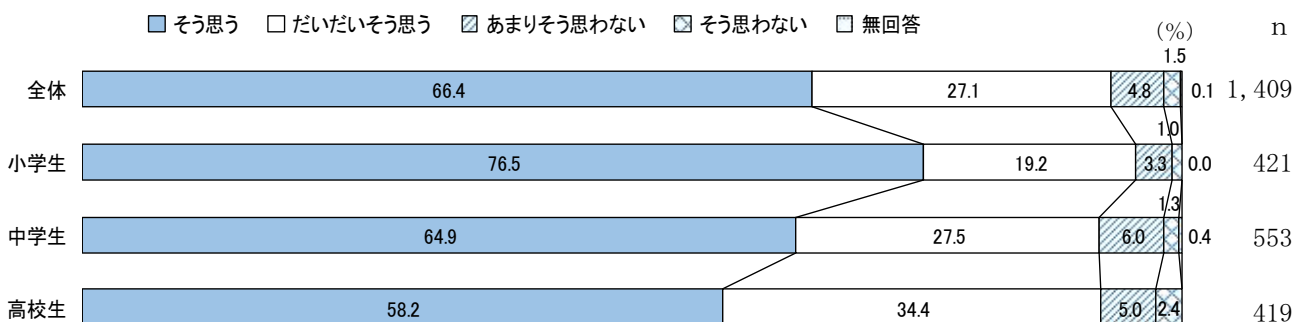
### イ. お母さんは、わたしの仲の良い友だちの名前をほとんど知っている



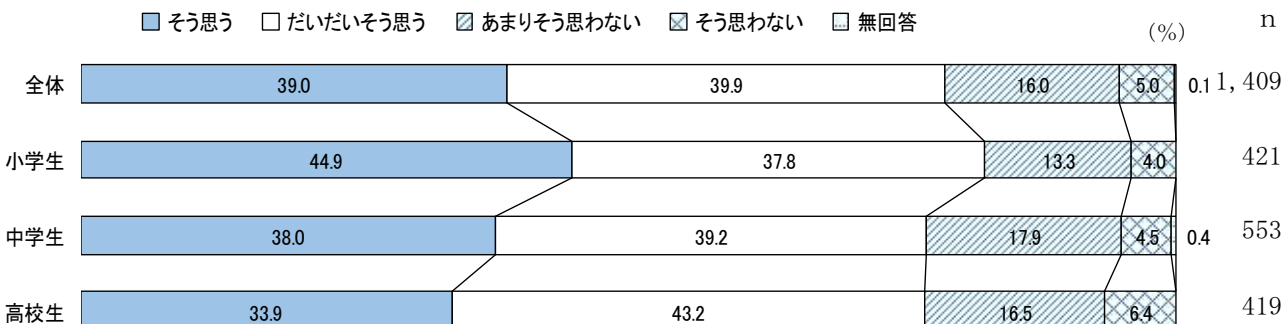
### ウ. お母さんは、わたしを信頼してくれている



### エ. わたしはお母さんを信頼している



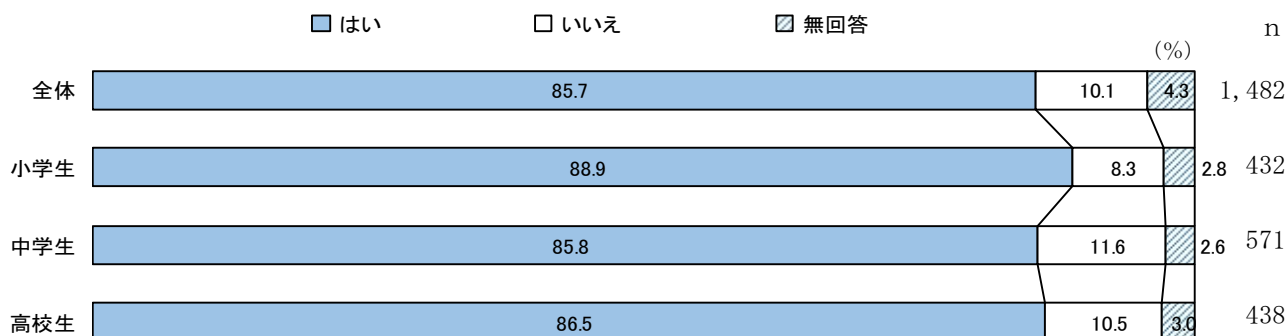
### オ. わたしはお母さんには何でも話せる



### お父さんと暮らしているかについて 【問19】

■ 現在、お父さんと一緒に暮らしていますか。

◇ 全体では、85.7%は父親と一緒に暮らしている。

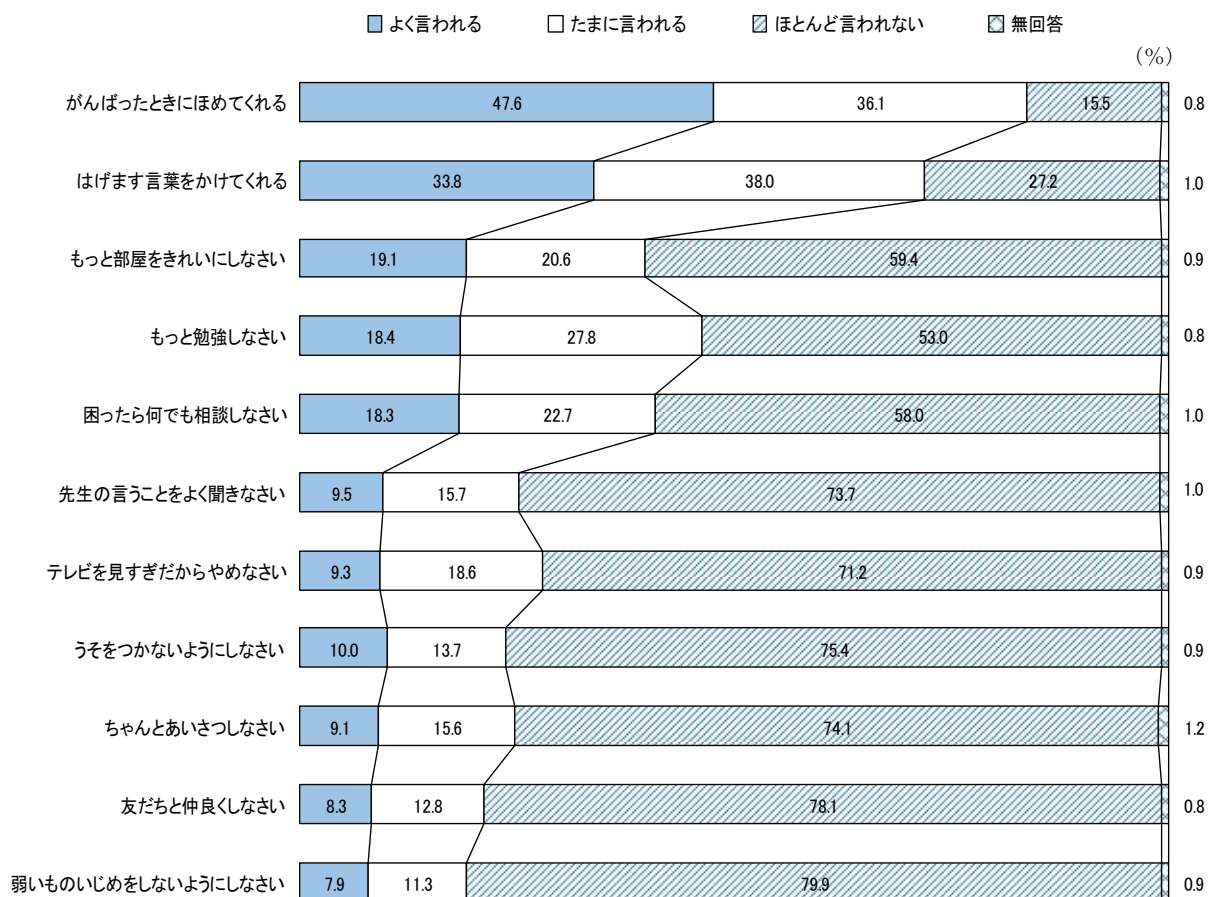


### お父さんからよく言われることについて 【問20】

■ ふだんお父さんから、次のようなことを言われますか。(各1つ)

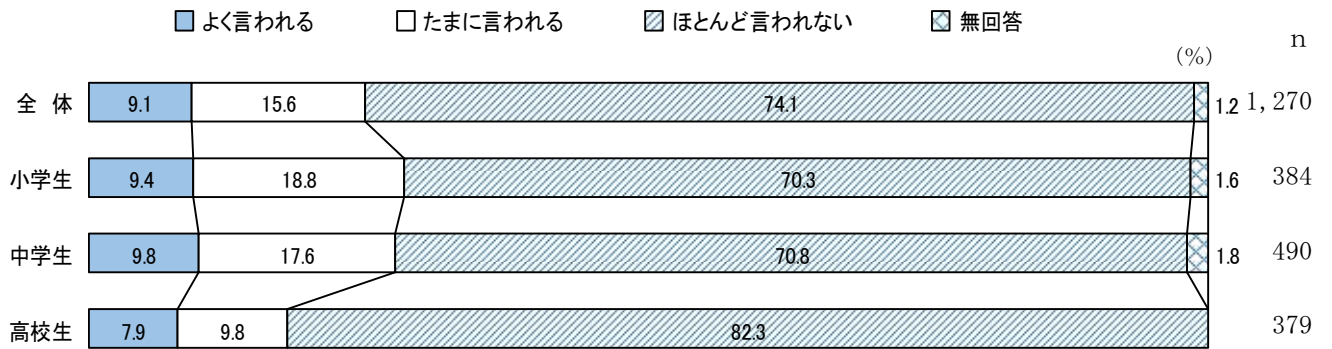
◇ 「よく言われる」の割合が高いのは、「がんばったときにほめてくれる」が47.6%、「はげます言葉をかけてくれる」が33.8%である。

◇ 「ほとんど言われない」の割合が高いのは、「弱いものいじめをしないようにしなさい」が79.9%、「友だちと仲良くしなさい」が78.1%である。

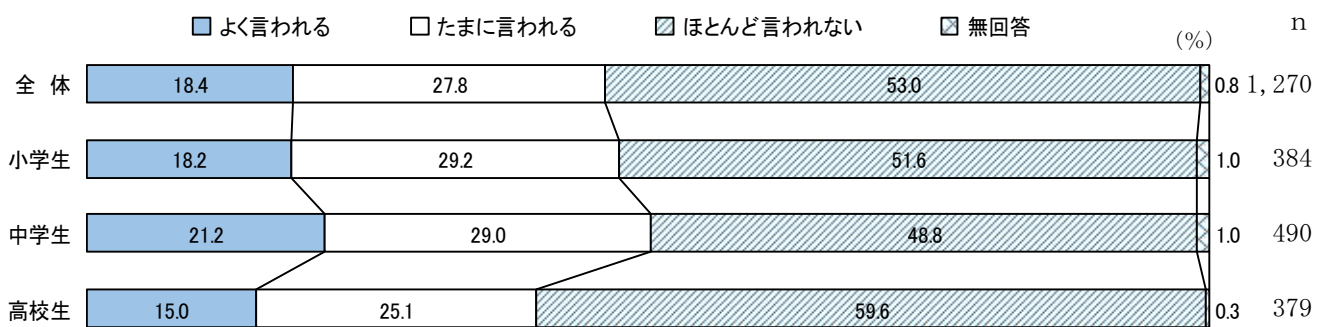


回答数 全体=1,270

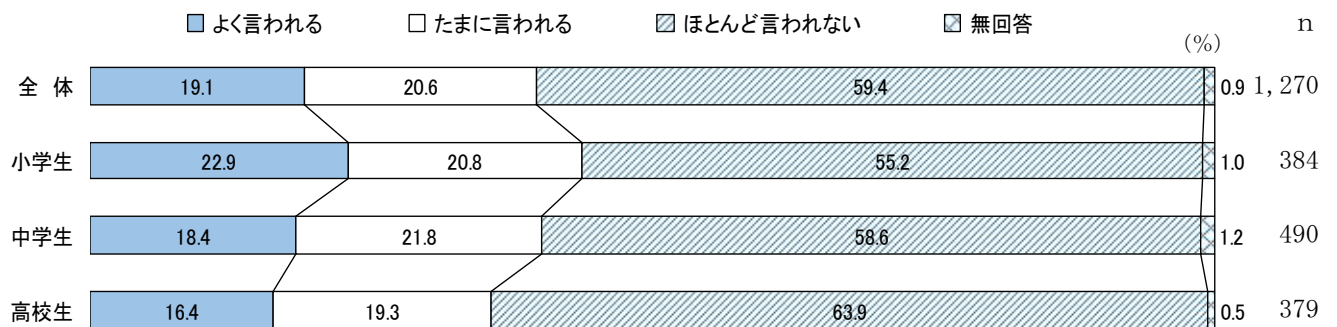
### ア. ちゃんとあいさつしなさい



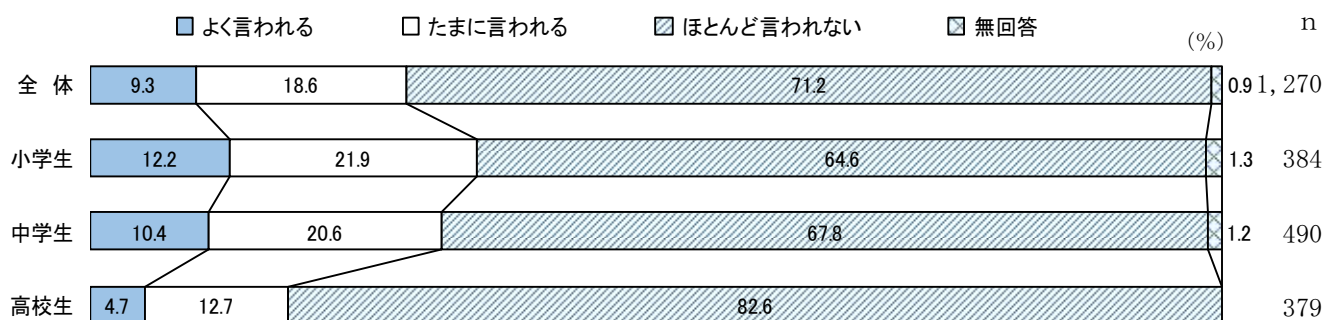
### イ. もっと勉強しなさい



### ウ. もっと部屋をきれいにしなさい

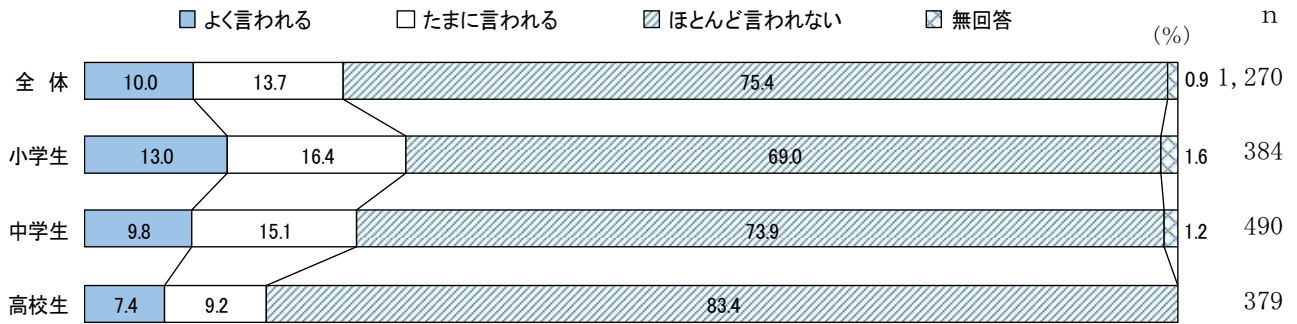


### エ. テレビを見すぎだからやめなさい

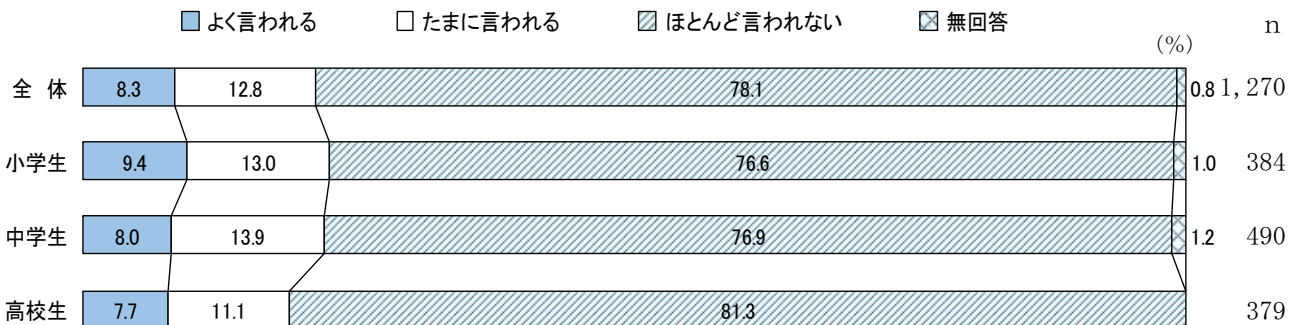




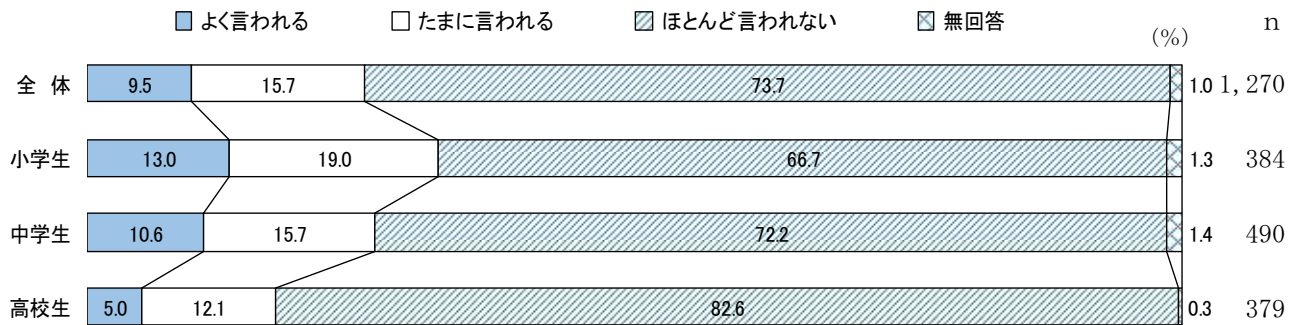
オ. うそをつかないようにしなさい



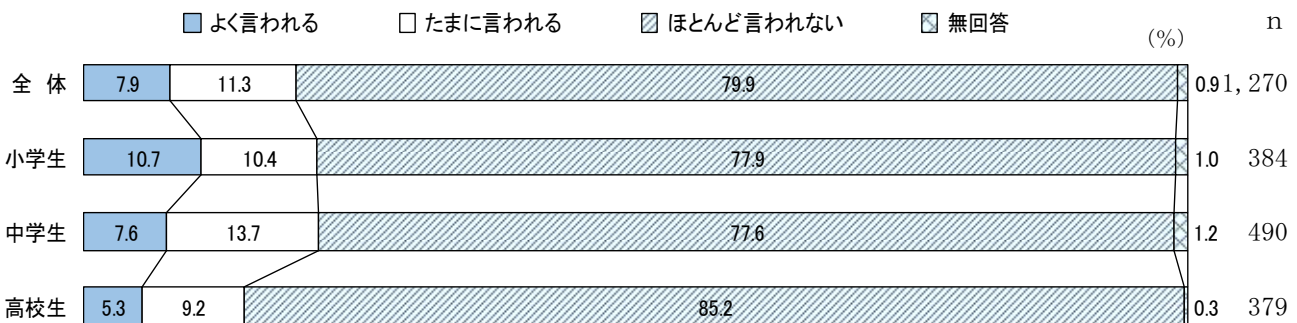
カ. 友だちと仲良くしなさい



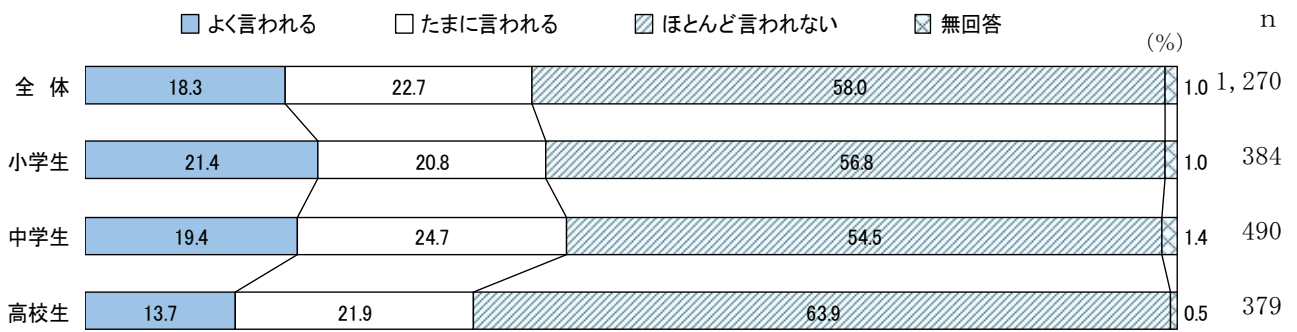
キ. 先生の言うことをよく聞きなさい



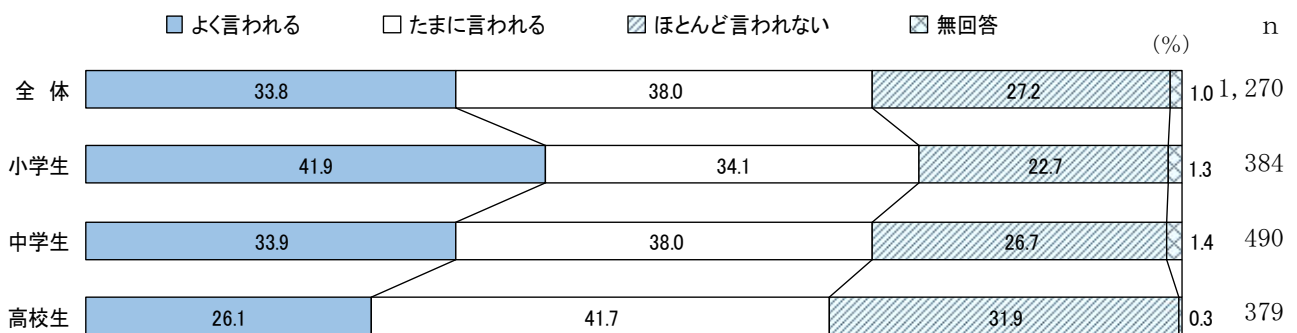
ク. 弱いものいじめをしないようにしなさい



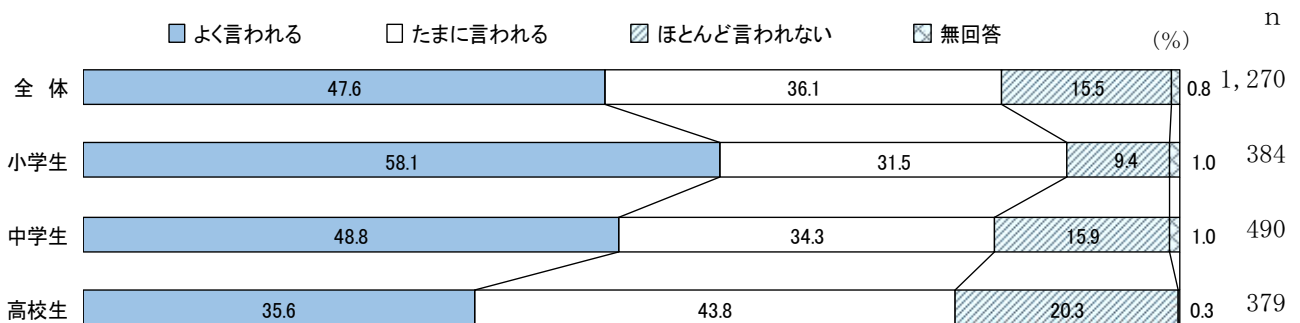
ケ. 困ったら何でも相談しなさい



コ. はげます言葉をかけてくれる



サ. がんばったときにほめてくれる



『父親から言われること（子ども 問20）と成績の自己評価（子ども 問61）』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が父親から励ましやほめられることがよくある割合が高い。

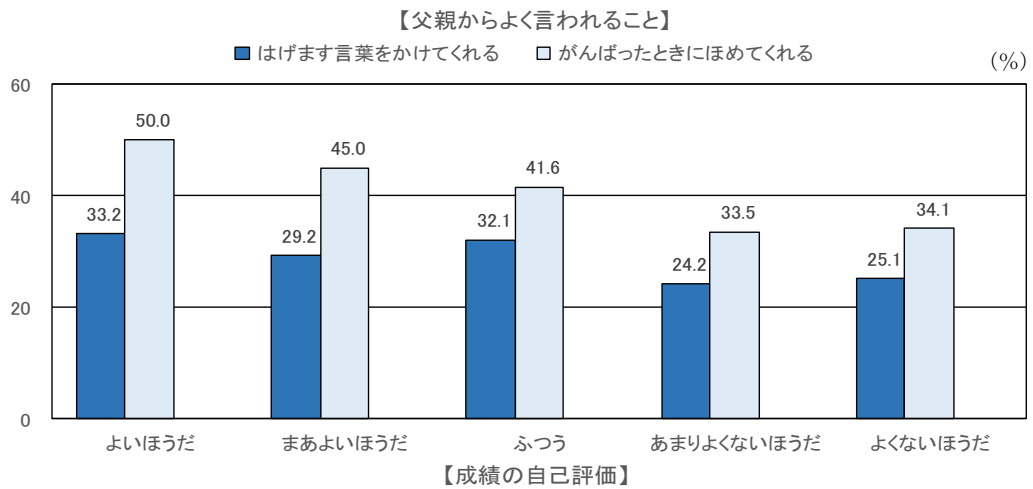


図 成績の自己評価別の父親から励ましやほめられることがある割合

『親子関係：父親（子ども 問20）と成績の自己評価（子ども 問61）』

○ 「父親と支援的な関係」が強い子（親子関係指標の点数が小さい子）の方が成績の自己評価は高い。

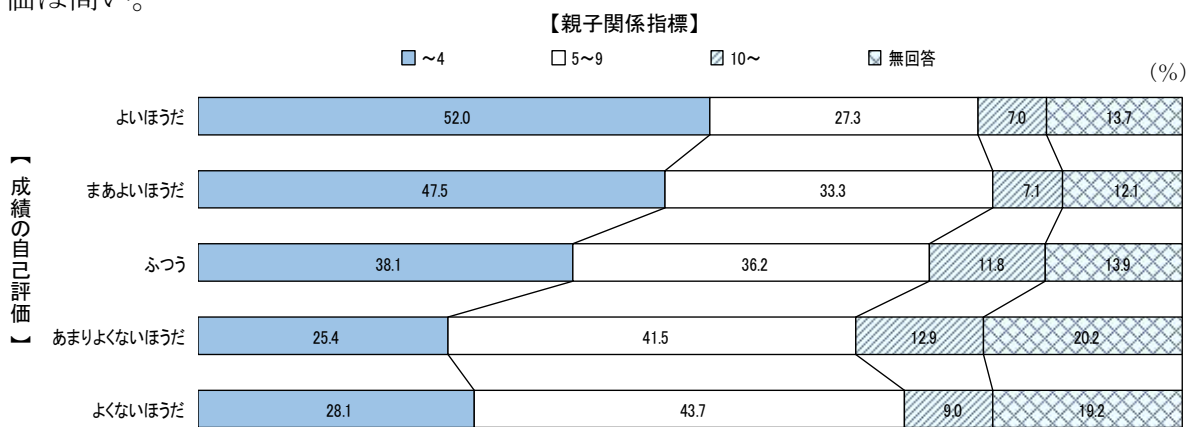


図 成績の自己評価と親子関係：父親



『親子関係：父親（子ども問20）と自己肯定感（子ども問39～41）・生活満足度（子ども問42,43）』

○ 「父親との支援的な関係」が強い子（親子関係指標の点数が小さい子）の方が自己肯定感や生活満足度が高い。

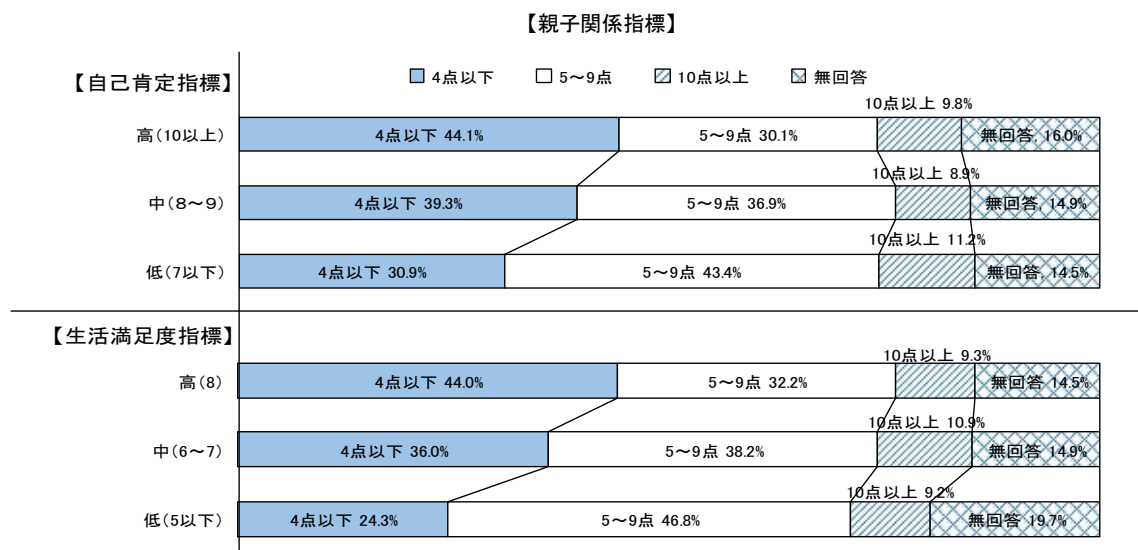
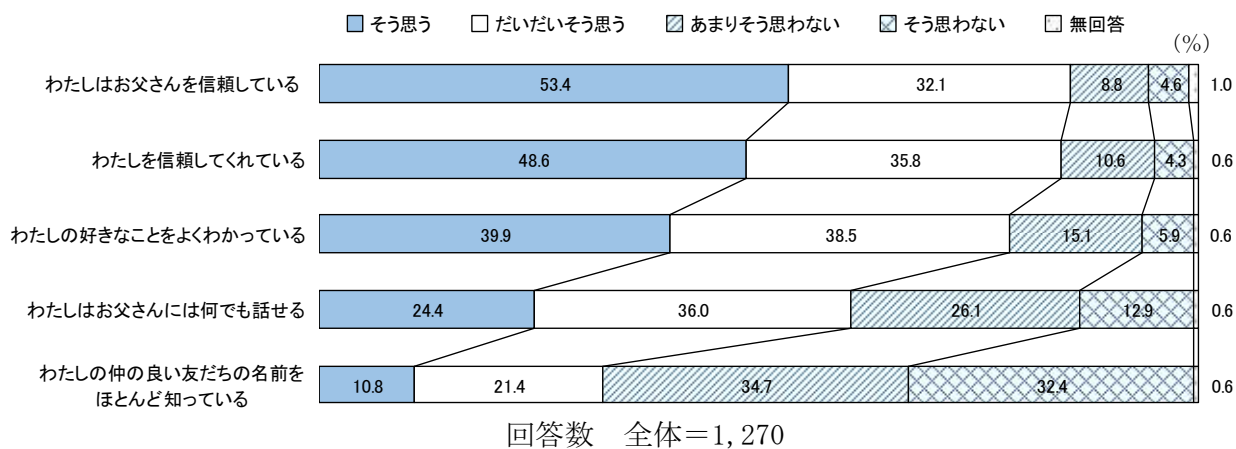


図 自己肯定感・生活満足度と親子関係：父親

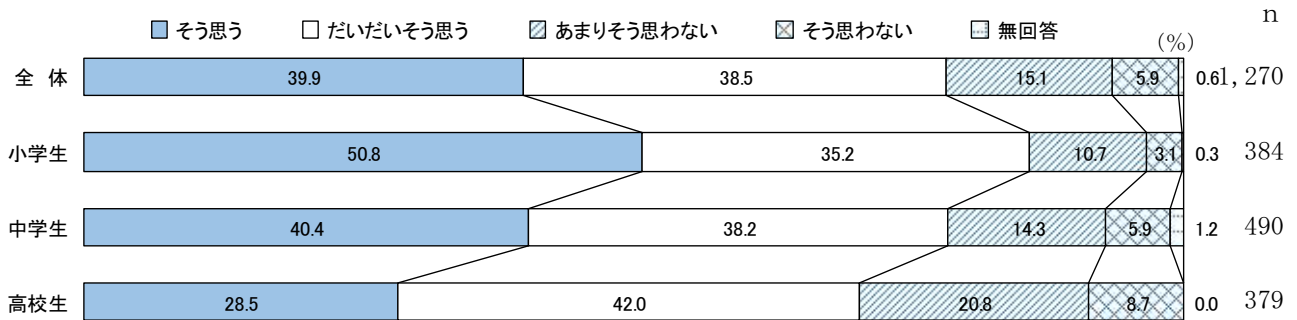
**お父さんとの関係について 【問21】**

■あなたとお父さんとの関係について、あなたはどのように思いますか。（各1つ）

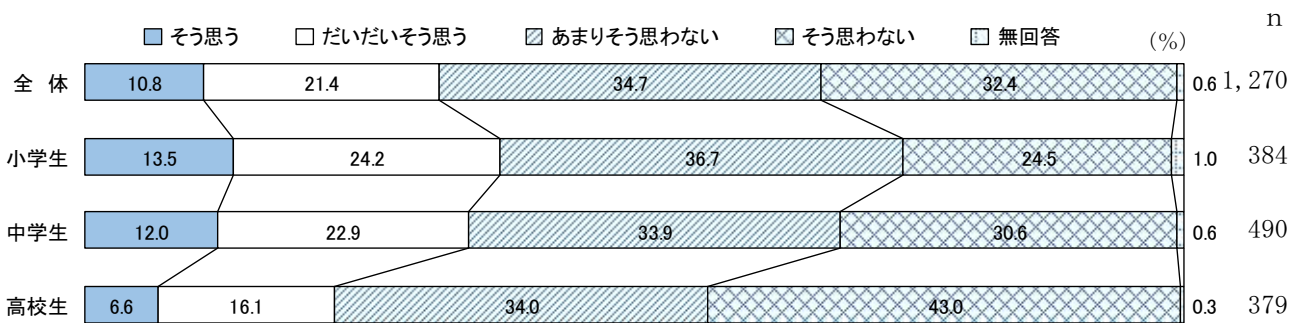
- ◇ 「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計は、「わたしはお父さんを信頼している」が85.5%、「お父さんは、わたしを信頼してくれている」が84.4%となっている。
- ◇ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計は、「お父さんは、わたしの仲の良い友だちの名前をほとんど知っている」が67.1%、「わたしはお父さんには何でも話せる」が39.0%である。



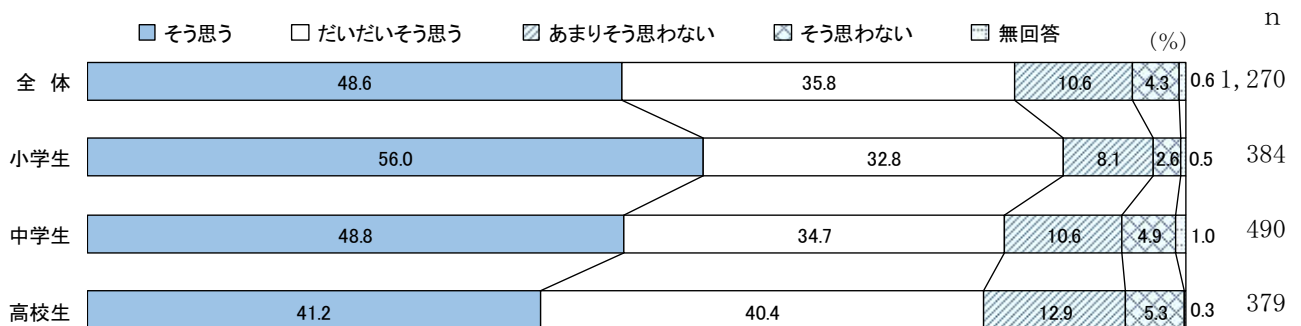
ア. お父さんは、わたしの好きなことをよくわかっている



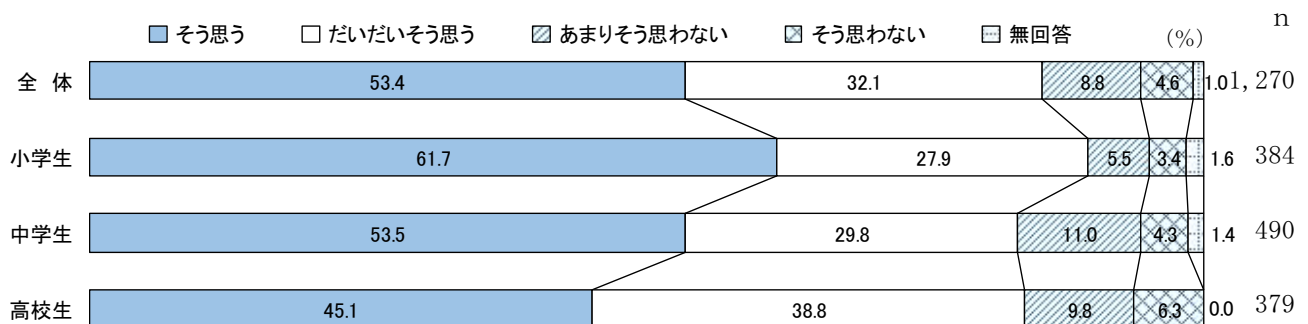
イ. お父さんは、わたしの仲の良い友だちの名前をほとんど知っている



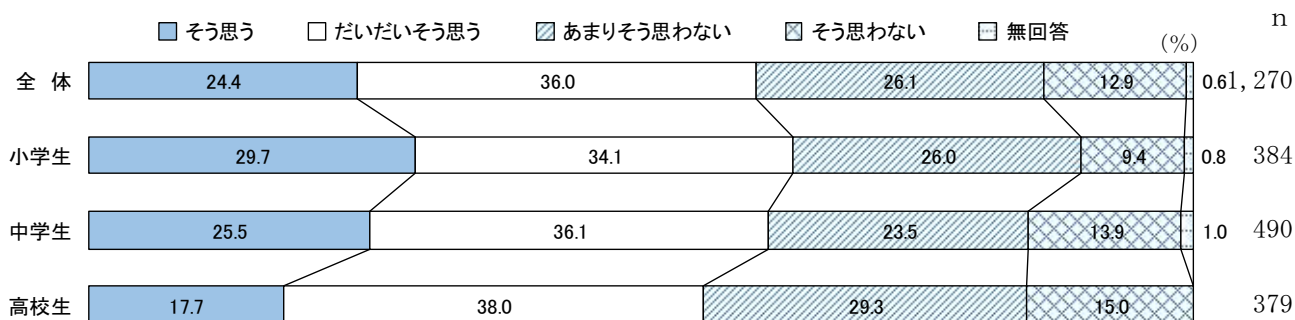
ウ. お父さんは、わたしを信頼してくれている



エ. わたしはお父さんを信頼している



## オ. わたしはお父さんには何でも話せる

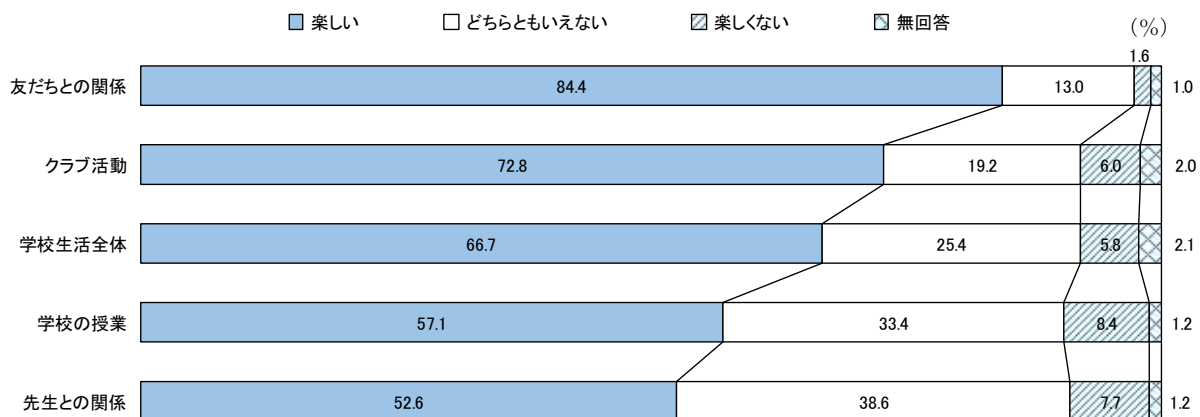


## ～学校や近所のことに関する質問～

### 通っている学校について 【問22】

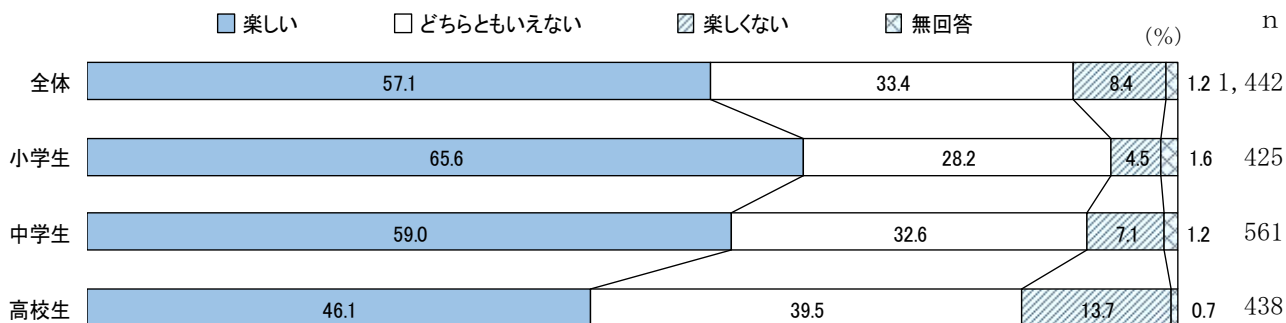
#### ■いま通っている学校での生活は楽しいですか。(各1つ)

- ◇ 「楽しい」と回答している項目は、「友だちとの関係」が84.4%と最も多く、次いで「クラブ活動」が72.8%、「学校生活全体」が66.7%である。
- ◇ 「楽しくない」と回答している項目は、「学校の授業」が8.4%と最も多く、次いで「先生との関係」が7.7%である。
- ◇ 長期間学校を休んでいる子どもの割合は全体で0.3%である。

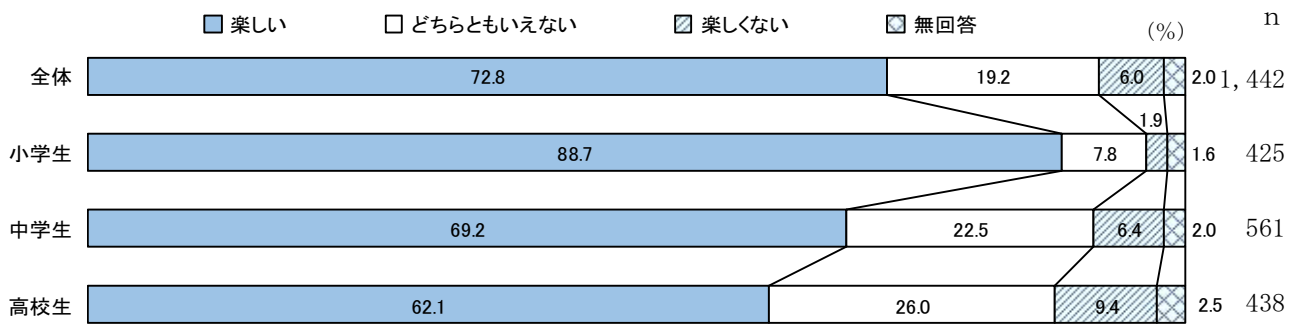


回答数 全体=1,442

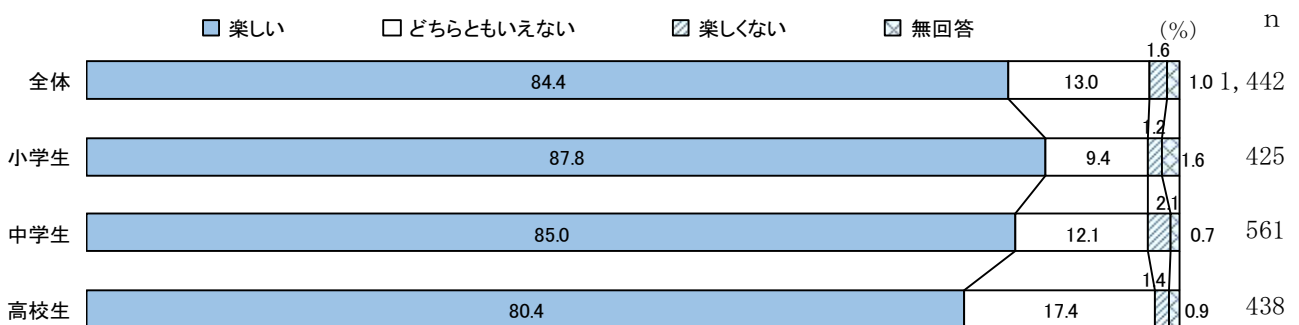
## ア. 学校の授業



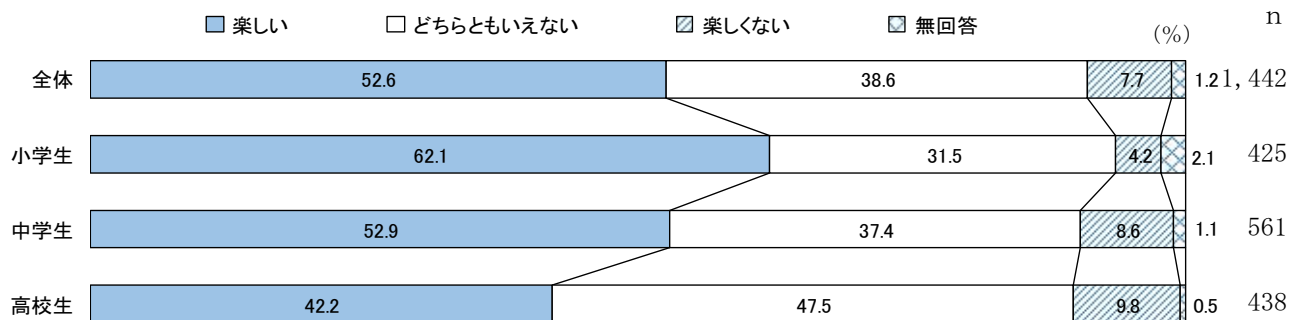
## イ. クラブ活動



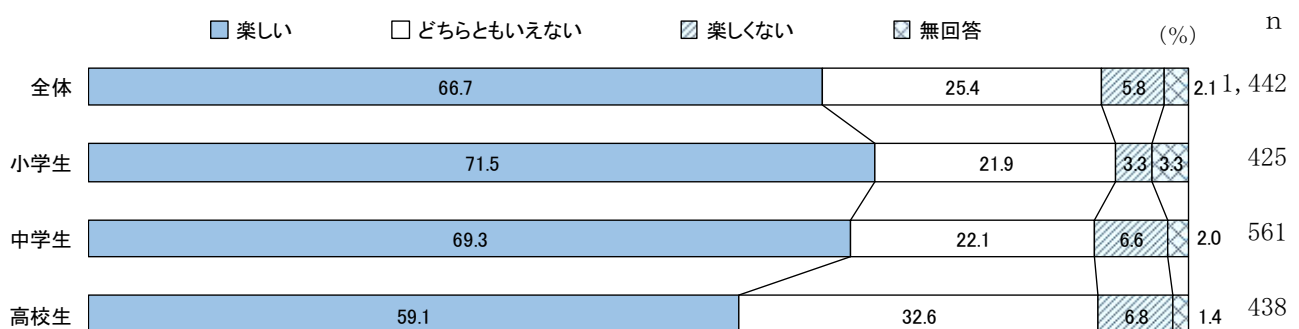
## ウ. 友だちとの関係



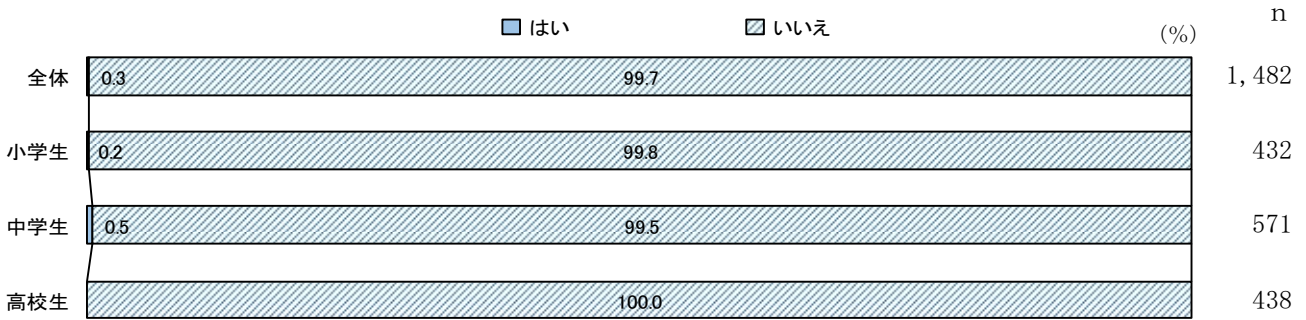
## エ. 先生との関係



## オ. 学校生活全体



カ. 学校を長期間休んでいる（該当の場合は選択）



【前回調査との数値比較】

	小学生			中学生			高校生		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
学校の授業	52.6	65.6	13.0	49.5	59.0	9.5	44.1	46.1	2.0
クラブ活動	80.2	88.7	8.5	62.7	69.2	6.5	58.6	62.1	3.5
友だちとの関係	87.9	87.8	▲ 0.1	81.3	85.0	3.7	80.4	80.4	0.0
先生との関係	50.6	62.1	11.5	43.8	52.9	9.1	38.5	42.2	3.7
学校生活全体	63.6	71.5	7.9	64.5	69.3	4.8	61.0	59.1	▲ 1.9

『学校生活（子ども 問22）と親の暮らし向き意識（就学後 問31）』

- 親が「暮らし向きにゆとりがある」と回答した子の方が学校を楽しんでいる割合が高い。

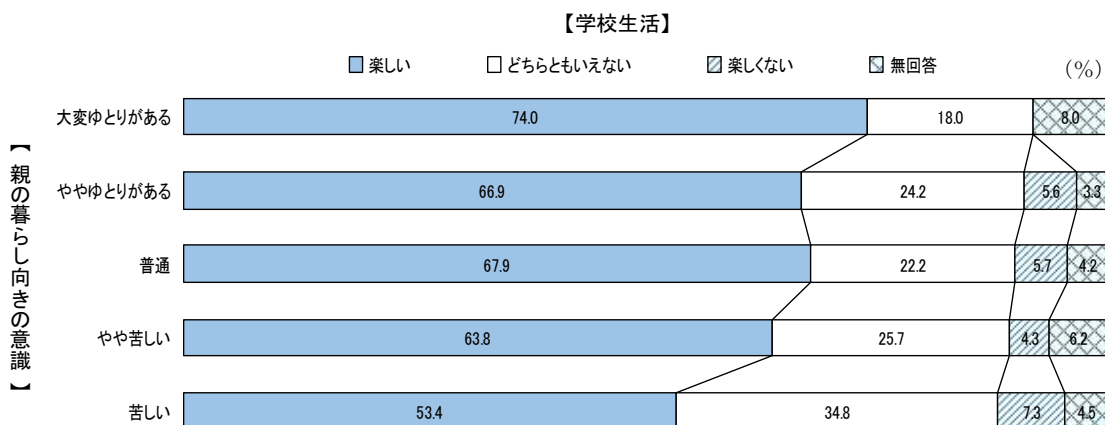


図 親の暮らし向きの意識と学校生活

『学校生活（子ども 問22）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が学校を楽しんでいる割合が高い。

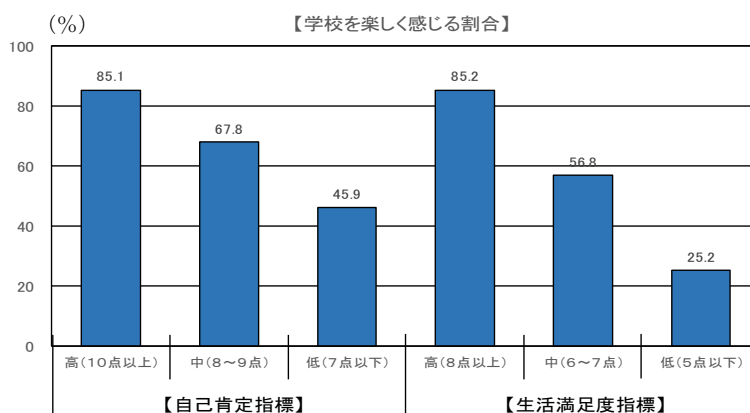


図 自己肯定感・生活満足度と学校を楽しめる割合

『学校生活（子ども 問22）と成績の自己評価（子ども 問61）』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が学校を楽しんでいる割合が高い。

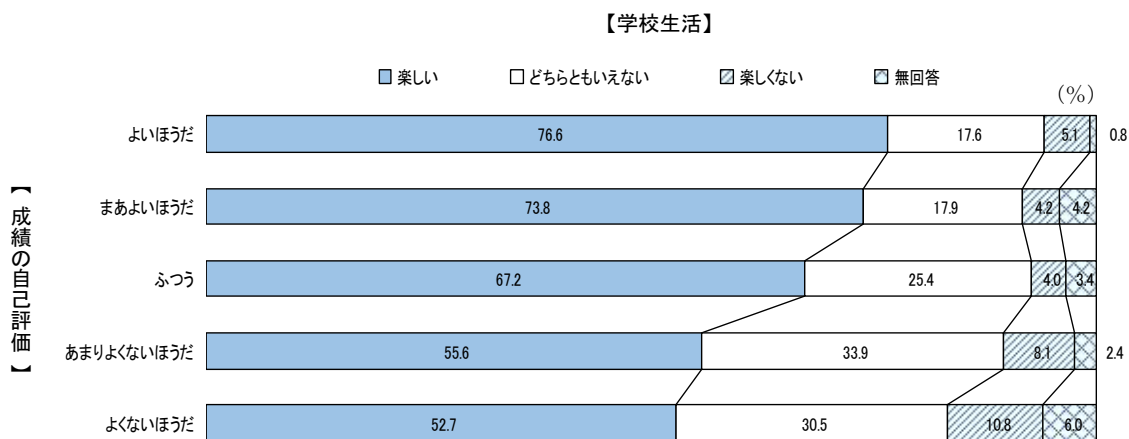
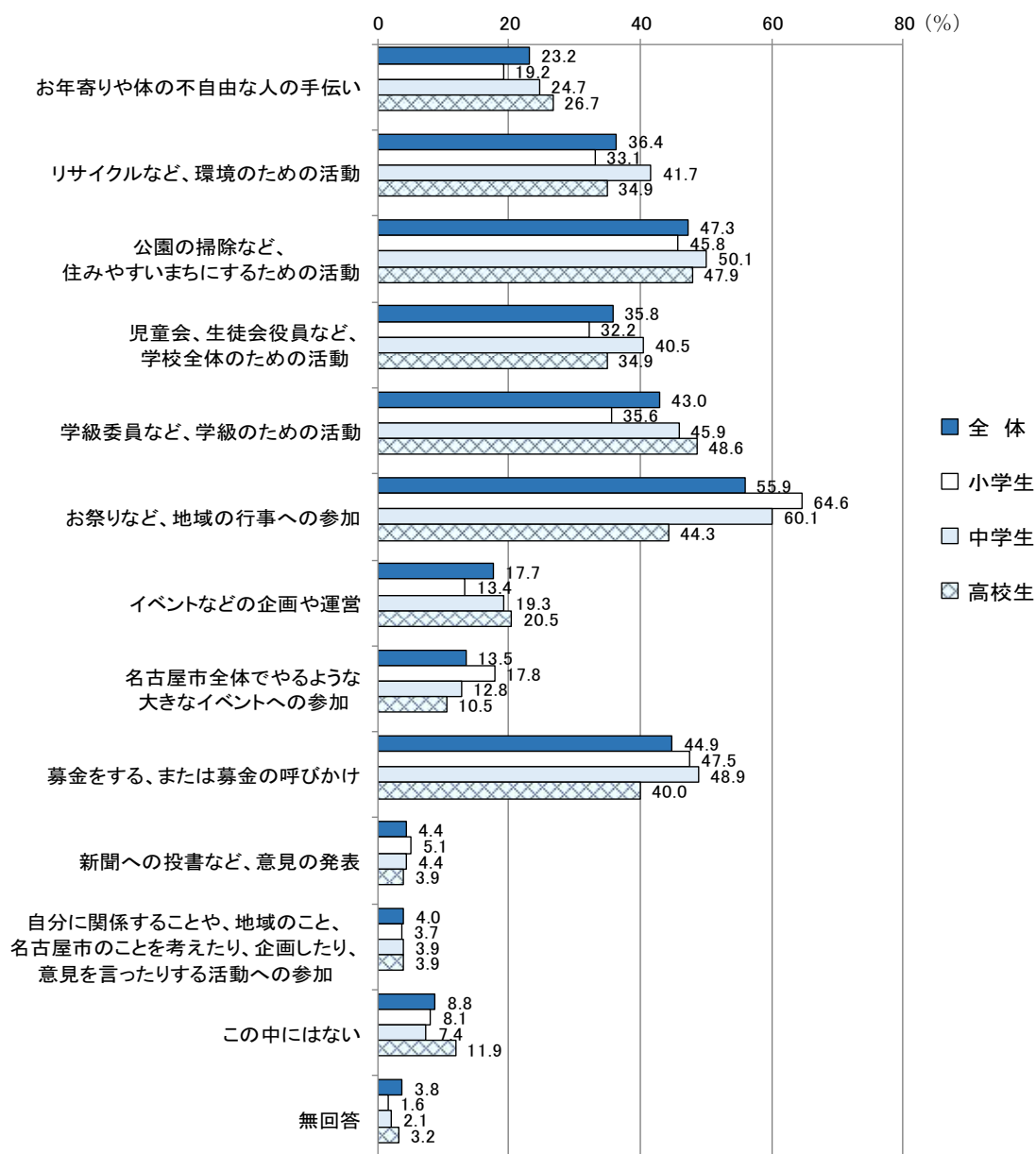


図 成績の自己評価別の学校生活

### 地域や学校での活動について【問23】

#### ■ 次の活動中で、あなたがしたことのある活動はなんですか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「お祭りなど、地域の行事への参加」が55.9%で最も多く、次いで「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」が47.3%、「募金をする、または募金の呼びかけ」が44.9%、「学級委員など、学級のための活動」が43.0%となっている。
- ◇ 「自分に関係することや、地域のこと、名古屋市のことを考えたり、企画したり、意見を言ったりする活動への参加」(社会に主体的に参画する活動)の経験がある子は4.0%である。



回答数 全体=5,017 小学生=1,416 中学生=2,064 高校生=1,451

【前回調査との数値比較】

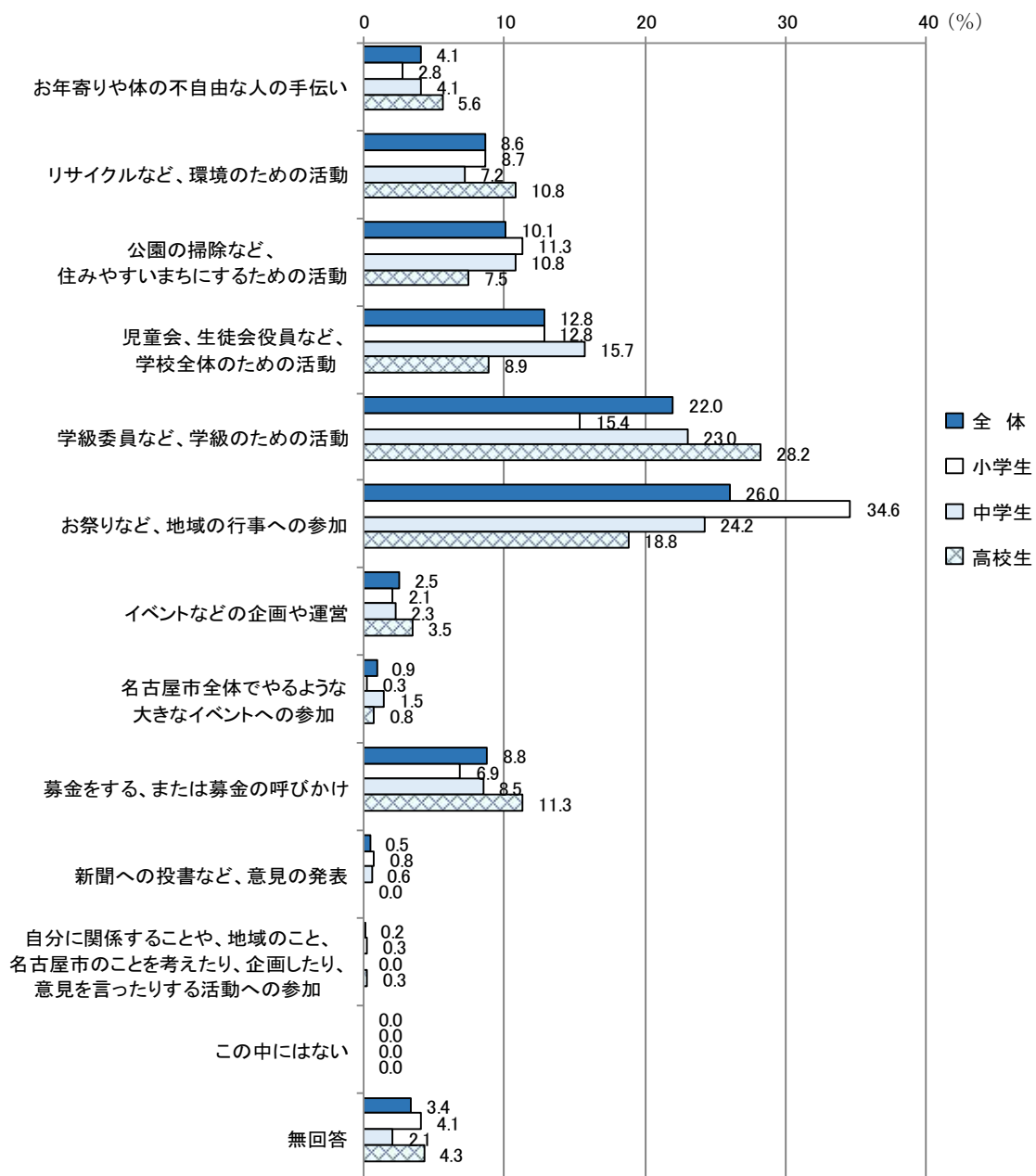
	地域や学校での活動		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
お年寄りや体の不自由な人の手伝い	26.5	23.2	▲ 3.3
リサイクルなど、環境のための活動	39.5	36.4	▲ 3.1
公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動	45.9	47.3	1.4
児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動	32.4	35.8	3.4
学級委員など、学級のための活動	42.7	43.0	0.3
お祭りなど、地域の行事への参加	61.0	55.9	▲ 5.1
イベントなどの企画や運営	9.5	17.7	8.2
名古屋市全体でやるような大きなイベントへの参加	19.5	13.5	▲ 6.0
募金をする、または募金の呼びかけ	45.1	44.9	▲ 0.2
新聞への投書など、意見の発表	4.6	4.4	▲ 0.2
自分に関係することや、地域のこと、名古屋市のことを考えたり、企画したり、意見を言ったりする活動への参加	5.3	4.0	▲ 1.3



## ふだん、一番よくする活動について 【問24】

### ■あなたがふだん一番よくする活動を教えてください。(1つ)

◇ 全体では、「お祭りなど、地域の行事への参加」が26.0%で最も多く、次いで「学級委員など、学級のための活動」が22.0%、「児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動」が12.8%、「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」が10.1%となっている。



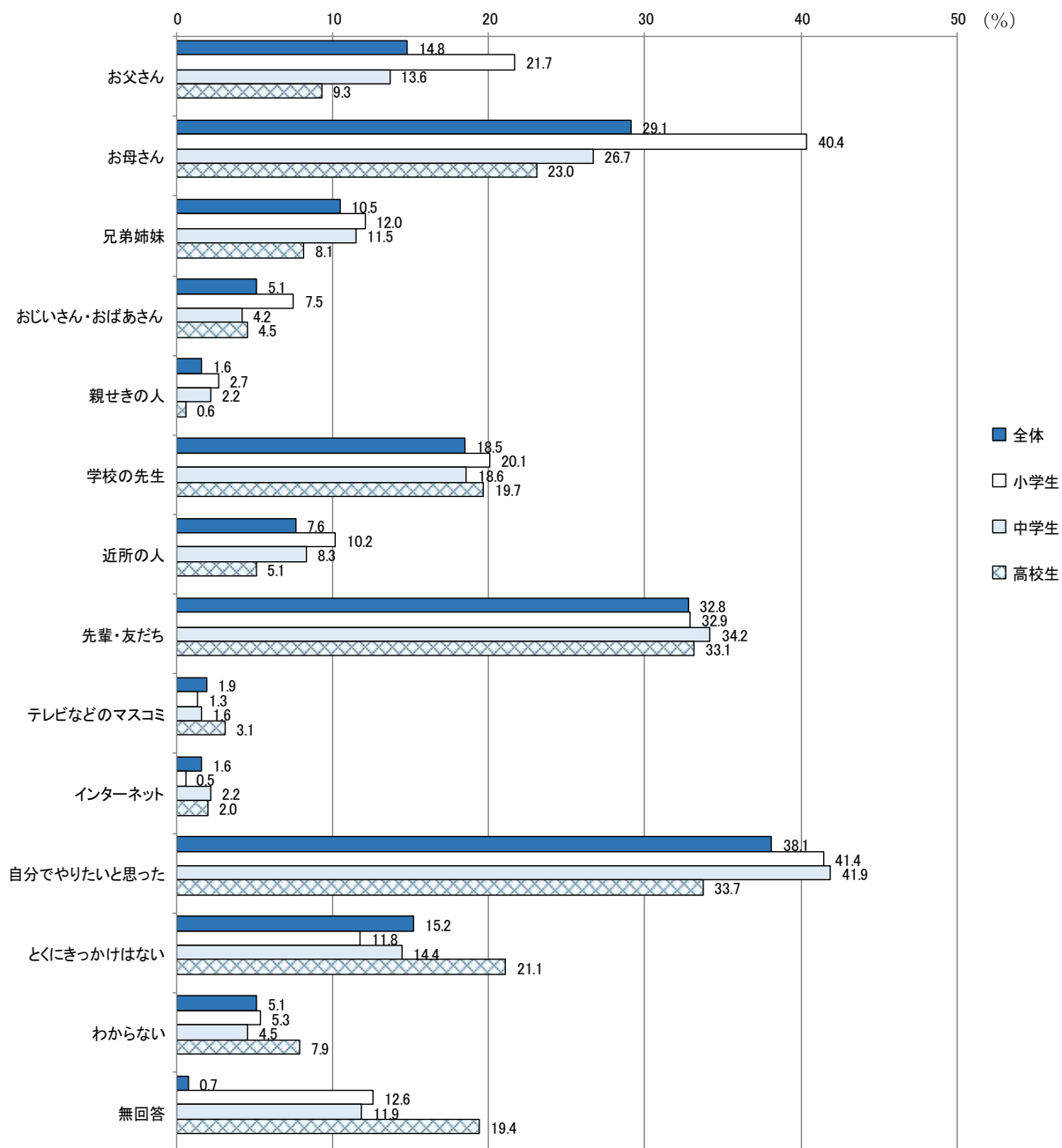
回答者数 全体=1,295 小学生=390 中学生=517 高校生=372

活動することになったきっかけについて 【問25】

■きっかけになったのは、だれかがやっているのを見たり、だれかにすすめられたりしたからですか。(複数回答)

◇全体では、「自分でやりたいと思った」が38.1%で最も多く、次いで「先輩・友だち」が32.8%、「お母さん」が29.1%となっている。

◇「とくにきっかけはない」は、高校生の割合が21.1%と高い。



回答数 全体=2,549 小学生=827 中学生=990 高校生=678

『地域や学校での活動（子ども 問25）と自己肯定感（子ども 問39～41）』

○ 「自己肯定感」が高い子の方が地域や学校での活動について「自分でやりたいと思った」割合が高い。

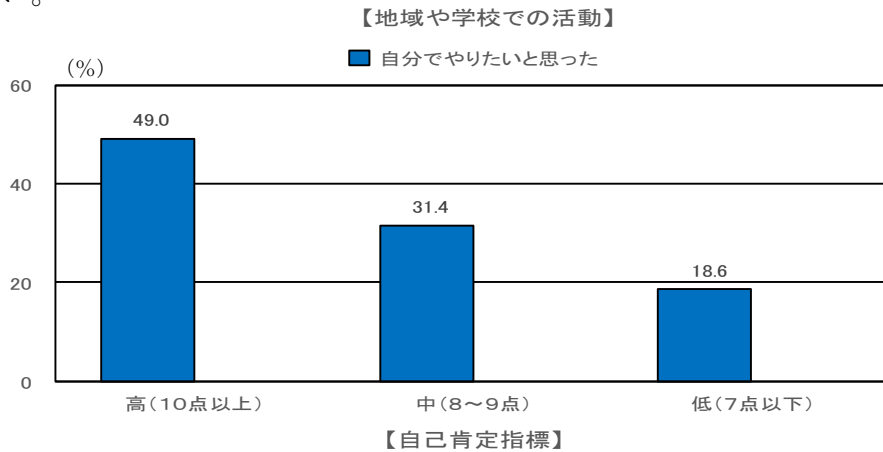


図 自己肯定感と地域や学校での活動

『地域や学校での活動（子ども 問25）と成績の自己評価（子ども 問61）』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が地域や学校での活動について「自分でやりたいと思った」割合が高い。

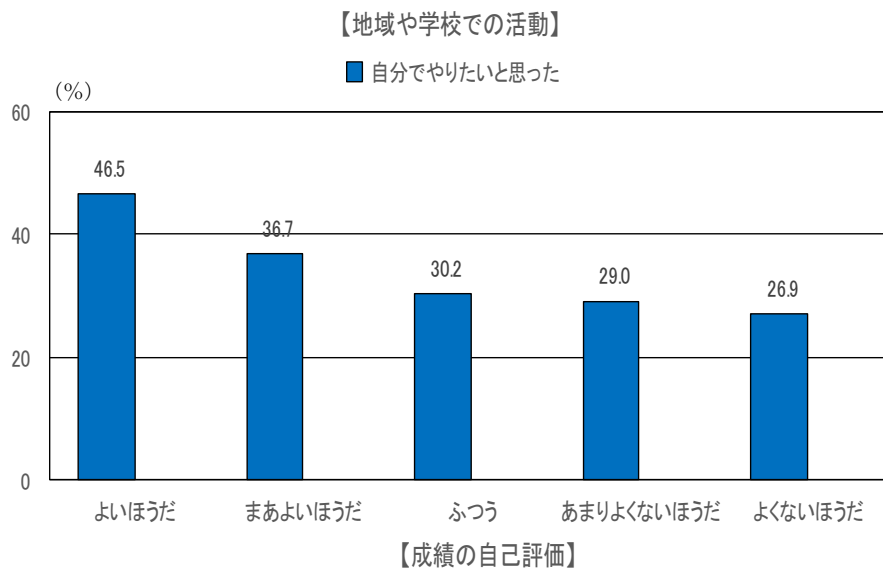
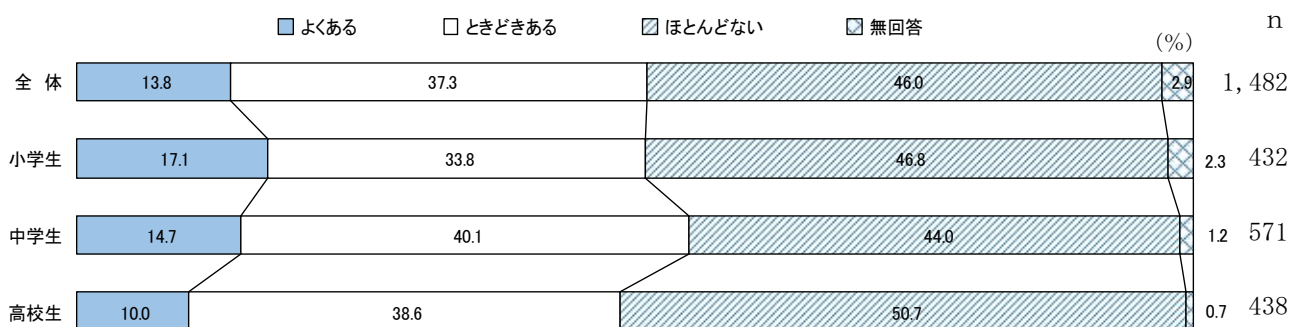


図 成績の自己評価と地域や学校での活動への参加

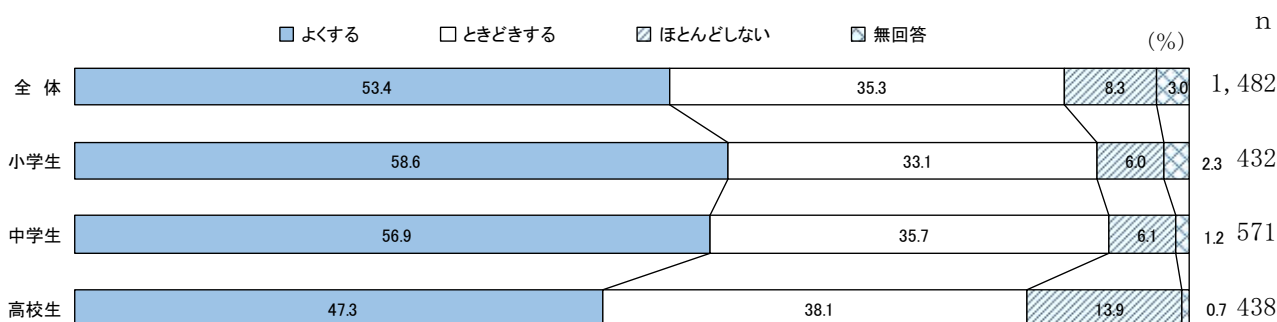
### 近所に住んでいる人たちとの関係について 【問26】

- これまで近所の大人からほめられたり、しかられたりしたことはありますか。(1つ)  
 ◇全体では、「ほとんどない」が46.0%と最も多く、次いで「ときどきある」が37.3%、「よくある」が13.8%となっている。



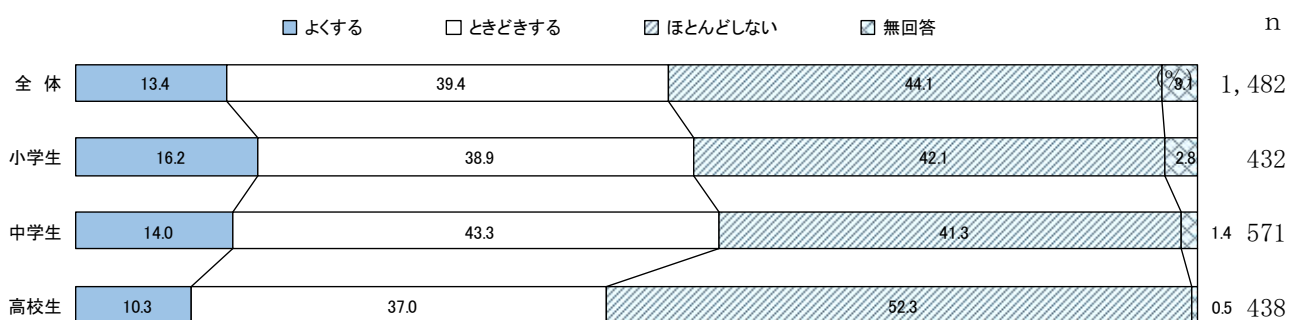
### 近所の大人とのあいさつについて 【問27】

- ふだん、近所の大人とあいさつをしますか。(1つ)  
 ◇全体では、「よくする」が53.4%と最も多く、次いで「ときどきする」が35.3%、「ほとんどしない」が8.3%となっている。



### 近所に住んでいる大人との会話について 【問28】

- ふだん、近所の大人と話をすることがありますか。(1つ)  
 ◇全体では、「ほとんどしない」が44.1%と最も多く、次いで「ときどきする」が39.4%、「よくする」が13.4%となっている。



『地域の大人との関係（子ども 問26～28）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子は地域の大人との関係が強い。

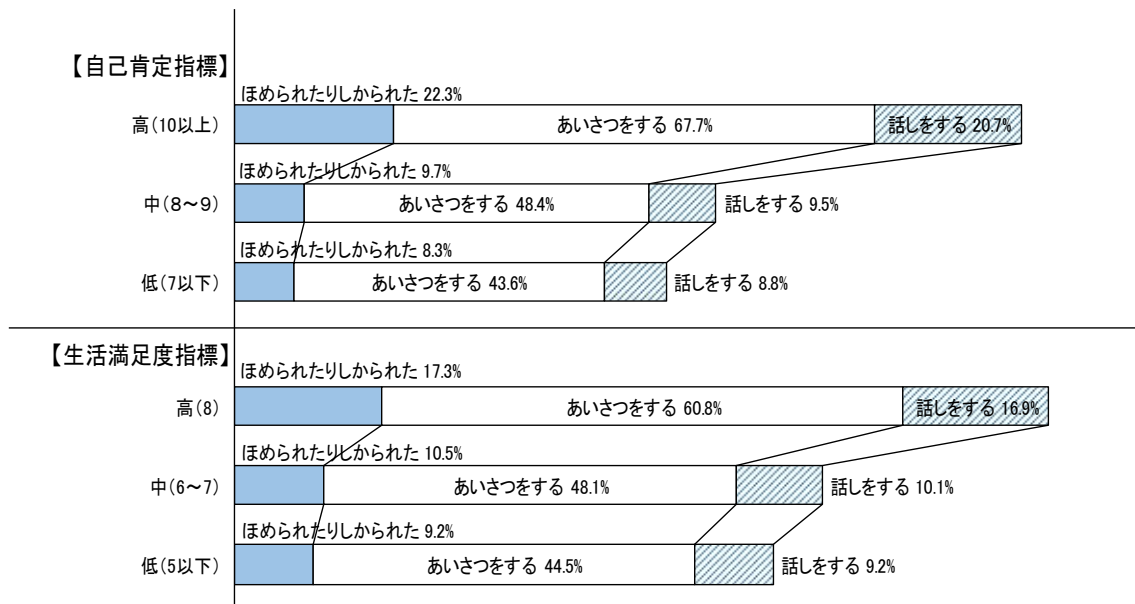


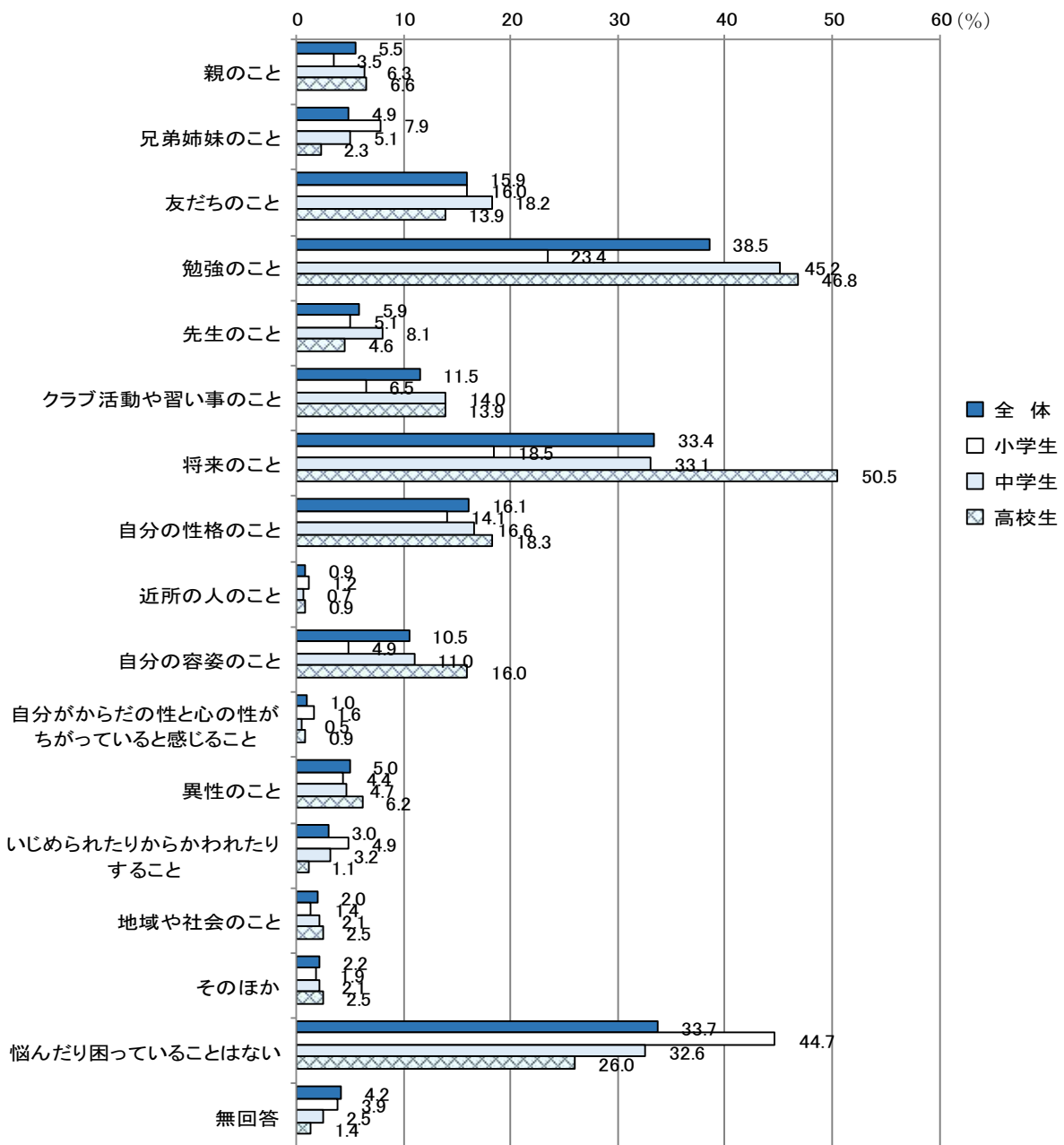
図 自己肯定感・生活満足度と地域の大人との関係

～あなた自身に関する質問～

あなたの悩みなどについて 【問29】

■あなたはいまどんなことに悩んだり困ったりしていますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「勉強のこと」が38.5%と最も多く、次いで「悩んだり困っていることはない」33.7%、「将来のこと」が33.4%となっている。
- ◇ 小学生は「悩んだり困っていることはない」の割合が高く、中学生、高校生になると「勉強のこと」「将来のこと」の割合が高い。
- ◇ 「自分がからだの性と心の性がちがっていると感じること」で悩んでいる人が1.0%である。



回答数 全体=2,880 小学生=707 中学生=1,176 高校生=939

【前回調査との数値比較】

	悩んだり困っていることはない			将来のこと			勉強のこと		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
全体	29.9	33.7	3.8	39.3	33.4	▲ 5.9	43.9	38.5	▲ 5.4
小学生	40.4	44.7	4.3	22.6	18.5	▲ 4.1	27.0	23.4	▲ 3.6
中学生	29.8	32.6	2.8	38.8	33.1	▲ 5.7	51.2	45.2	▲ 6.0
高校生	19.8	26.0	6.2	56.5	50.5	▲ 6.0	51.1	46.8	▲ 4.3

『悩みや困ったこと（子ども 問29）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が悩んでいることや困っていることはないと回答した割合が高い。

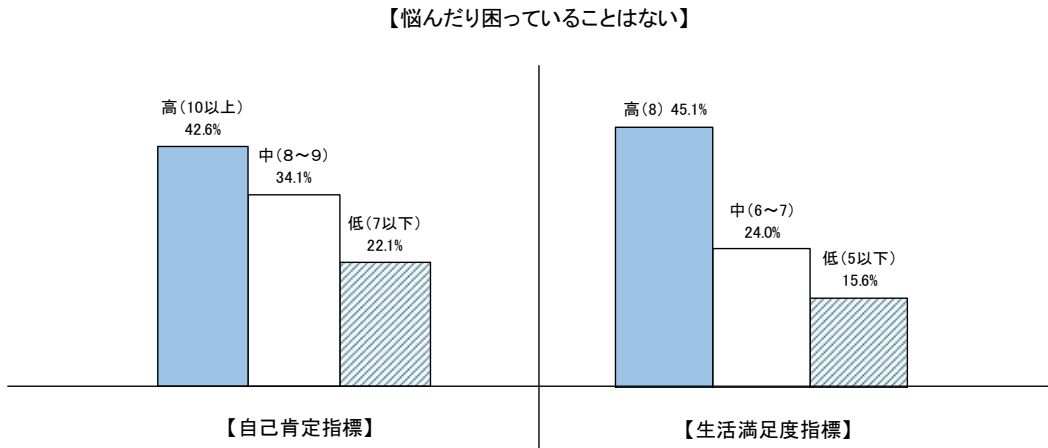
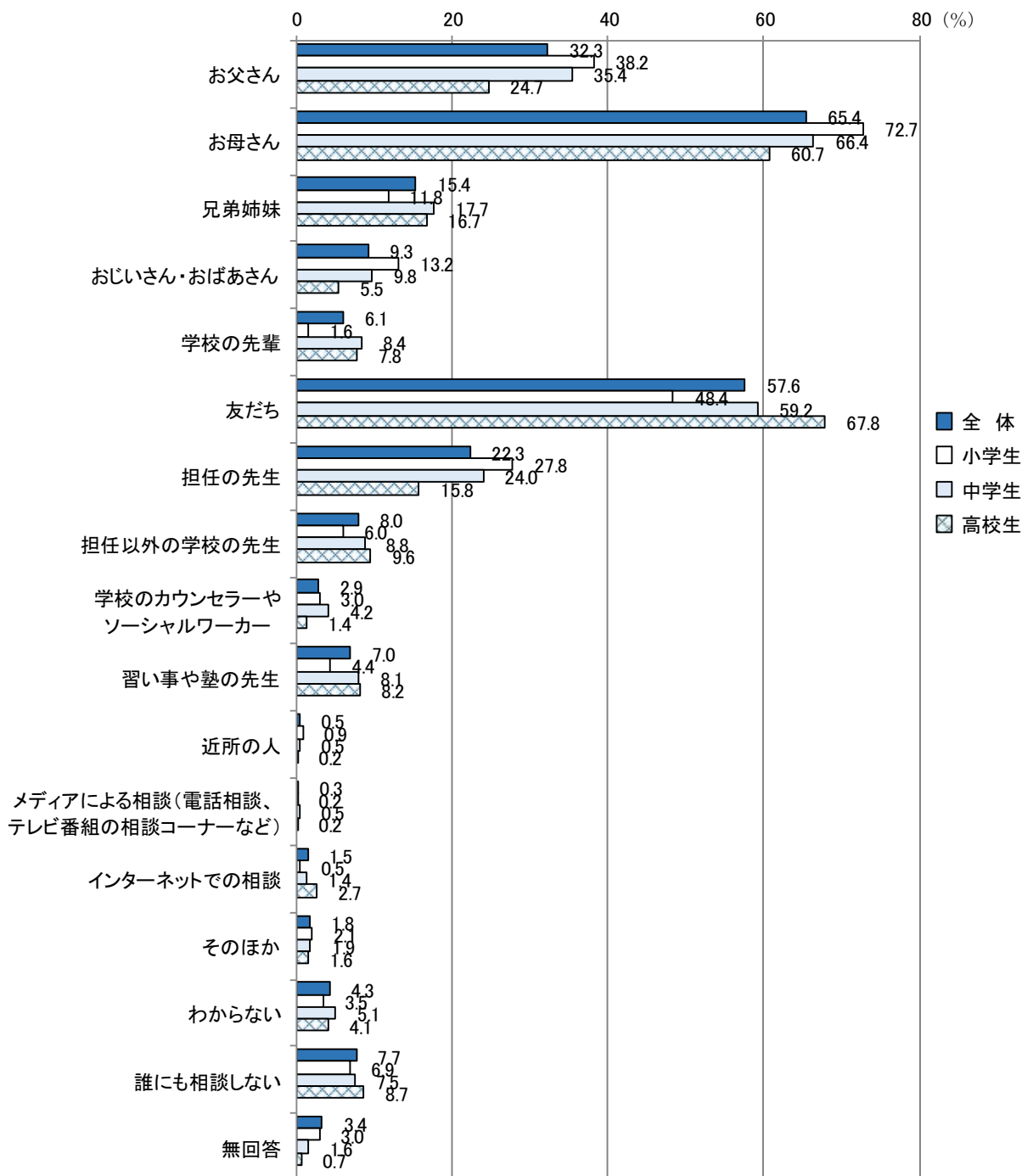


図 自己肯定感・生活満足度と悩んだり困っていることはない割合

悩みの相談相手について 【問30】

■悩みや困ったことがあるときに相談する人はだれですか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「お母さん」が 65.4%で最も多く、次いで「友だち」が 57.6%、「お父さん」が 32.3%、「担任の先生」が 22.3%、「兄弟姉妹」が 15.4%となっている。
- ◇ 「お父さん」「お母さん」に相談する割合は、ともに小学生が最も高く、高校生が最も低い。



回答数 全体=3,642 小学生=1,055 中学生=1,487 高校生=1,035



【前回調査との数値比較】

	誰にも相談しない子		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	11.3	7.7	▲ 3.6
小学生	7.5	6.9	▲ 0.6
中学生	12.9	7.5	▲ 5.4
高校生	12.8	8.7	▲ 4.1

『悩みの相談相手（子ども 問30）と自己肯定感（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42，43）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子ほど親を相談相手に選んでいる。

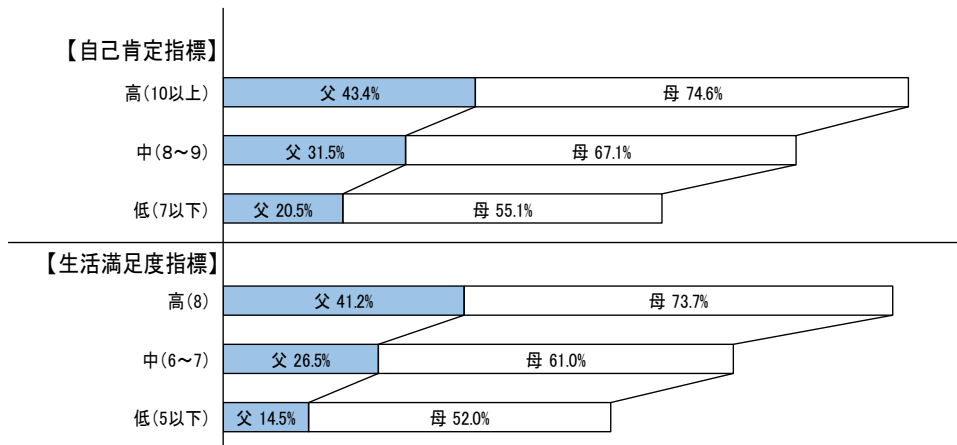
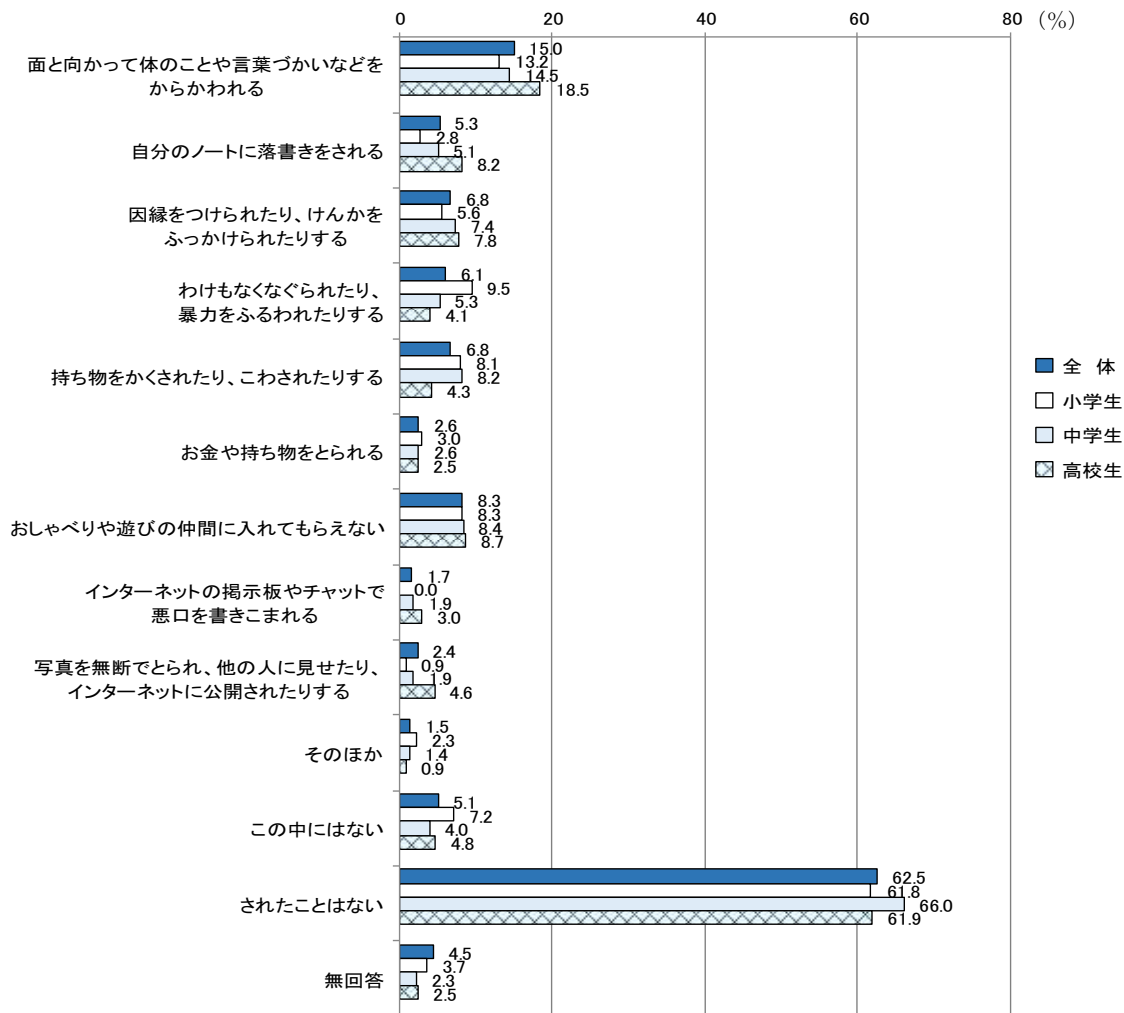


図 自己肯定感・生活満足度と悩みや困りごとの相談相手

他の人からされたことについて 【問31】

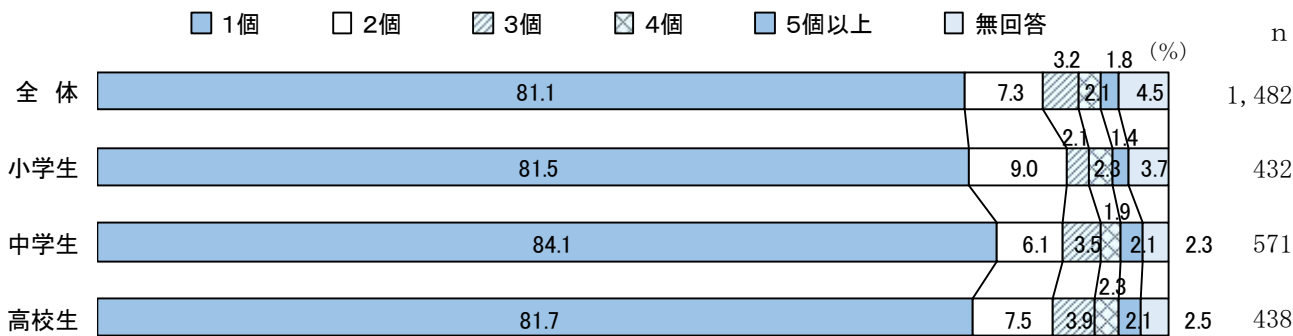
■あなたがだれか他の人から何回かされたことがあるものは何ですか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「されたことはない」が最も多く、62.5%を占める。
- ◇ されたことがある中では、「面と向かって体のことや言葉づかいなどをからかわれる」が15.0%と最も多く、次いで「おしゃべりや遊びの仲間に入れてもらえない」が8.3%となっている。



回答数 全体=1,906 小学生=546 中学生=737 高校生=577

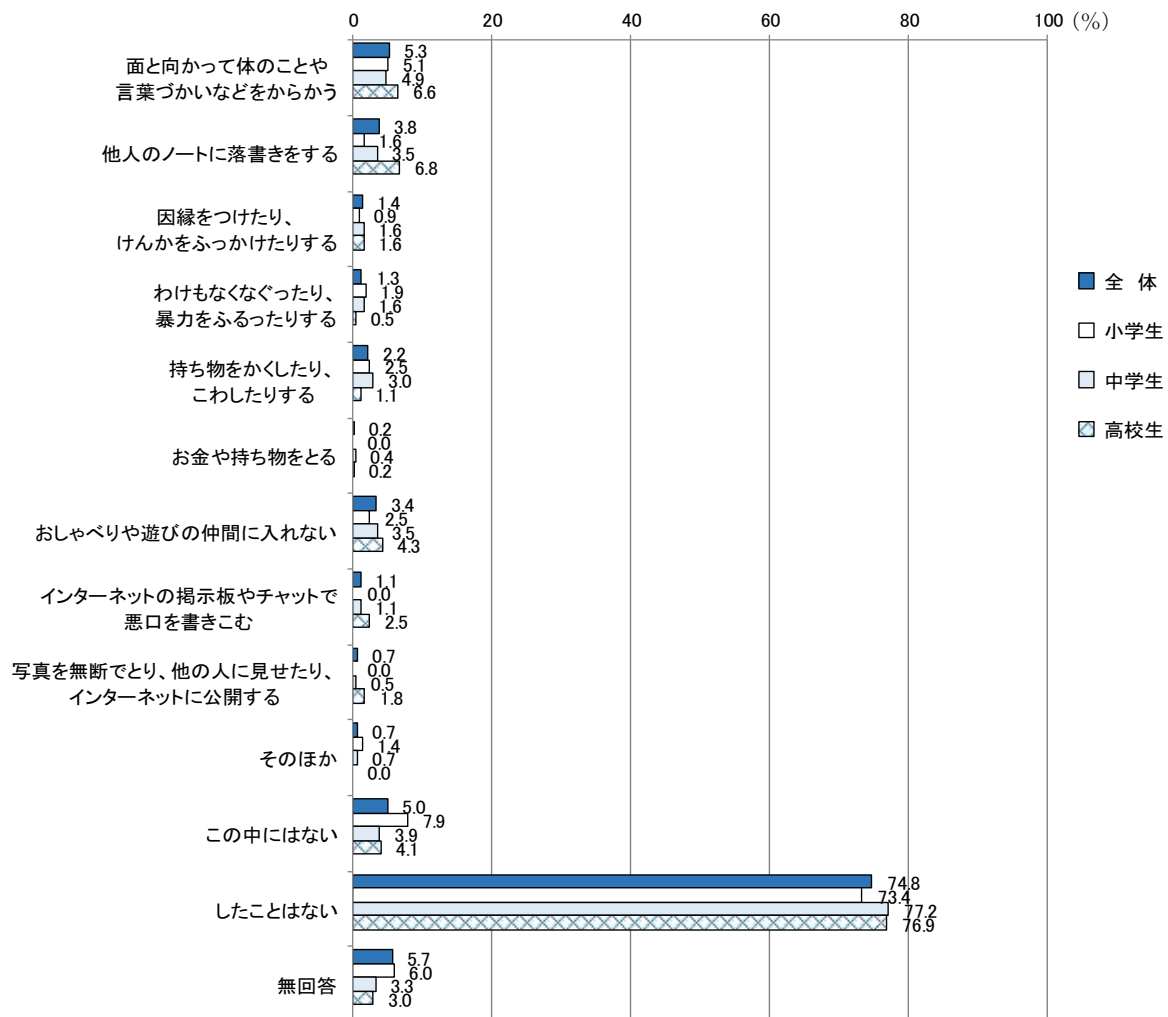
【回答項目数】



## 他の人にしたことについて 【問3 2】

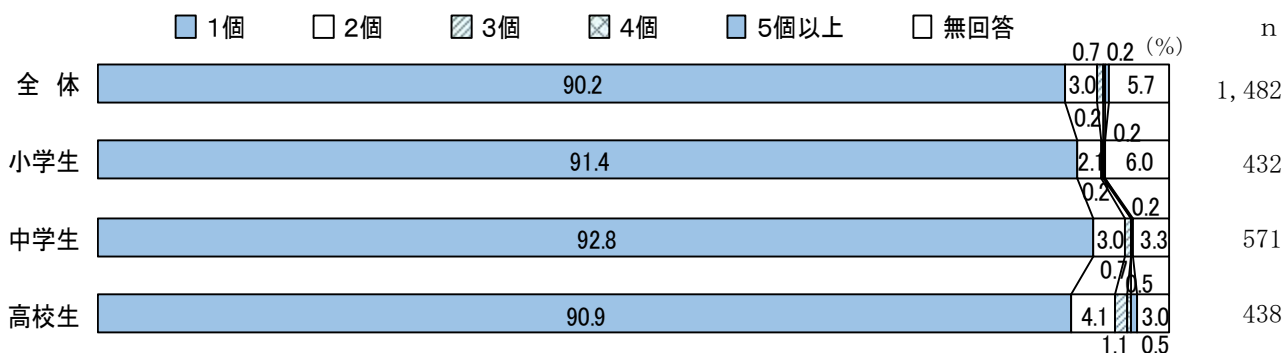
### ■あなたがだれか他の人にしたことがあるものは何ですか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「したことはない」が最も多く、74.8%を占める。
- ◇ したことがある中では、「面と向かって体のことや言葉づかいなどをからかう」が5.3%で最も多く、次いで「他人のノートに落書きをする」が3.8%、「おしゃべりや遊びの仲間に入れない」が3.4%となっている。



回答数 全体=1,568 小学生=446 中学生=600 高校生=480

### 【回答項目数】



『他の人にされたこと、したこと（子ども 問31, 問32）と自己肯定感  
（子ども 問39～41）・生活満足度（子ども 問42, 43）』

○ 「自己肯定感」や「生活満足度」が高い子の方が、他の人からされたことも、したことも少ない。

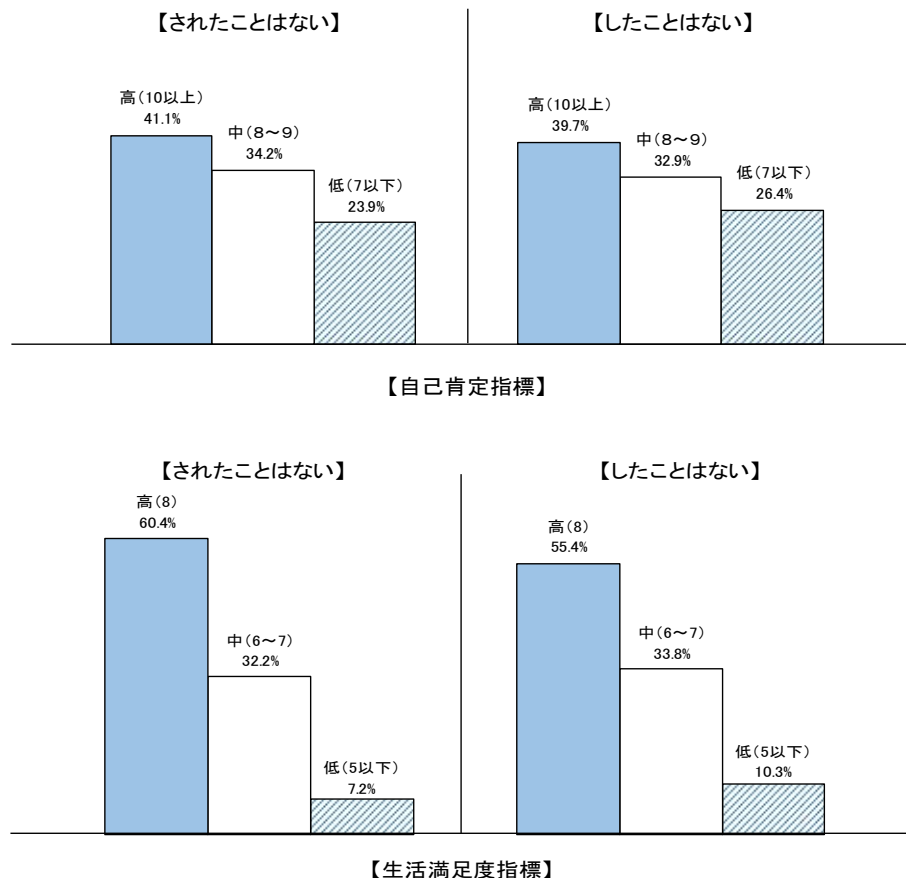
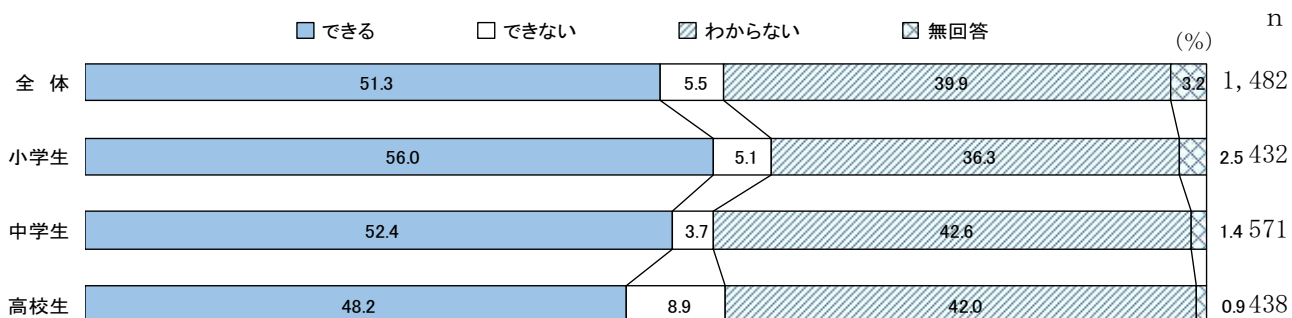


図 自己肯定感・生活満足度と他の人にされたこと・したこと

いじめを見たり聞いたりしたときのことについて 【問33】

■あなたは、いじめだと思うことを見たり聞いたりしたときに先生や親、友だちに相談することができますか。(1つ)

◇ 「できる」と回答した割合が51.3%と約半分を占める。

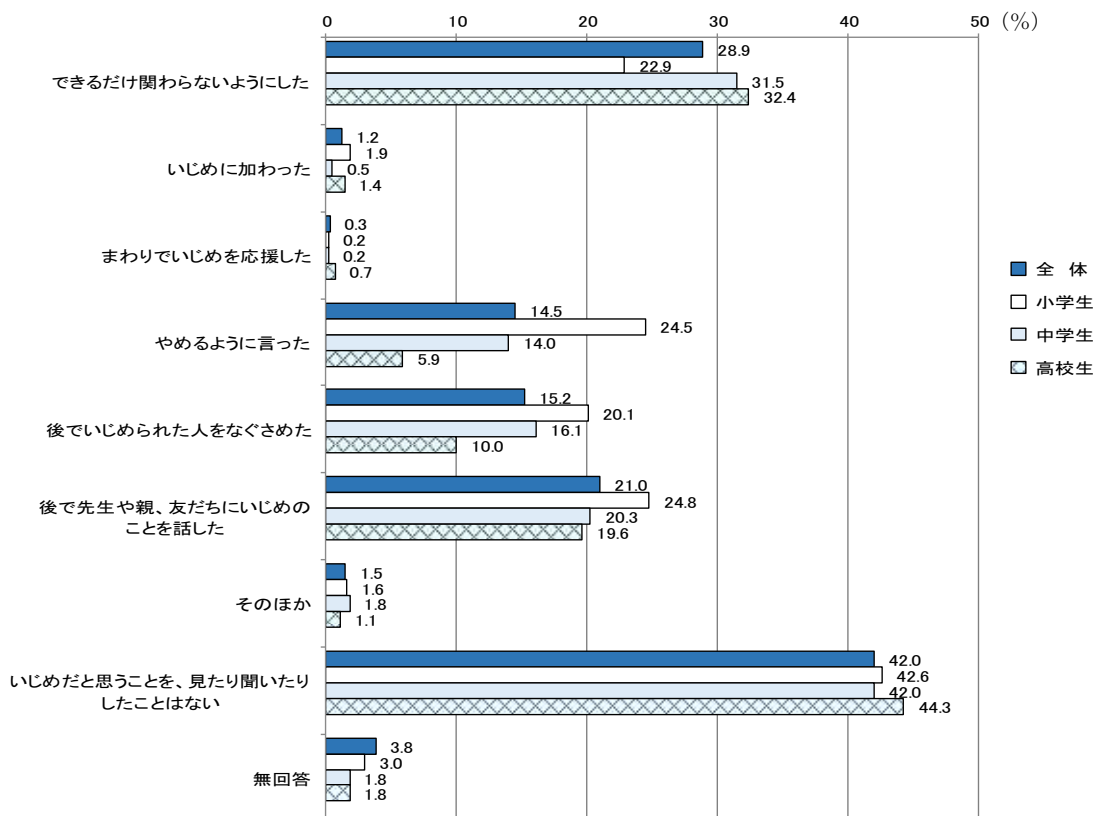


いじめを見たり聞いたりしたときの行動について 【問34】

■これまでに、いじめだと思うことを見たり聞いたりしたときにどうしましたか。

(複数回答)

- ◇ 全体では、「いじめだと思うことを見たり聞いたりしたことはない」が42.0%で最も多く、次いで「できるだけ関わらないようにした」が28.9%、「後で先生や親、友だちにいじめのことを話した」が21.0%となっている。
- ◇ 小学生の場合、「後で先生や親、友だちにいじめのことを話した」「やめるように言った」の割合が高く、高校生になると、「できるだけ関わらないようにした」の割合が高くなる。



回答数 全体=1,905 小学生=612 中学生=732 高校生=514

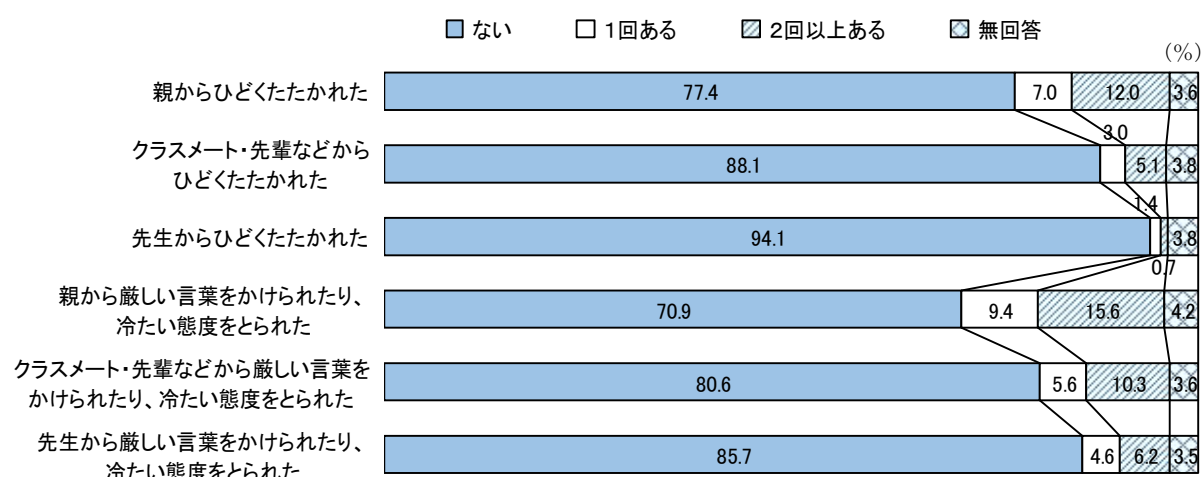
【前回調査との数値比較】

	見たり聞いたりしたことはない			できるだけ関わらないようにした		
	平成25年	平成30年	変化量	平成25年	平成30年	変化量
全体	36.0	42.0	6.0	33.7	28.9	▲ 4.8
小学生	39.6	42.6	3.0	27.1	22.9	▲ 4.2
中学生	34.2	42.0	7.8	35.7	31.5	▲ 4.2
高校生	35.3	44.3	9.0	37.6	32.4	▲ 5.2

たたかれたり、傷つけられたことについて 【問35】

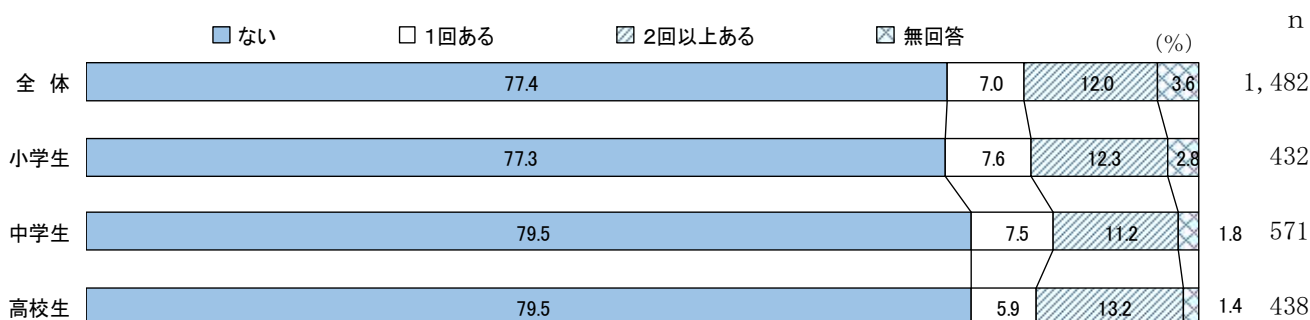
■あなたは、これまでに、だれかからひどくたたかれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりしたことがありますか。(各1つ)

- ◇ 全ての項目で「ない」が70%以上の割合を占めている。
- ◇ 「1回ある」と「2回以上ある」の合計の割合は、「親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」が25.0%と最も多く、次いで「親からひどくたたかれた」が19.0%、「クラスメート・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」が15.9%となっている。
- ◇ 「2回以上ある」が15%以上の項目は、「親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」が15.6%である。

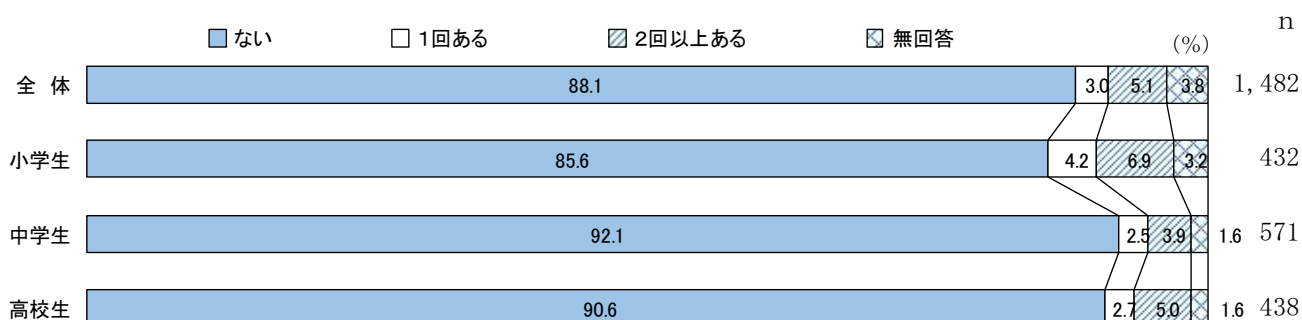


回答数 全体=1,482

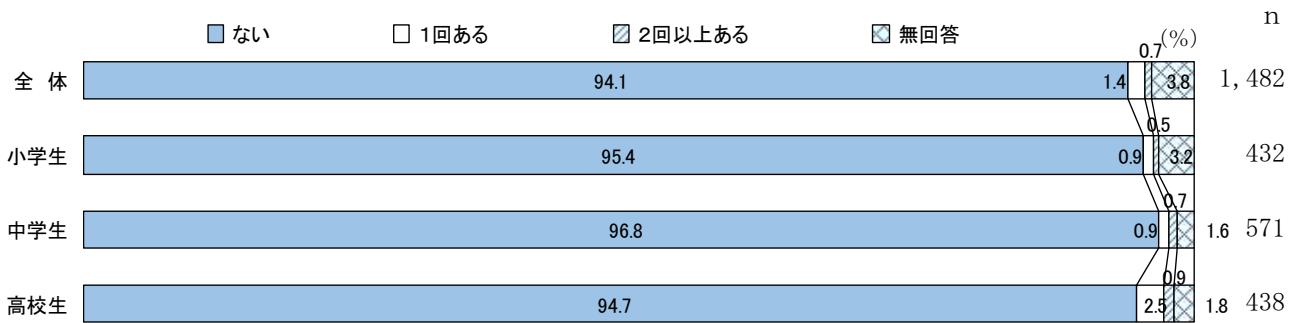
ア. 親からひどくたたかれた



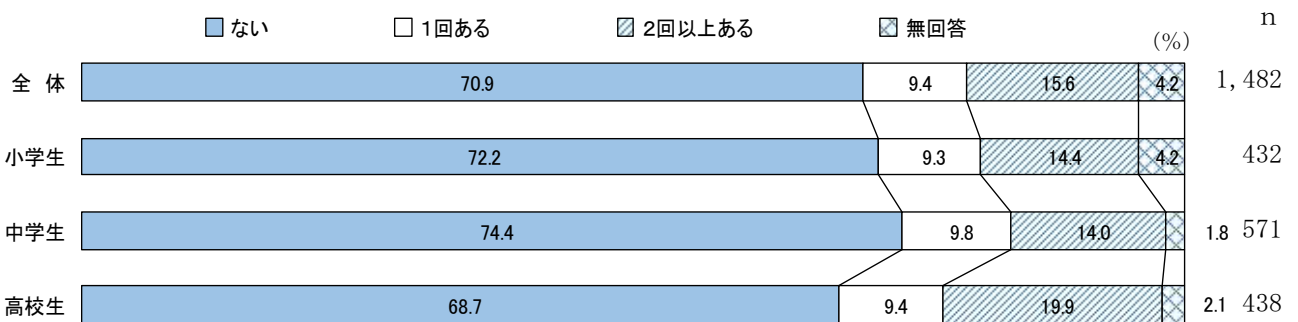
イ. クラスメート・先輩などからひどくたたかれた



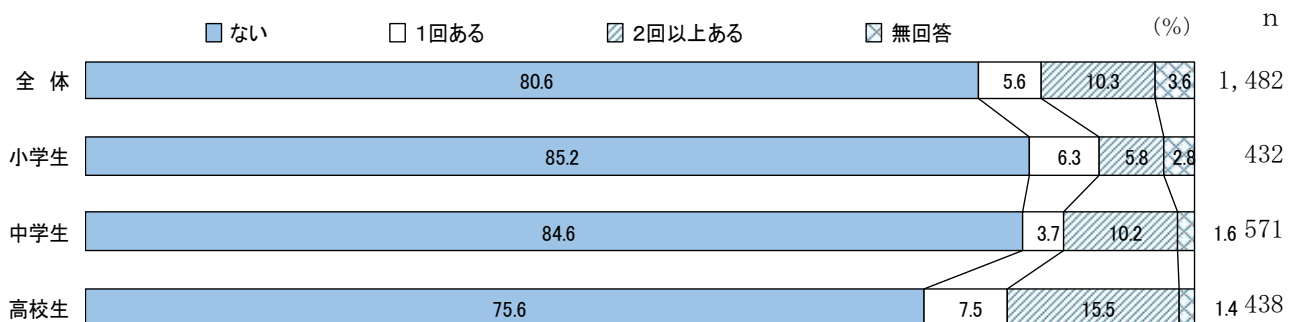
ウ. 先生からひどくたたかれた



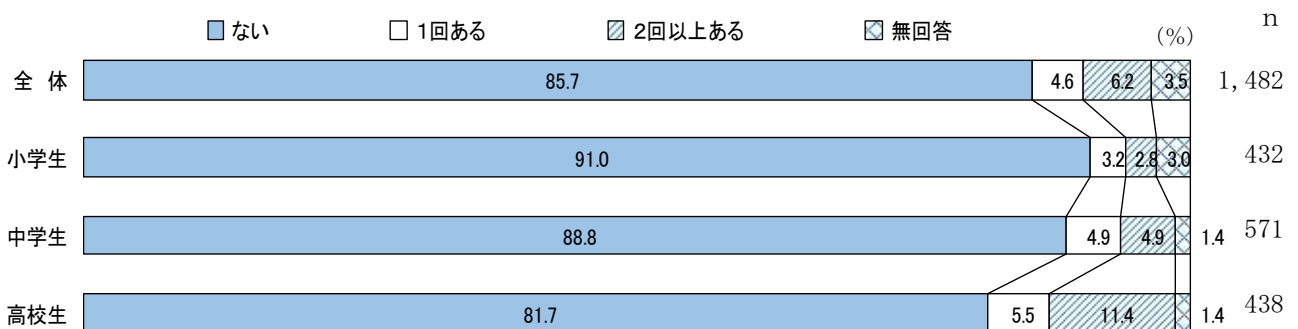
エ. 親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた



オ. クラスメート・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた



カ. 先生から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた



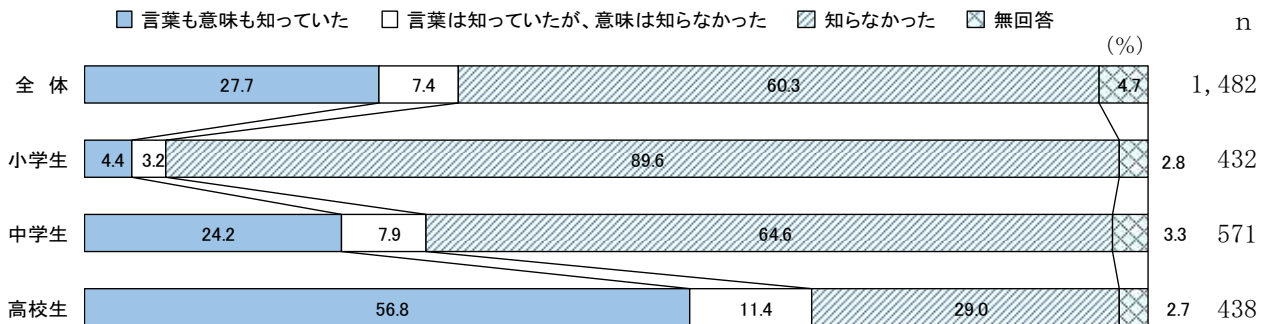
【前回調査との数値比較】

	親からひどくたたかれた			親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	27.8	19.0	▲ 8.8	30.7	25.0	▲ 5.7
小学生	25.2	19.9	▲ 5.3	27.4	23.7	▲ 3.7
中学生	27.7	18.7	▲ 9.0	30.6	23.8	▲ 6.8
高校生	30.8	19.1	▲11.7	34.1	29.3	▲ 4.8

セクシュアル・マイノリティについて 【問36】

■「セクシュアル・マイノリティ」（性的少数者）または「LGBT」という言葉を知っていましたか。（1つ）

- ◇ 全体では、「言葉も意味も知っていた」が27.7%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が7.4%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて「知っている」割合が高くなる。

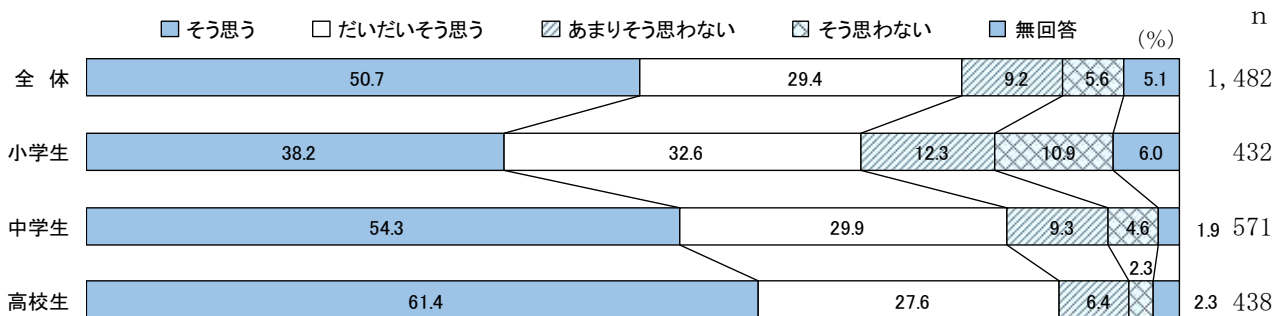


セクシュアル・マイノリティに関する意見について 【問37】

■セクシュアル・マイノリティに関する次の意見について、あなた自身はどう思いますか。

ア. 同性愛や両性愛も性の多様性として認めるべきである。（1つ）

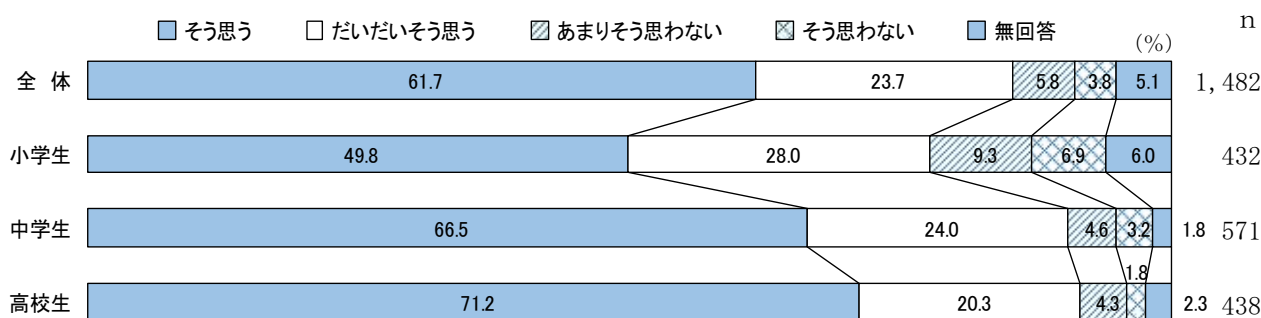
- ◇ 全体では、「そう思う」が50.7%、「だいたいそう思う」が29.4%となっている。





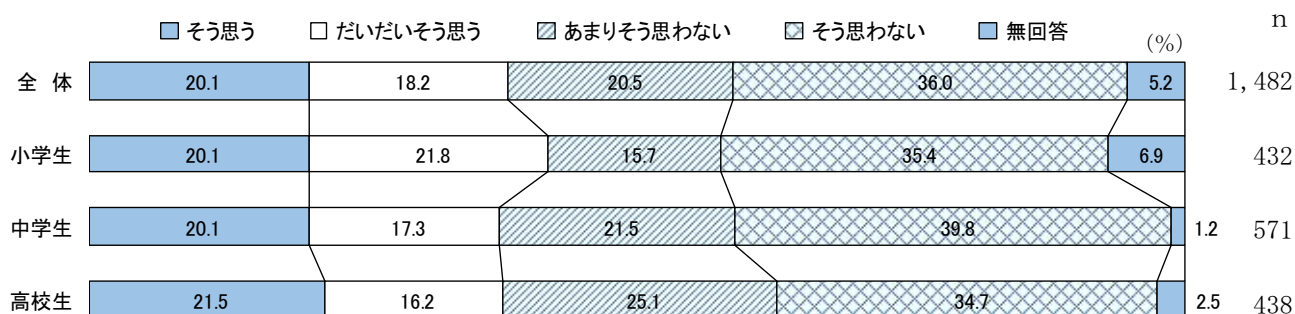
イ. 個人の人権として理解・尊重すべきである。(1つ)

◇ 全体では、「そう思う」が61.7%、「だいたいそう思う」が23.7%となっている。



ウ. 自分自身やまわりに当事者がいるため身近なことだと思う。(1つ)

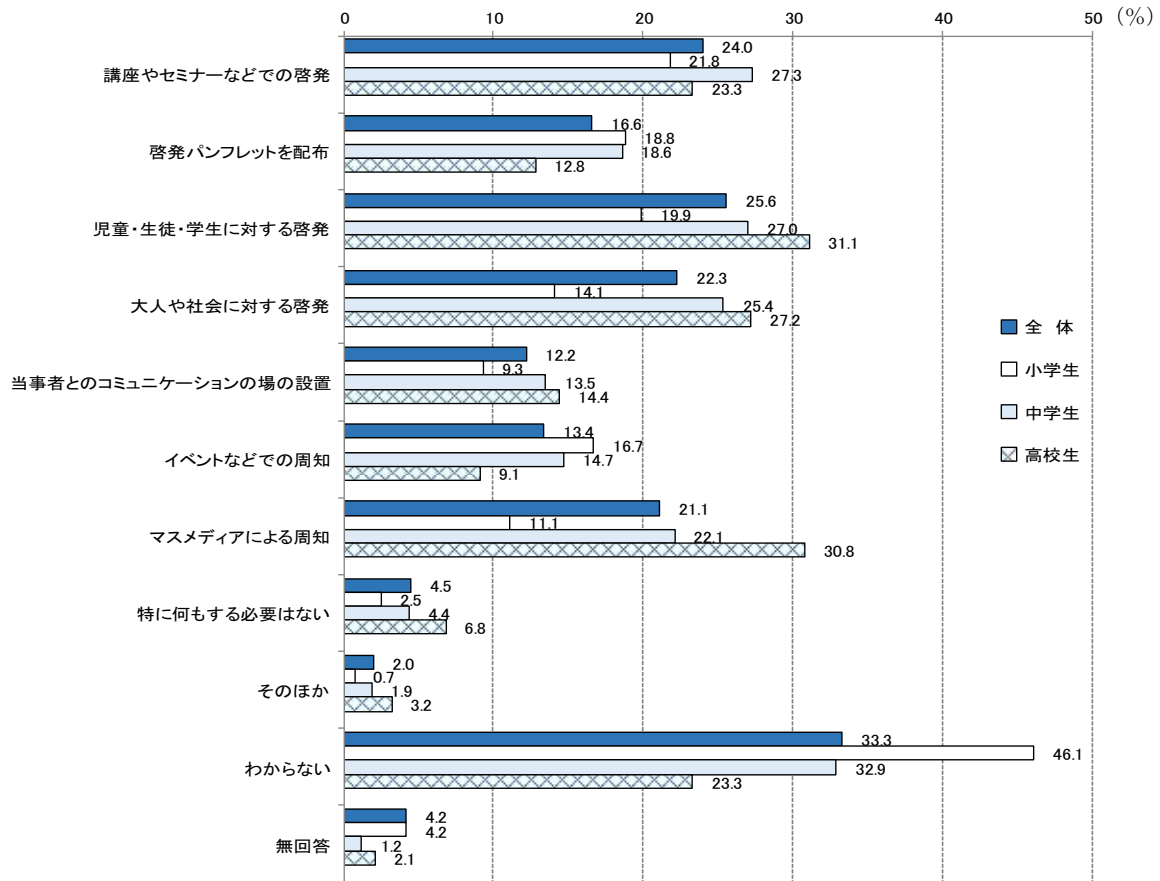
◇ 全体では、「そう思わない」が36.0%、「あまりそう思わない」が20.5%となっている。



セクシュアル・マイノリティへの理解について 【問38】

■セクシュアル・マイノリティに関して、正しく理解をしてもらうためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「わからない」と答えた人が 33.3%と最も多く、次いで「児童・生徒・学生に対する啓発」が 25.6%、「講座やセミナーなどでの啓発」が 24.0%となっている。
- ◇ 「わからない」の割合は学年が高くなるにつれて低くなる。

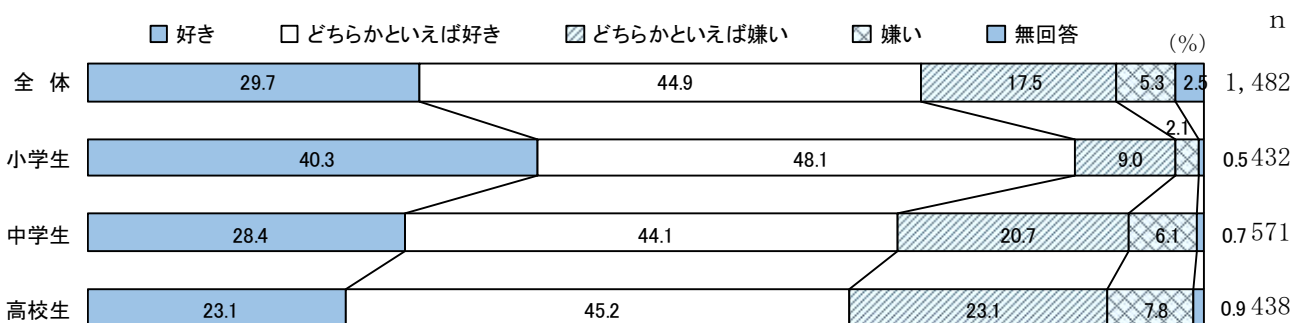


回答数 全体=1,482 小学生=432 中学生=571 高校生=438

自分のことが好きかについて 【問39】

■自分のことが好きですか。(1つ)

- ◇ 全体では、「どちらかといえば好き」が 44.9%、「好き」が 29.7%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の割合が高くなる。



『自分のことが好きか（子ども 問39）と成績の自己評価（子ども 問61）』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が自分のことを好きな子が多い。

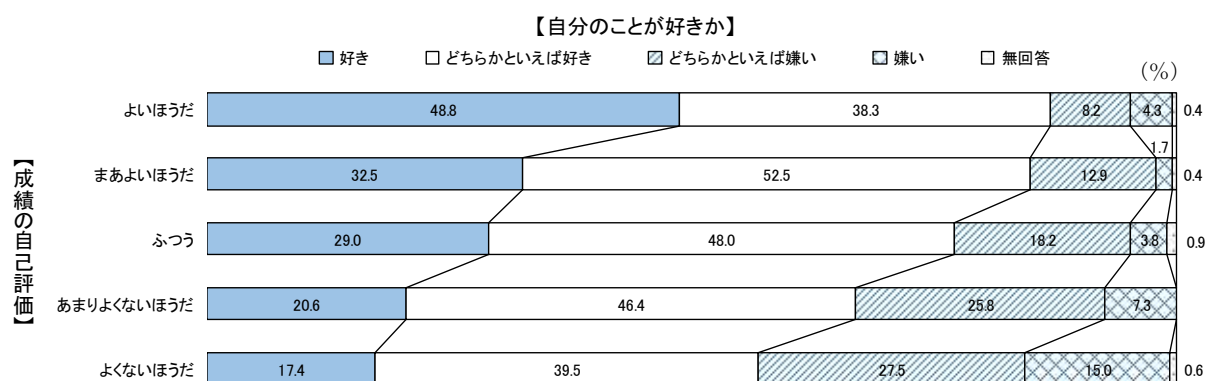
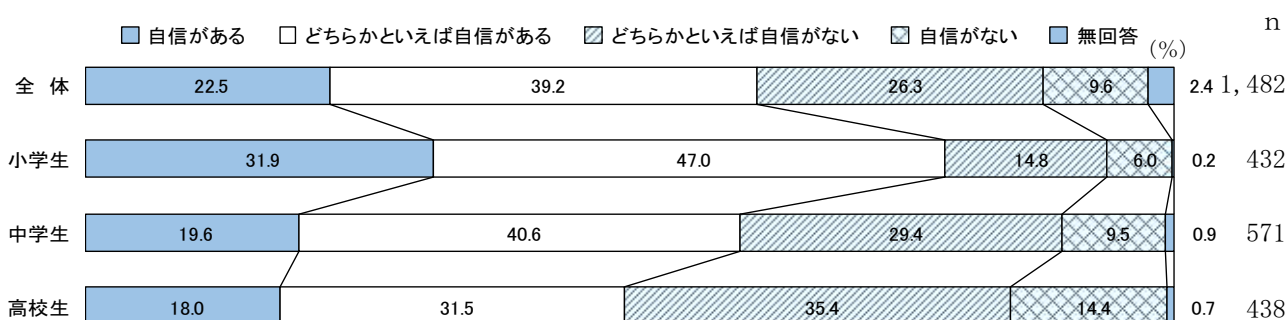


図 成績の自己評価別の自分のことが好きな割合

**自分のことに自信があるかについて 【問40】**

■自分に自信がありますか。(1つ)

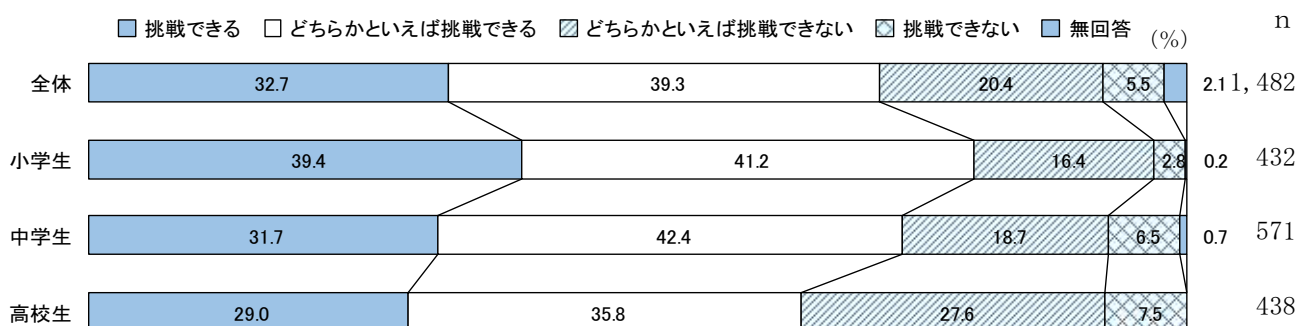
- ◇ 全体では、「どちらかといえば自信がある」が 39.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば自信がない」が 26.3%となっている。
- ◇ 小学生は「自信がある」「どちらかといえば自信がある」の割合が高く、70%以上を占める。また、自信がある割合は年齢が上がるにつれて低下する。



**色々なことに挑戦できるかについて 【問41】**

■色々なことに積極的に挑戦できますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「どちらかといえば挑戦できる」が 39.3%で最も多く、次いで「挑戦できる」が 32.7%となっている。
- ◇ 高校生になるにつれて、色々なことに「挑戦できる」割合は低くなる。



『自己肯定感（子ども 問39～41）と成績の自己評価（子ども 問61）』

○ 「成績の自己評価」が高い子の方が自己肯定感が高い。

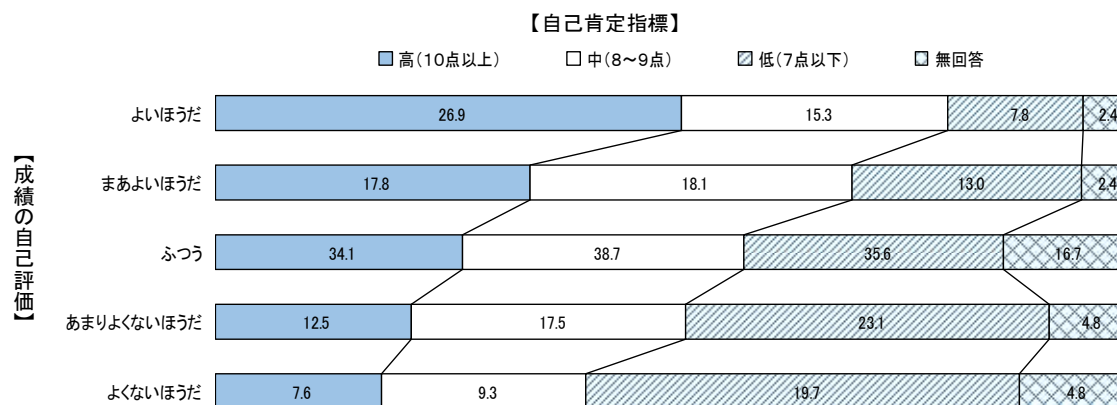
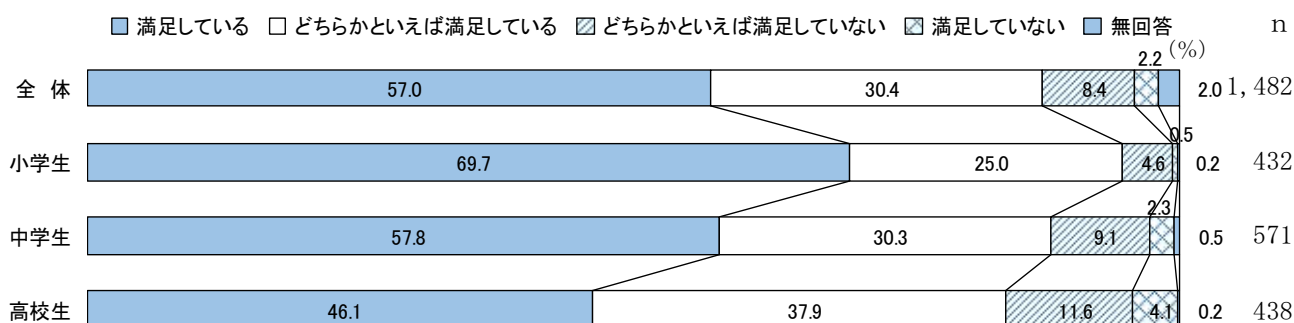


図 自己肯定感と成績の自己評価

今の生活の満足感について 【問42】

■今の生活に満足していますか。(1つ)

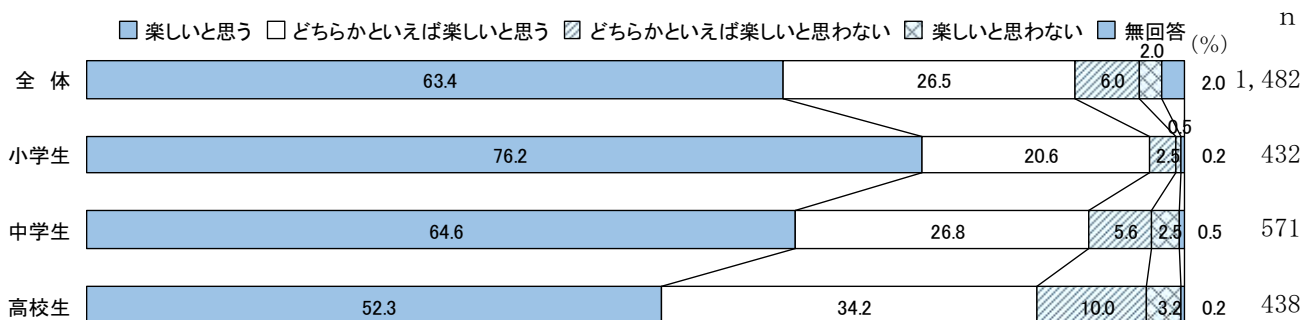
- ◇ 全体では、「満足している」が 57.0%、「どちらかといえば満足している」が 30.4%である。
- ◇ 高校生になるにつれて、「満足している」の割合が低くなる。



今の生活の楽しさについて 【問43】

■今の生活が楽しいと思いますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「楽しいと思う」が 63.4%、「どちらかといえば楽しいと思う」が 26.5%である。
- ◇ 高校生になるにつれて、「楽しいと思う」の割合が低くなる。



『生活が楽しいか（子ども 問43）と成績の自己評価（子ども 問61）』

◎ 「成績の自己評価」が高い子の方が今の生活が楽しいと感じる。

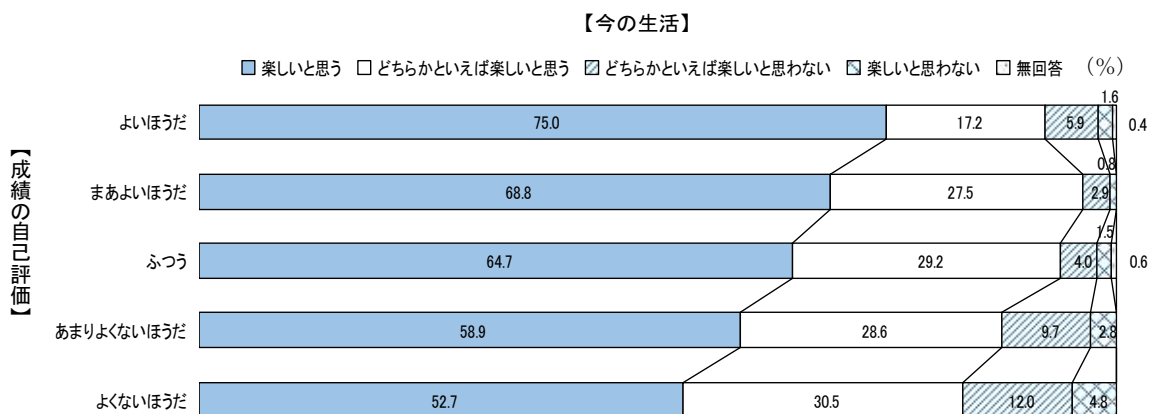


図 成績の自己評価別の今の生活が楽しい割合

『生活満足度（子ども 問42, 43）と自己肯定感（子ども 問39～41）』

○ 「自己肯定感」が高い子の方が「生活満足度」が高い。

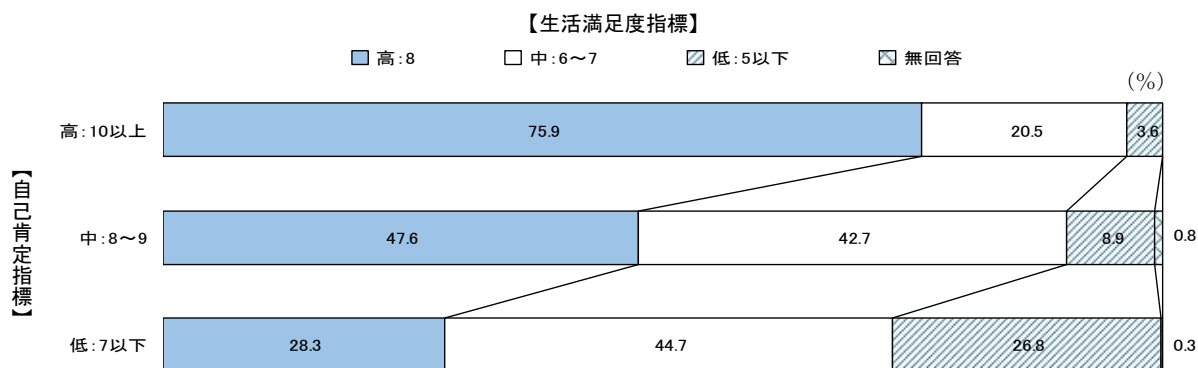


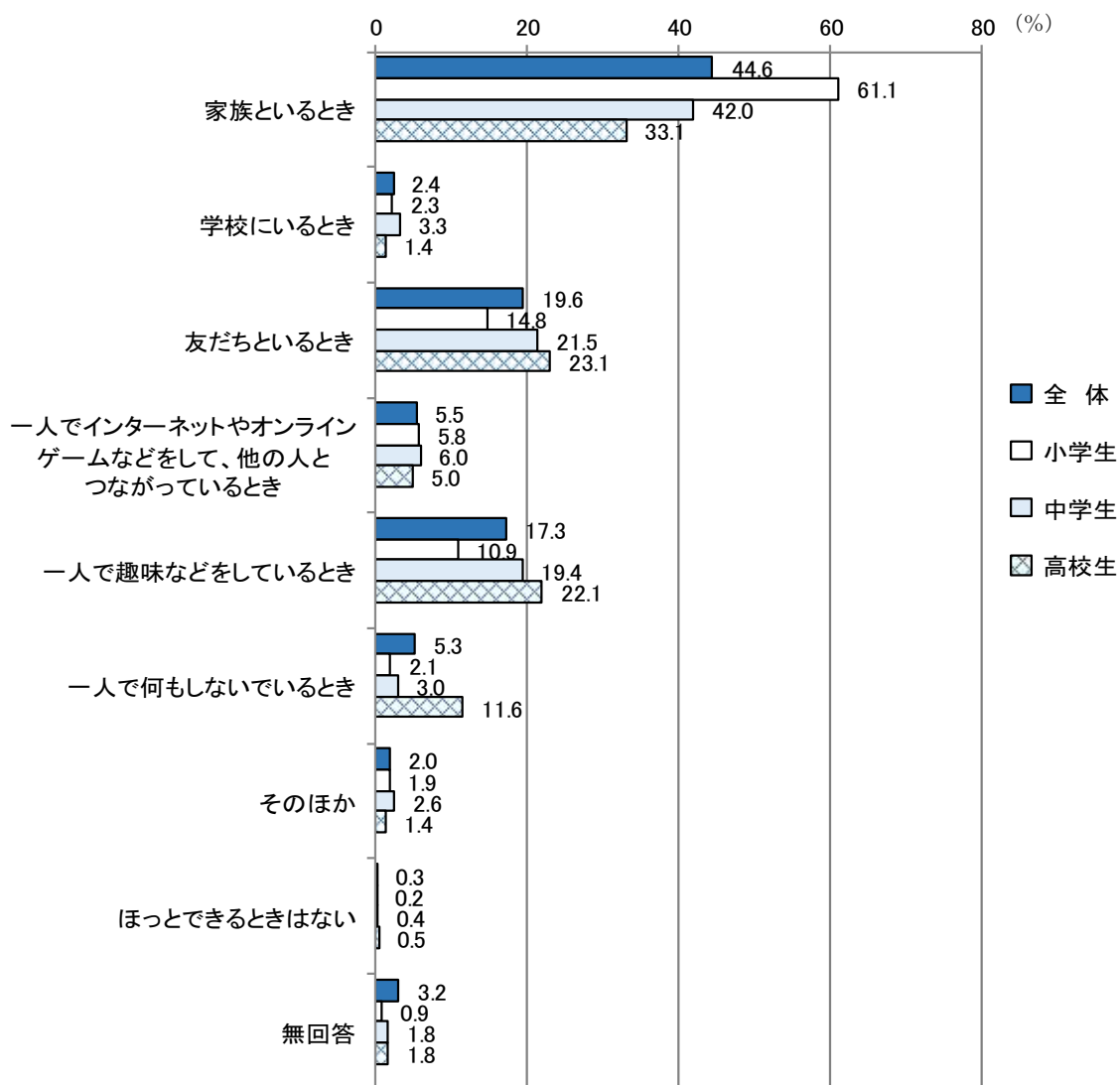
図 生活満足度と自己肯定感

ほっとできる場所について 【問44】

■ふだんの生活の中で、ほっとできるのはどんなときですか。(順位をつけて3つ)

【1番目】

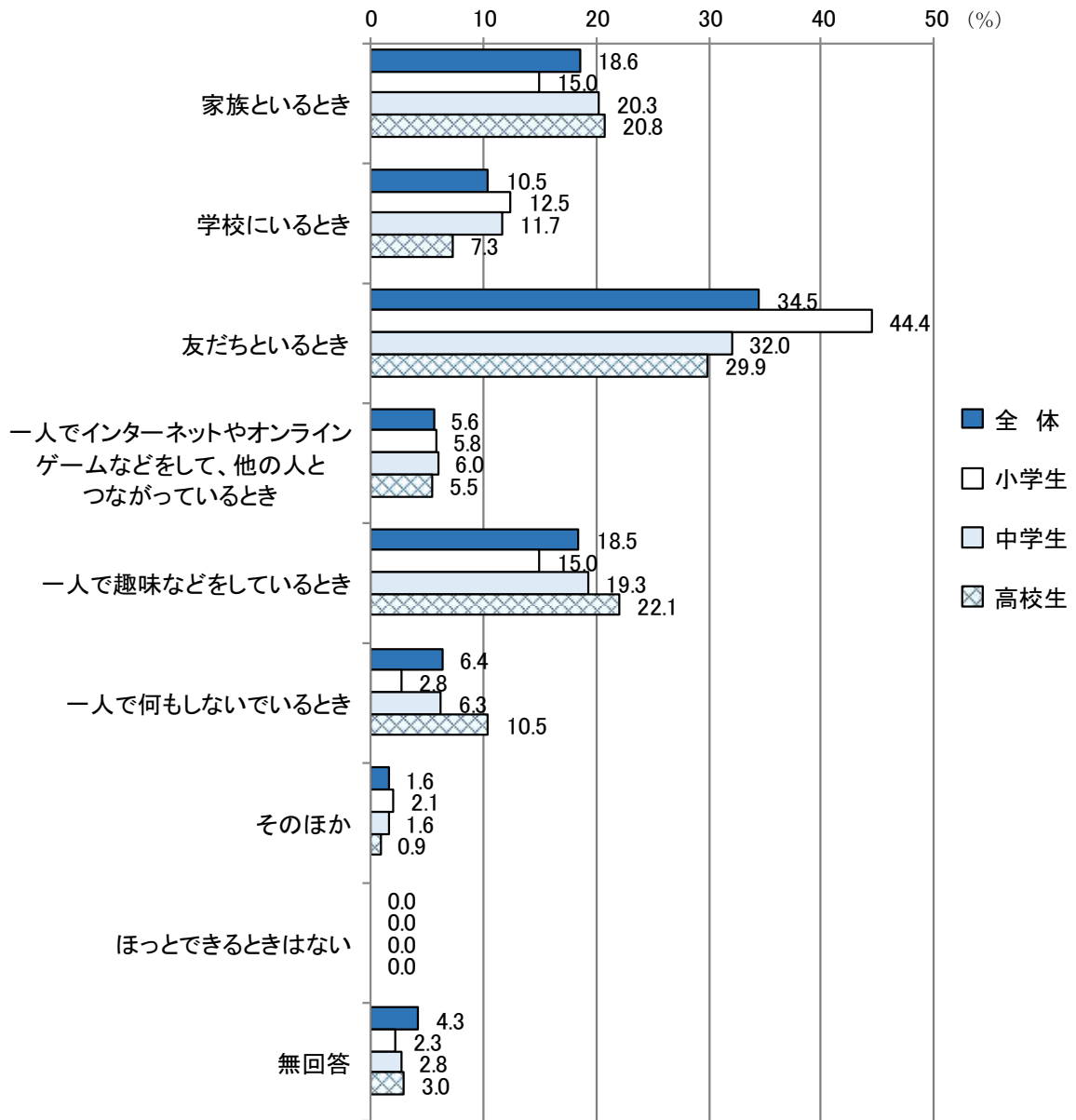
◇ 全体では、「家族といるとき」が44.6%で最も多く、次いで「友だちといるとき」が19.6%、「一人で趣味などをしているとき」が17.3%となっている。



回答者数 全体=1,482 小学生=432 中学生=571 高校生=438

【2番目】

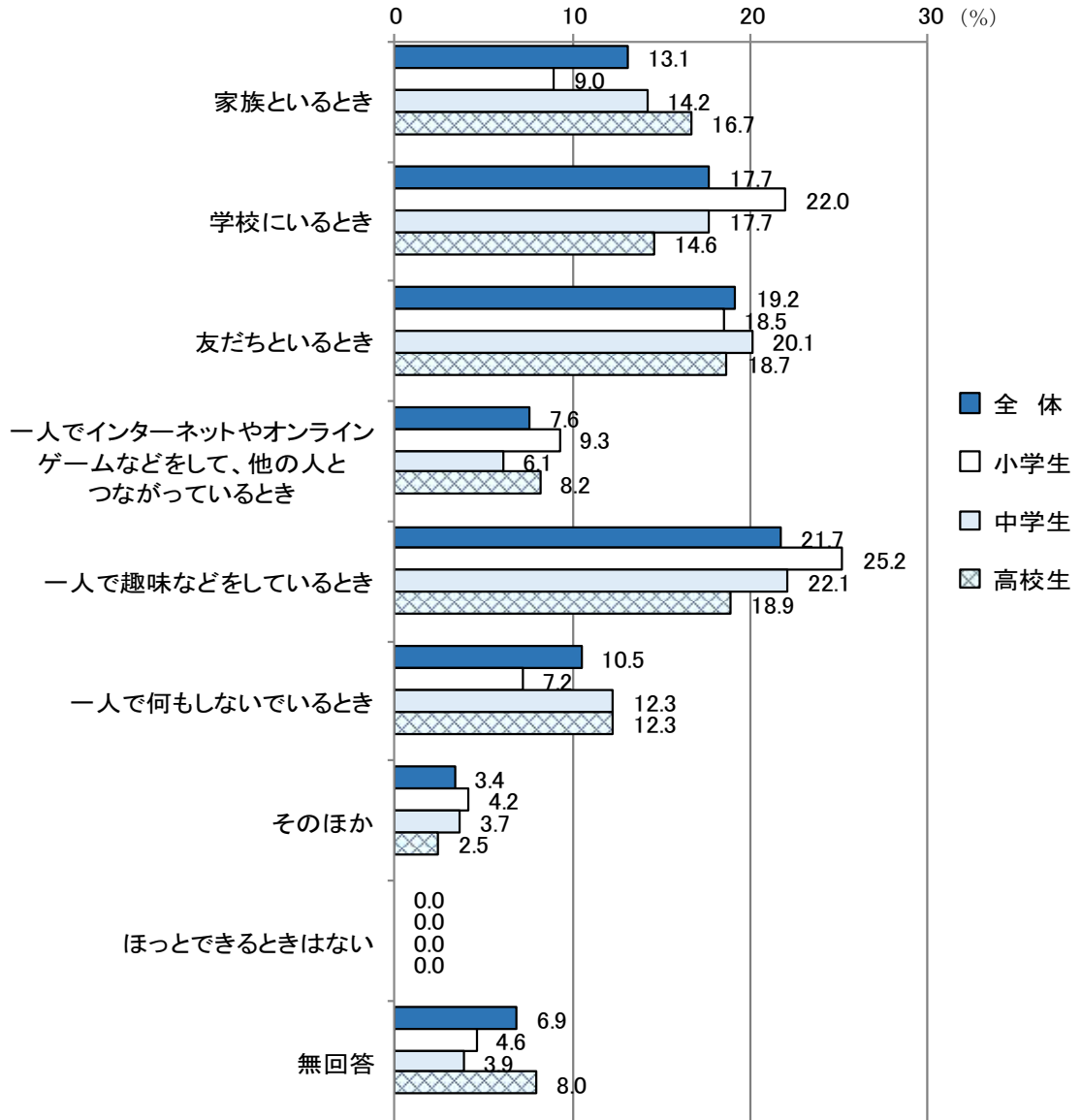
◇ 全体では、「友だちといるとき」が34.5%で最も多く、次いで「家族といるとき」が18.6%、「一人で趣味などをしているとき」が18.5%となっている。



回答者数 全体=1,482 小学生=432 中学生=571 高校生=438

【3番目】

- ◇ 全体では、「一人で趣味などをしているとき」が21.7%で最も多く、次いで「友だちといるとき」が19.2%、「学校にいるとき」が17.7%となっている。
- ◇ 1番目、2番目の項目は偏りがみられたが、3番目の項目は比較的分散している。

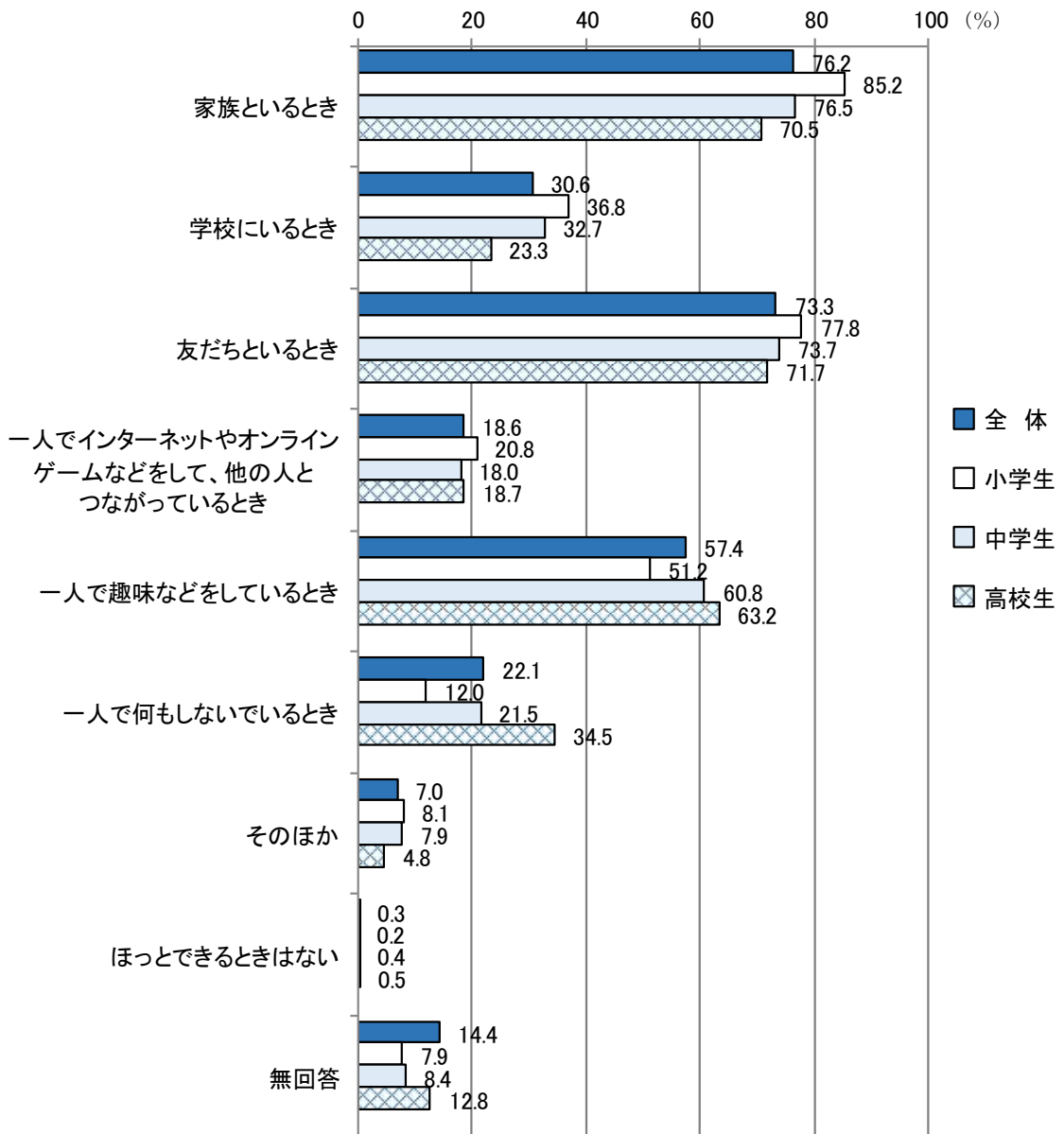


回答者数 全体=1,482 小学生=432 中学生=571 高校生=438



【1番目+2番目+3番目】

◇ 全体では、「家族といるとき」が76.2%で最も多く、次いで「友だちといるとき」が73.3%、「一人で趣味などをしているとき」が57.4%となっている。

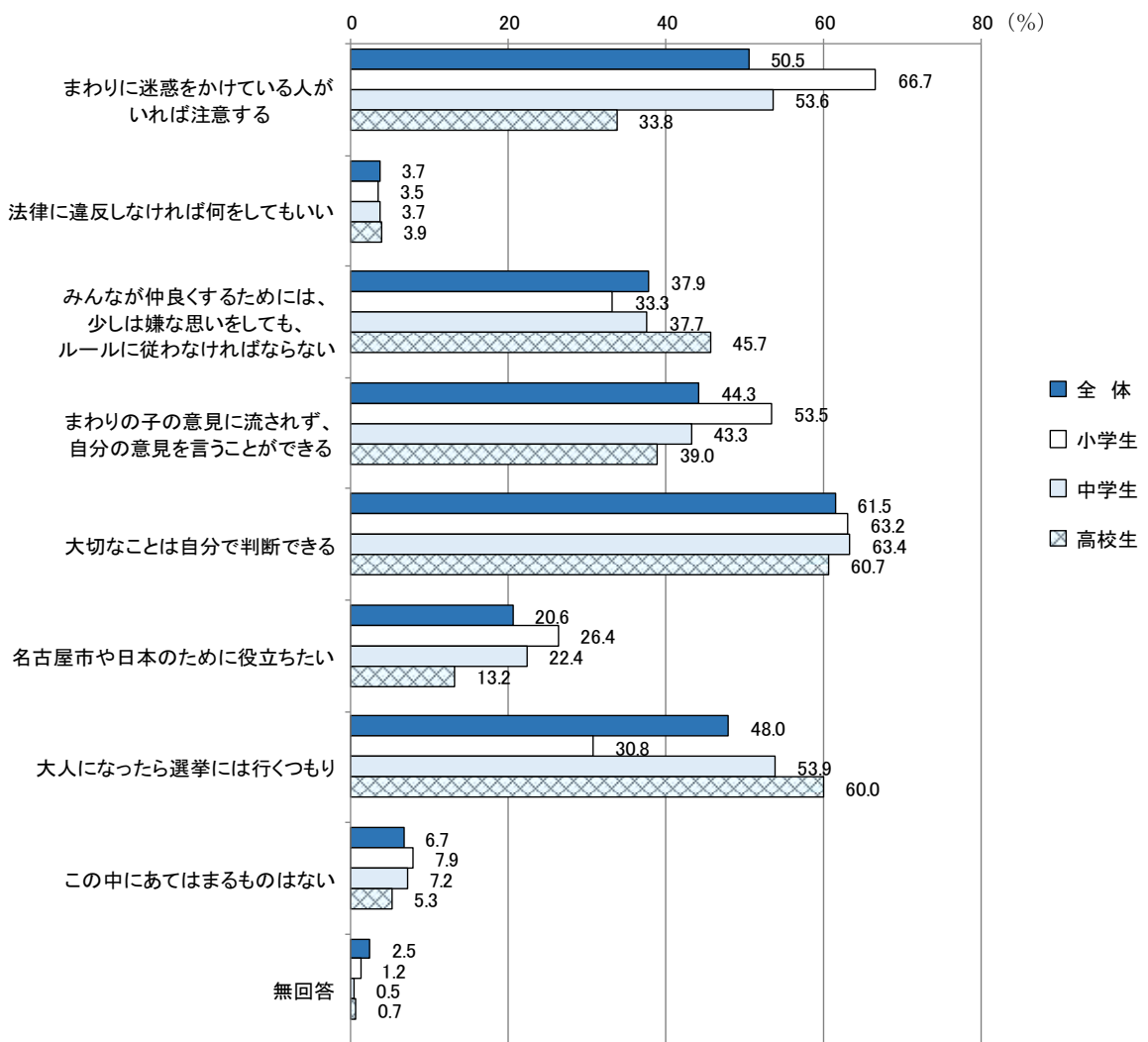


回答数 全体=4,446 小学生=1,296 中学生=1,713 高校生=1,314

ものごとの考え方について 【問45】

■あなたのものごとについての考え方にあてはまるものを選んでください。(複数回答)

- ◇ 全体では、「大切なことは自分で判断できる」が61.5%で最も多く、次いで「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」が50.5%、「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」が50.5%、「大人になったら選挙には行くつもり」が48.0%、「まわりの子の意見に流されず、自分の意見を言うことができる」が44.3%となっている。
- ◇ 小学生は、「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」が66.7%、「まわりの子の意見に流されず、自分の意見を言うことができる」が53.5%と割合が高く、高校生になると、「大人になったら選挙には行くつもり」が60.0%、「みんなが仲良くするためには、少しは嫌な思いをしても、ルールに従わなければならない」が45.7%と割合が高くなる。



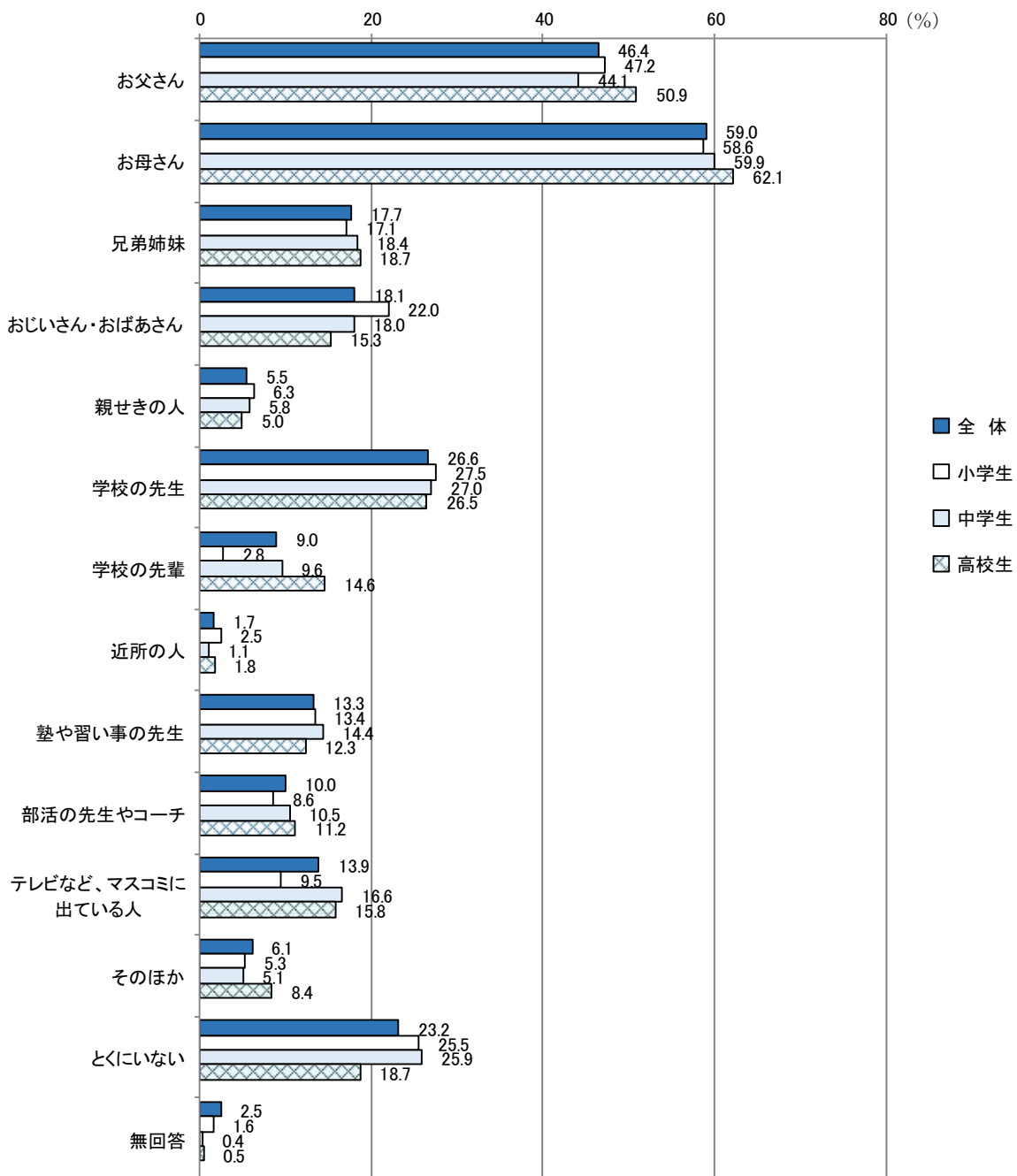
回答数 全体=4,017 小学生=1,237 中学生=1,631 高校生=1,149

考え方に影響を与えている大人について 【問46】

■あなたの考え方に影響を与えている大人はだれですか。(複数回答)

◇ 全体では、「お母さん」が59.0%で最も多く、次いで「お父さん」が46.4%、「学校の先生」が26.6%となっている。

◇ 小学生、中学生、高校生ともその順番には変わらない。

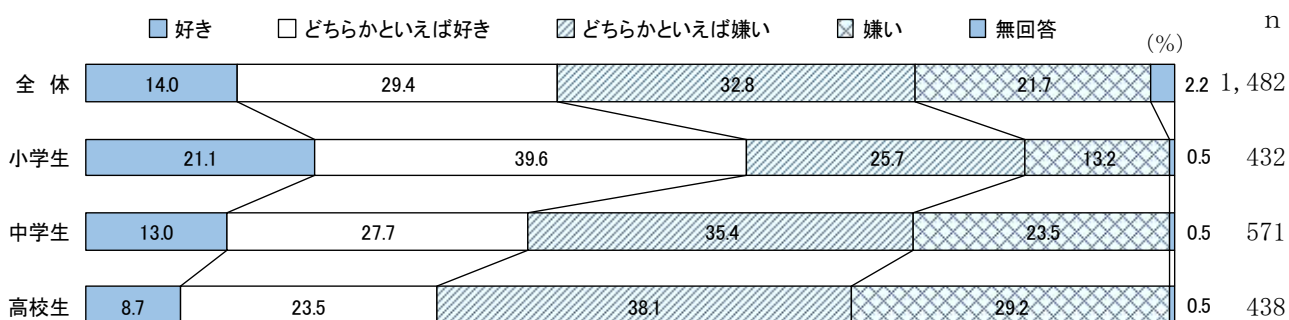


回答数 全体=3,749 小学生=1,071 中学生=1,466 高校生=1,147

### 勉強が好きかについて 【問47】

#### ■勉強は好きですか。(1つ)

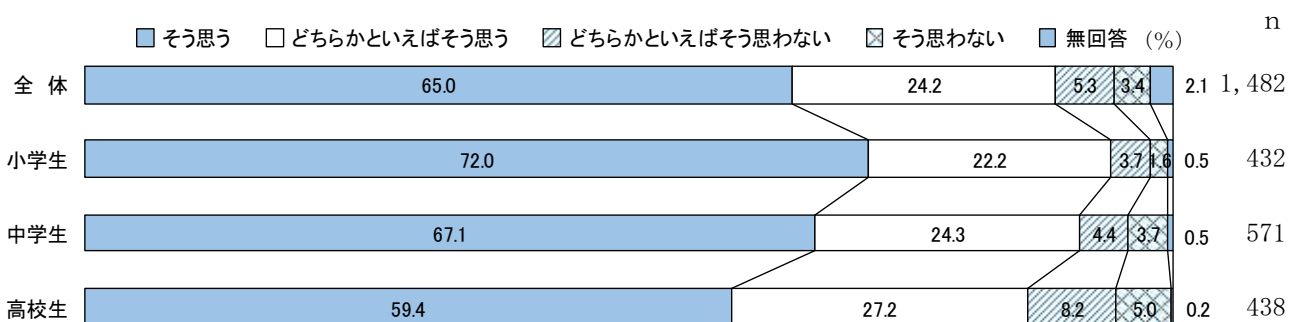
- ◇ 全体では、「どちらかといえば嫌い」が32.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば好き」が29.4%、「嫌い」が21.7%となっている。
- ◇ 小学生の場合、「好き」と「どちらかといえば好き」の合計の割合が60%以上を占めるが、高校生になるにつれて割合が低くなる。



### 勉強が大切かについて 【問48】

#### ■勉強が大切だと思いますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「そう思う」が65.0%、「どちらかといえばそう思う」が24.2%であった。
- ◇ 勉強を大切だと「思う」割合は、高校生になるにつれて低くなる。



### 勉強が理解できるかについて 【問49】

#### ■勉強が理解できますか。(1つ)

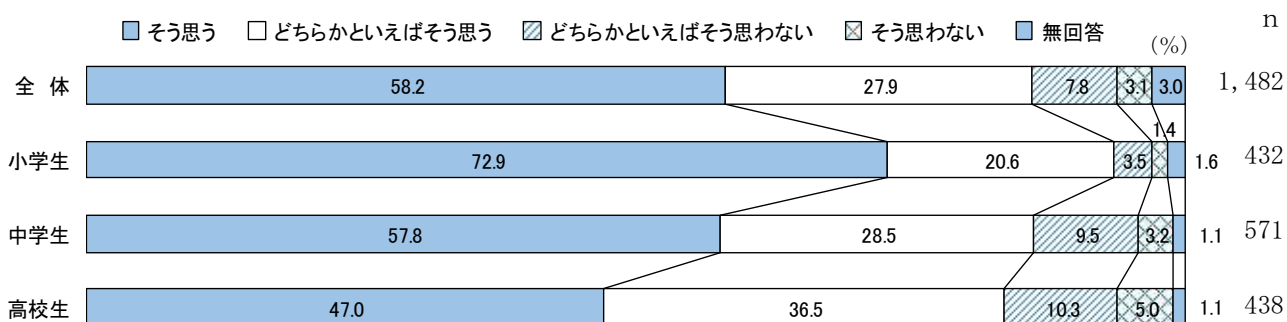
- ◇ 全体では、「だいたい理解できる」が55.8%、「よく理解できる」が26.3%であった。
- ◇ 勉強を「よく理解できる」割合は、高校生になるにつれて低くなる。



勉強が将来役に立つかについて 【問50】

■勉強は将来役に立つと思いますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「そう思う」が58.2%、「どちらかといえばそう思う」が27.9%であった。
- ◇ 勉強は将来役に立つと「思う」割合は、高校生になるにつれて低くなる。



『勉強に対する意識 (子ども 問47～50) と自己肯定感 (子ども 問39～41) ・生活満足度 (子ども 問42, 43)』

○ 勉強に対する意識が高い子の方が「自己肯定感」や「生活満足度」が高い。

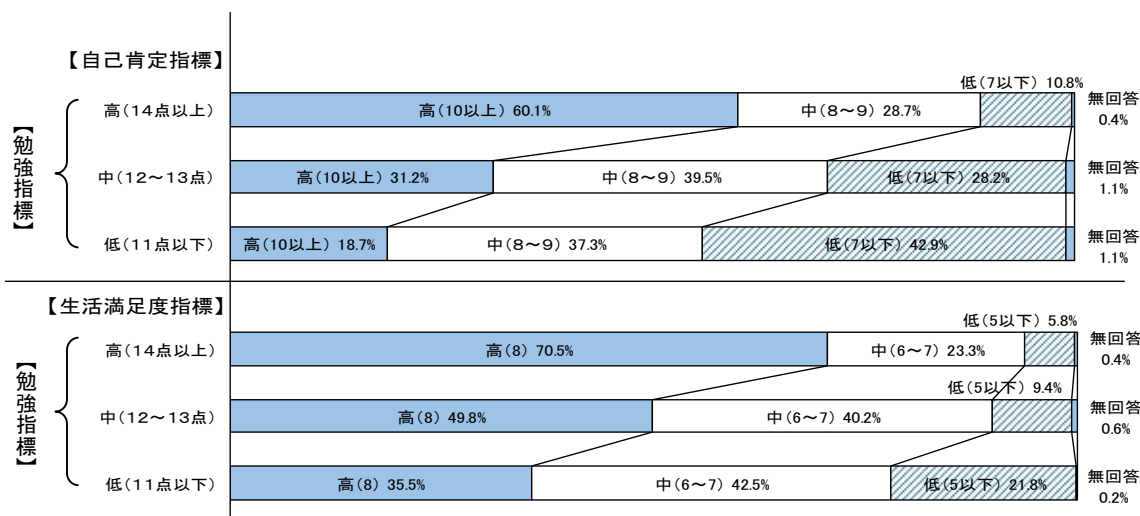
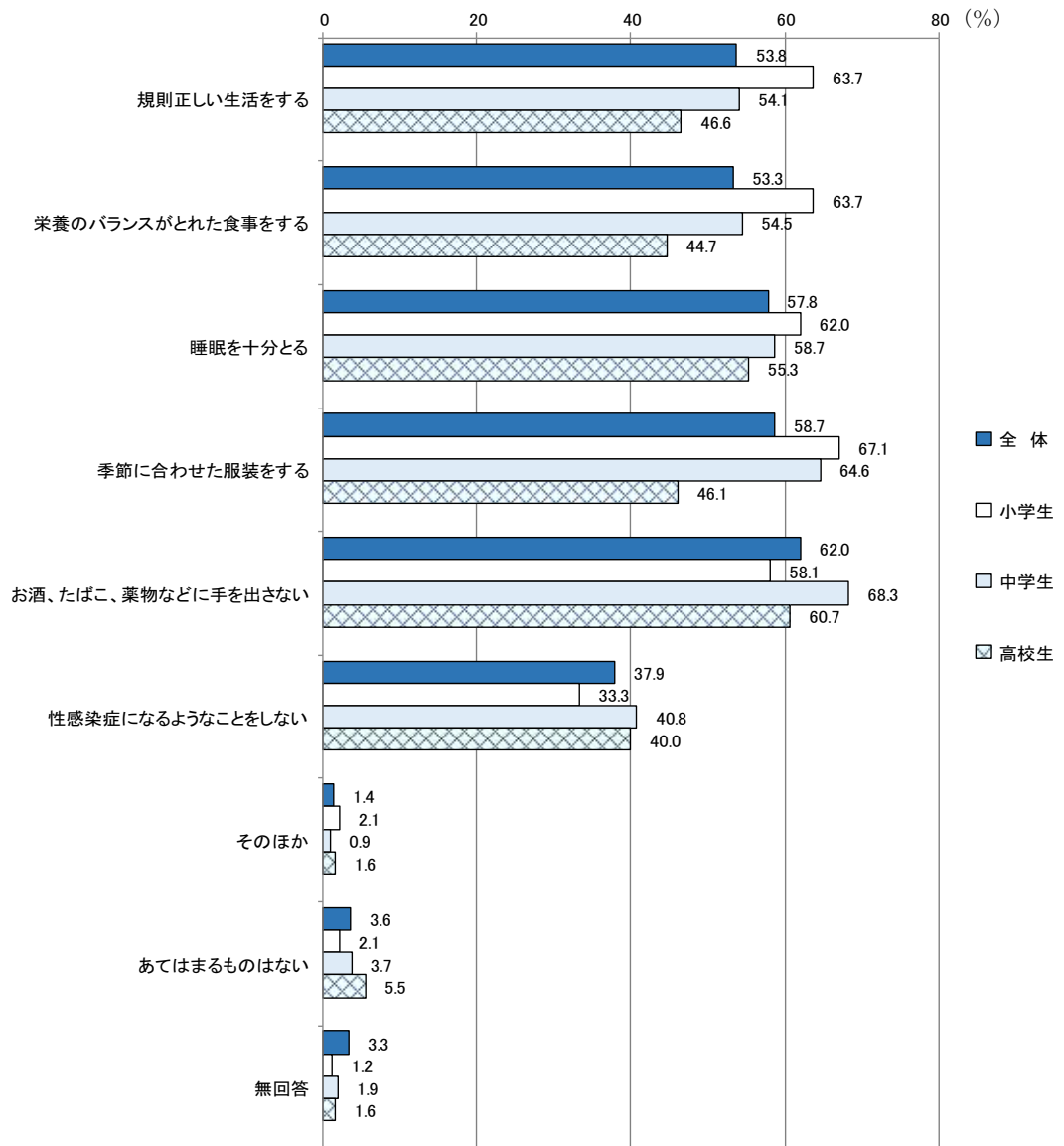


図 自己肯定感・生活満足度と勉強に対する意識

自分自身を大切にするために心がけていることについて 【問51】

■あなたは自分の身体を大切にするために心がけていることはありますか。(複数回答)

◇全体では、「お酒、たばこ、薬物などに手を出さない」が62.0%で最も多く、「季節に合わせた服装をする」が58.7%、「睡眠を十分とる」が57.8%、「規則正しい生活をする」が53.8%、「栄養のバランスがとれた食事をする」が53.3%となっている。



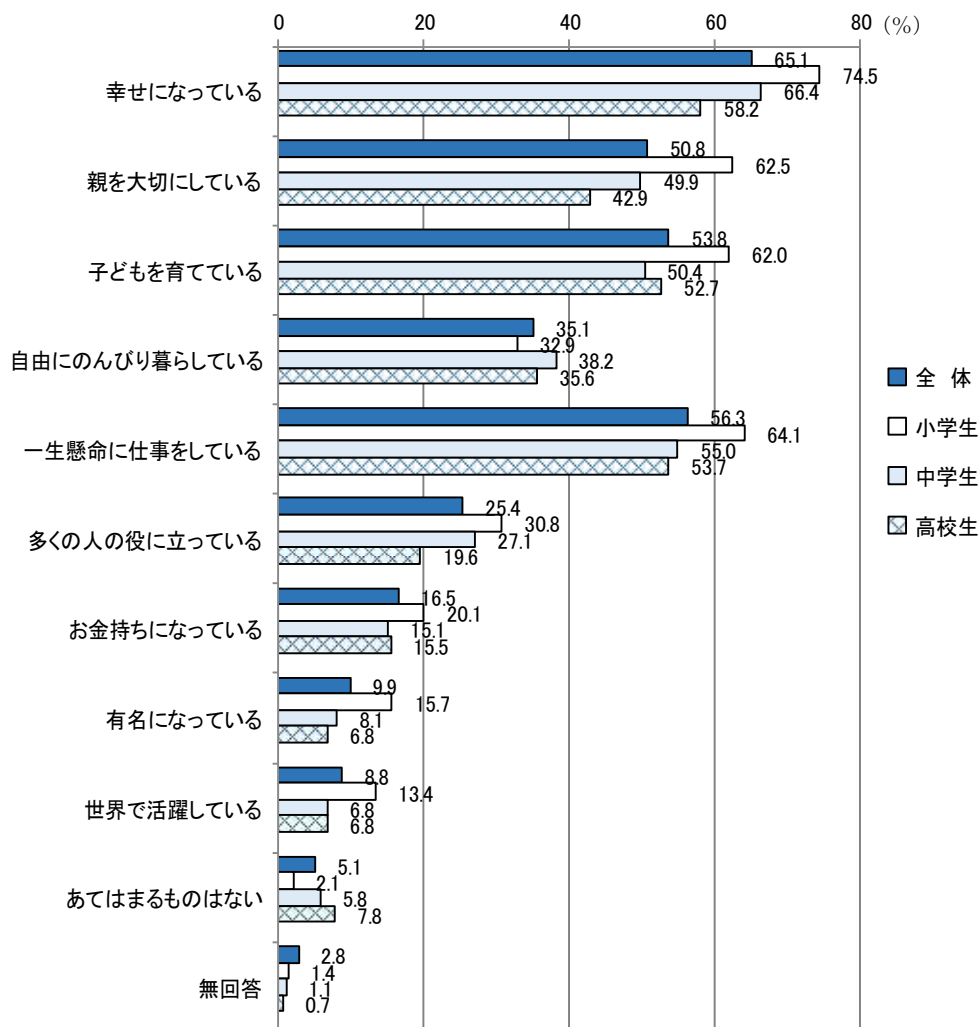
回答数 全体=4,917 小学生=1,526 中学生=1,984 高校生=1,323

## 40歳になったときの状態について 【問52】

■あなたが40歳くらいになったとき、次のような状態になっていると思いますか。

(複数回答)

◇全体では、「幸せになっている」が65.1%で最も多く、次いで「一生懸命に仕事をしている」が56.3%、「子どもを育てている」が53.8%、「親を大切にしている」が50.8%となっている。

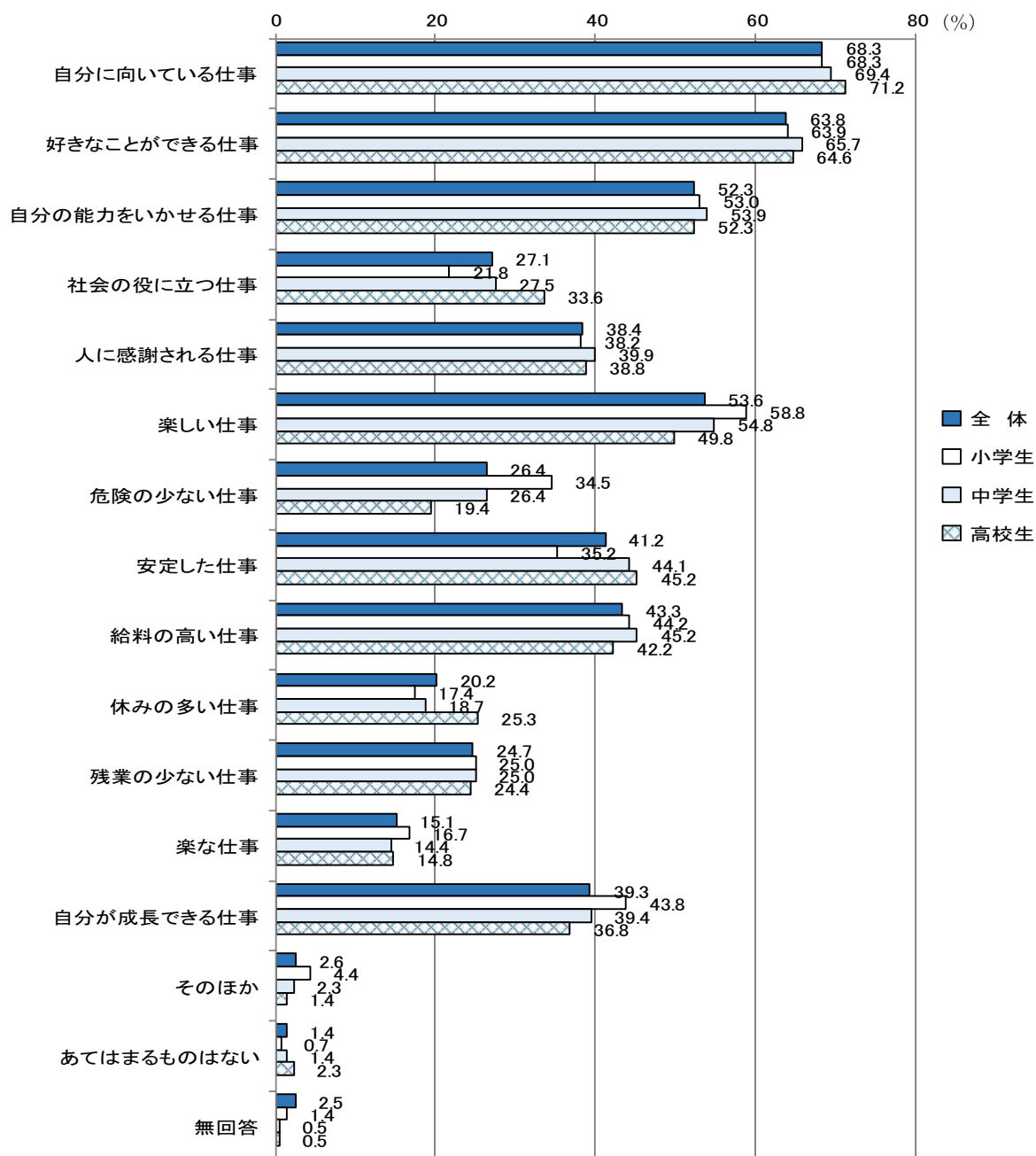


回答数 全体=4,883 小学生=1,640 中学生=1,849 高校生=1,316

## 将来の仕事について 【問53】

### ■あなたは将来どんな仕事をしたいですか。(複数回答)

◇ 全体では、「自分に向いている仕事」が68.3%で最も多く、次いで「好きなことができる仕事」が63.8%、「楽しい仕事」が53.6%、「自分の能力をいかせる仕事」が52.3%となっている。



回答数 全体=7,707 小学生=2,277 中学生=3,019 高校生=2,289

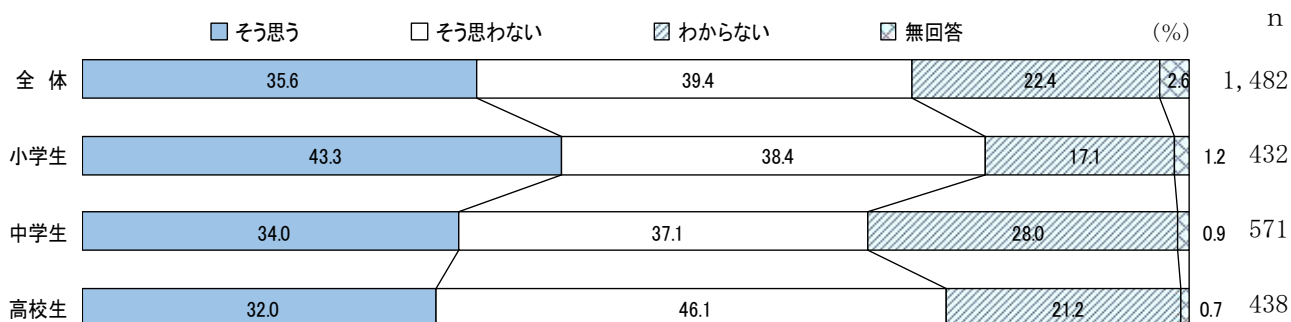


大人になることについて 【問54】

■あなたは早く大人になりたいと思いますか。(1つ)

◇全体では、「そう思わない」が39.4%と最も多く、次いで「わからない」が22.4%となっている。

◇高校生になるにつれて、早く大人になりたいと「思う」割合が低くなる。



『大人になること (子ども 問54) と親の暮らし向きを意識 (就学後 問31)』

●親が暮らし向きを「大変ゆとりがある」「苦しい」と回答した子の方が「早く大人になりたい」と思う子の割合が高い。

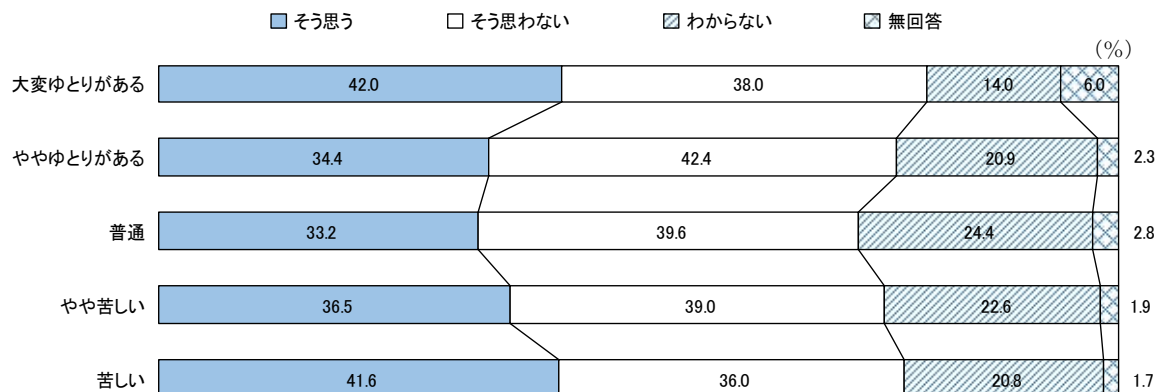
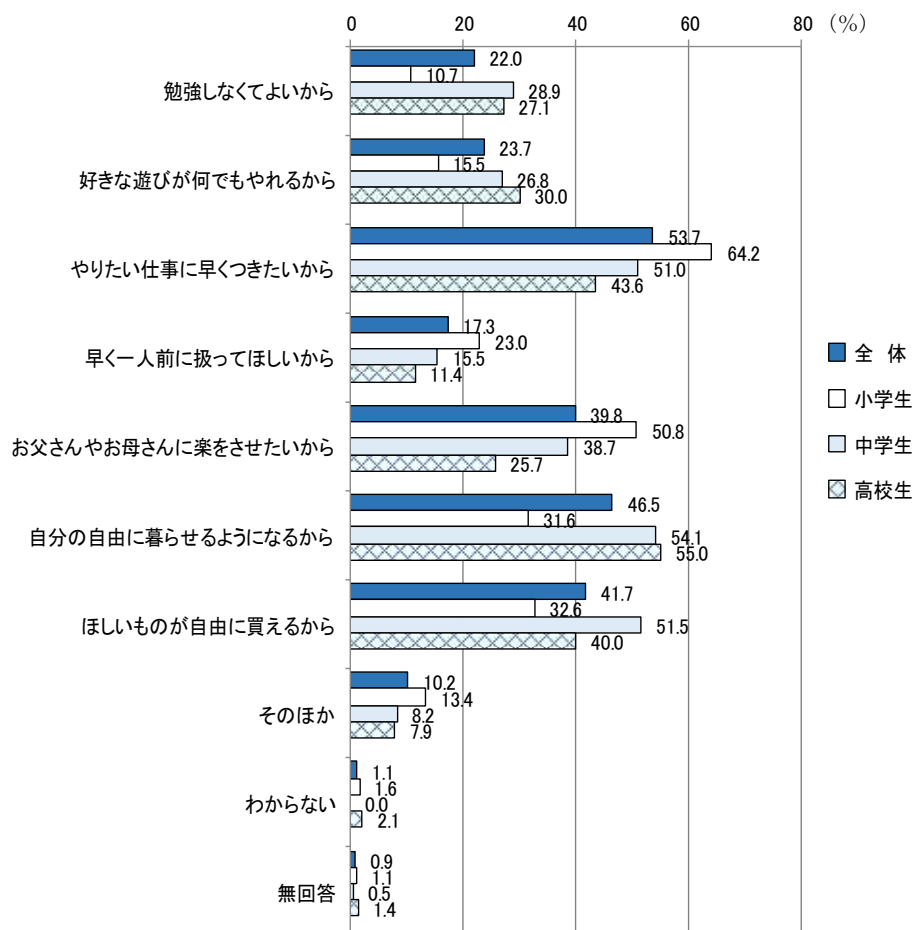


図 親の暮らし向きを意識と早く大人になりたいと感じる割合

## 大人になりたい理由について【問55】

### ■早く大人になりたいと思う理由として、あてはまると思うもの。(複数回答)

- ◇ 全体では、「やりたい仕事に早くつきたいから」が53.7%で最も多く、次いで「自分の自由に暮らせるようになるから」が46.5%、「ほしいものが自由に買えるから」が41.7%、「お父さんやお母さんに楽をさせたいから」が39.8%となっている。
- ◇ 小学生は、「やりたい仕事に早くつきたいから」が64.2%、「お父さんやお母さんに楽をさせたいから」が50.8%と割合が高く、高校生では、「自分の自由に暮らせるようになるから」が55.0%と割合が高くなる。

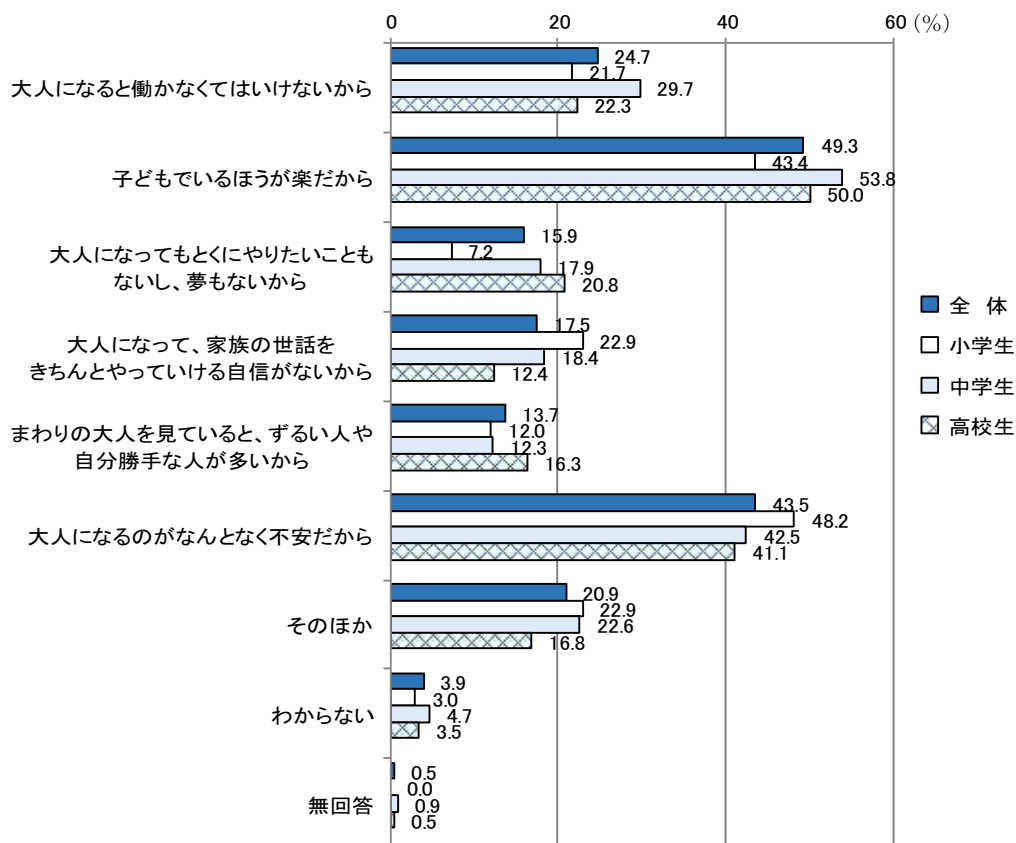


回答数 全体=1,350 小学生=455 中学生=533 高校生=340

## 大人になりたくない理由について 【問56】

■早く大人になりたくないと思う理由としてあてはまると思うもの。(複数回答)

◇ 全体では、「子どもでいるほうが楽だから」が49.3%で最も多く、次いで「大人になるのがなんとなく不安だから」が43.5%となっている。



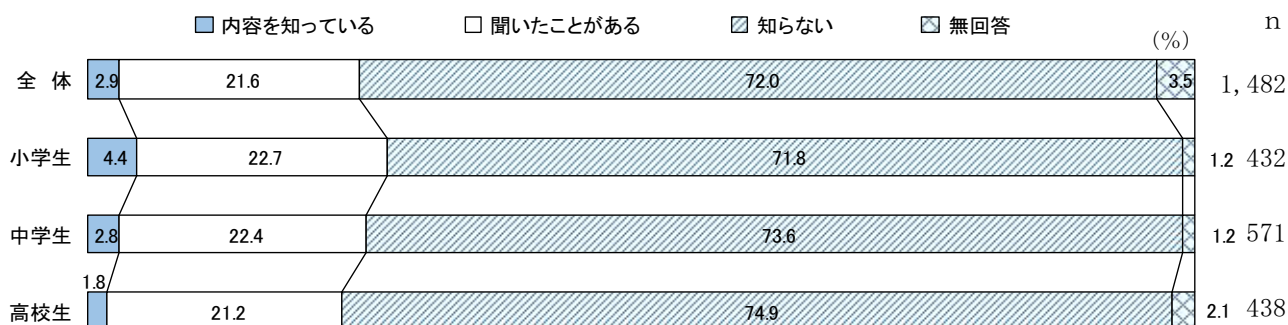
回答数 全体=1,106 小学生=301 中学生=428 高校生=370

## なごや子ども条例を知っているかについて 【問57】

■なごや子ども条例を知っていますか。(1つ)

◇ 「知らない」が72.0%と全体の70%以上を占める。

◇ 小学生の「聞いたことがある」割合が22.7%で、高校生になるにつれて低くなる。



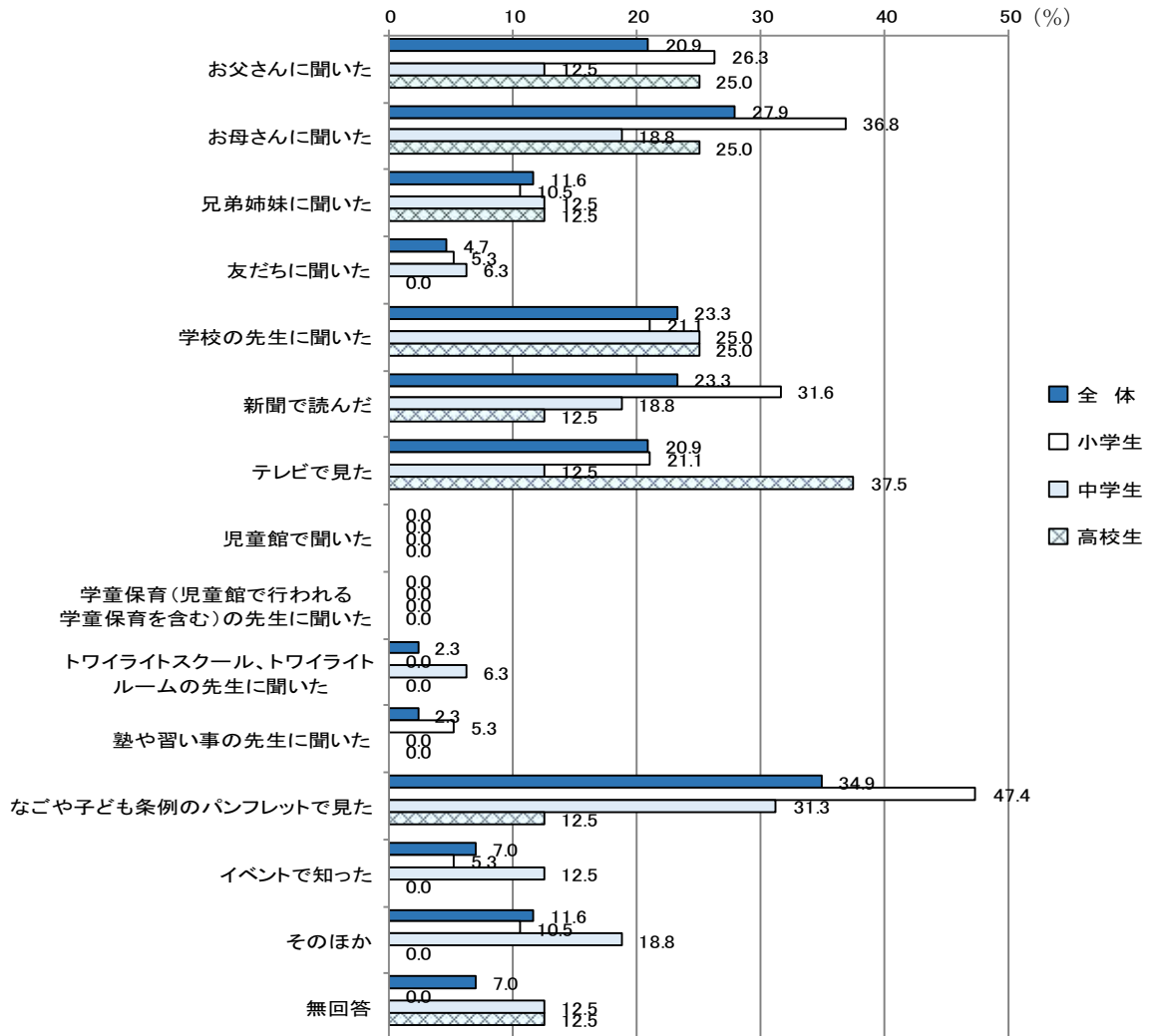
【前回調査との数値比較】

	内容を知っている+聞いたことがある		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全 体	21.4	24.5	3.1
小学生	25.3	27.1	1.8
中学生	20.9	25.2	4.3
高校生	18.9	23.0	4.1

なごや子ども条例をどのように知ったかについて 【問58】

■なごや子ども条例をどのように知りましたか。(複数回答)

◇ 全体では、「なごや子ども条例のパンフレットで見た」が 34.9%で最も多く、次いで「お母さんに聞いた」27.9%、「学校の先生に聞いた」「新聞で読んだ」が 23.3%となっている。



回答数 全体=82 小学生=14 中学生=28 高校生=12

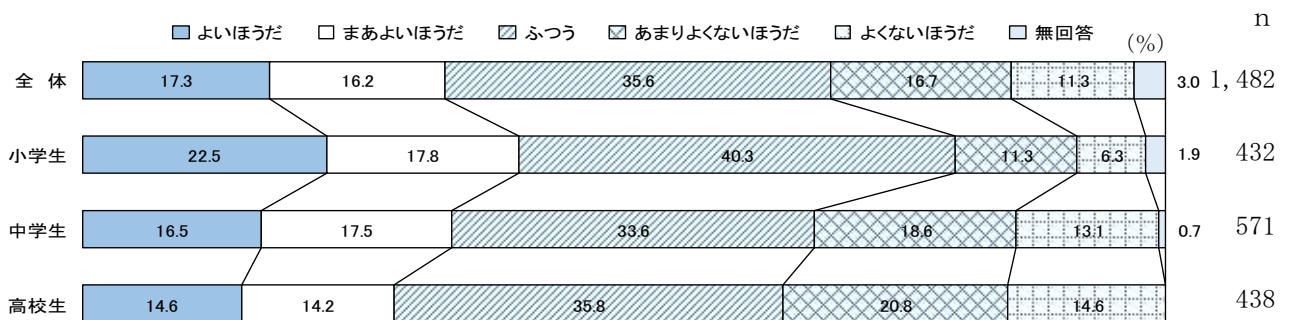
【前回調査との数値比較】

	どのように知ったのか		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
お父さんに聞いた	8.5	20.9	12.4
お母さんに聞いた	25.4	27.9	2.5
兄弟姉妹に聞いた	3.4	11.6	8.2
友だちに聞いた	8.5	4.7	▲ 3.8
学校の先生に聞いた	45.8	23.3	▲22.5
新聞で読んだ	28.8	23.3	▲ 5.5
テレビで見た	16.9	20.9	4.0
児童館で聞いた	3.4	0.0	▲ 3.4
学童保育（児童館で行われる学童保育を含む）の先生に聞いた	3.4	0.0	▲ 3.4
トワイライトスクール、トワイライトルームの先生に聞いた	1.7	2.3	0.6
塾や習い事の先生に聞いた	3.4	2.3	▲ 1.1
なごや子ども条例のパフレットで見た	44.1	34.9	▲ 9.2
イベントで知った	11.9	7.0	▲ 4.9

自分の成績について 【問 6 1】

■あなたは自分の成績についてどう思いますか。

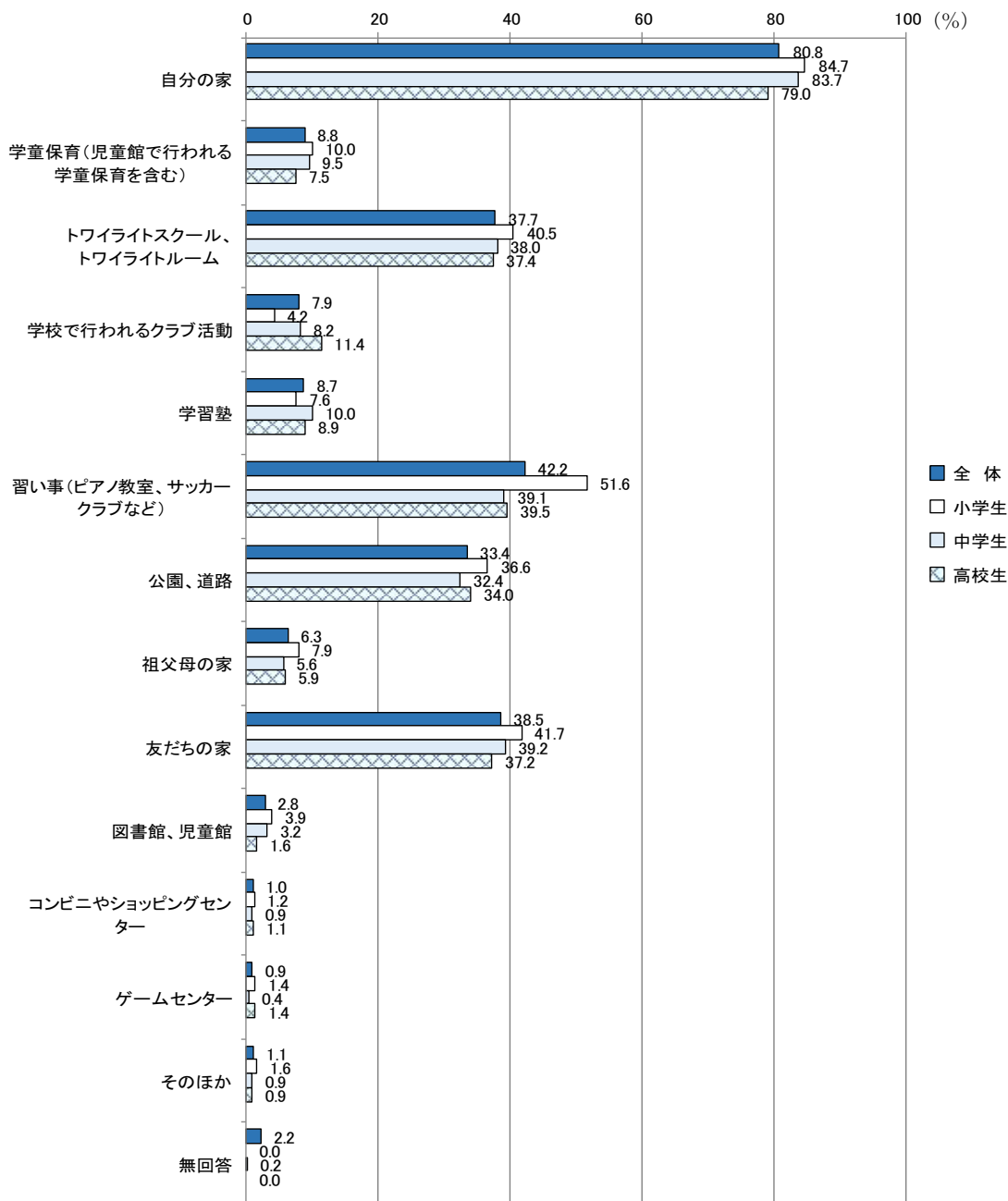
- ◇ 全体では、「ふつう」が 35.6%と最も多く、次いで「よいほうだ」が 17.3%、「あまりよくないほうだ」が 16.7%、「まあよいほうだ」が 16.2%、「よくないほうだ」が 11.3%となっている。
- ◇ 高校生の自分の成績がよいと感じている割合（よいほうだ+まあよいほうだ）が一番低い。



小学校低学年の頃に平日の授業後に過ごした場所について 【問62】

■あなたは小学校の1年生から3年生のころ、平日の授業後にどこで過ごしていましたか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「自分の家」が80.8%と最も多く、次いで「習い事」が42.2%、「友だちの家」が38.5%、「トワイライトスクール、トワイライトルーム」が37.7%、「公園、道路」が33.4%となっている。
- ◇ 小学生の場合、「自分の家」「習い事」「友だちの家」「トワイライトスクール、トワイライトルーム」「公園、道路」の割合が高く、中学生、高校生は「学校で行われるクラブ活動」の割合が小学生より高い。

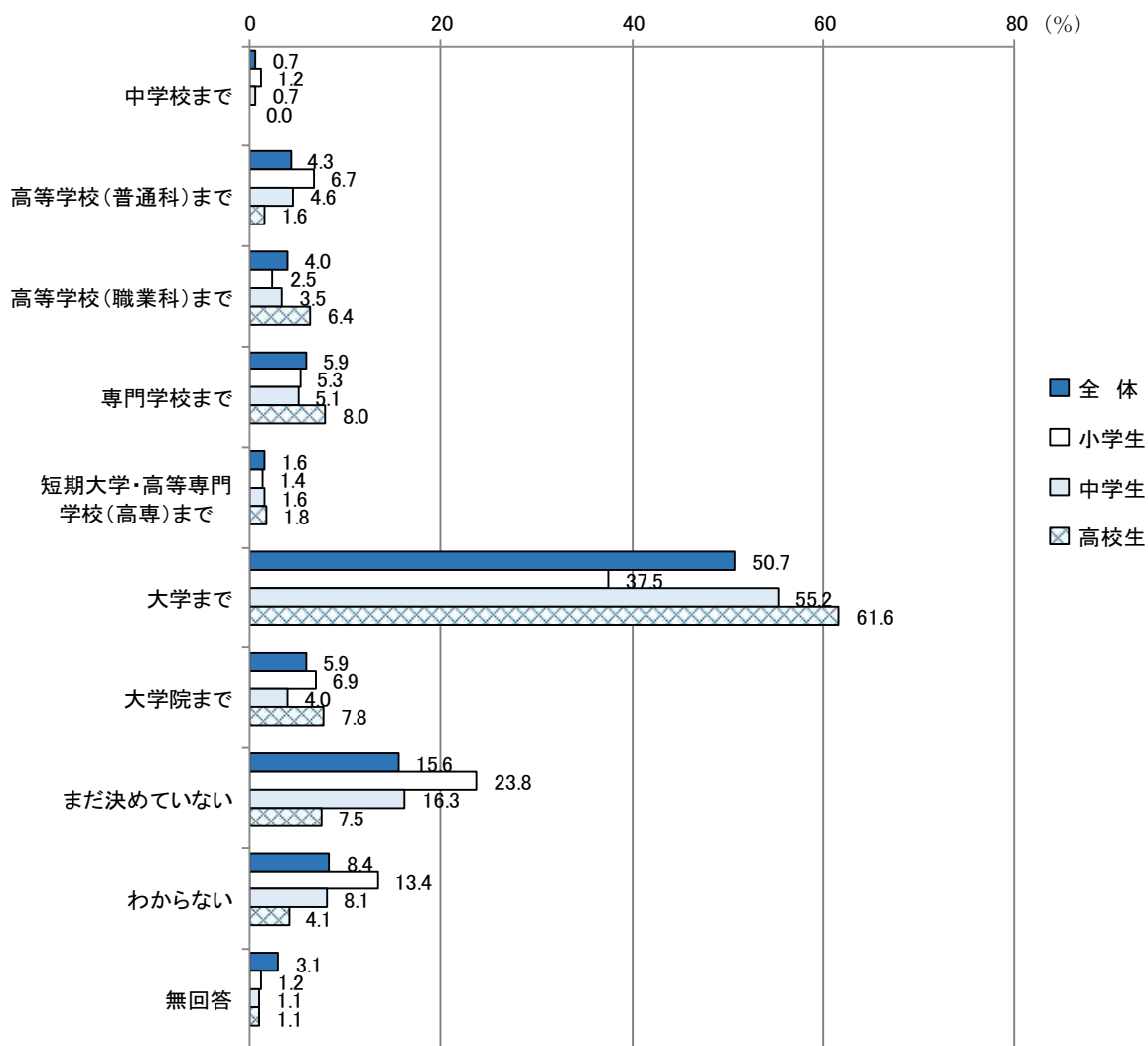


回答数 全体=4,036 小学生=1,265 中学生=1,548 高校生=1,165

## 進学最終目標について 【問63】

### ■ あなたの進学最終目標はどこですか。

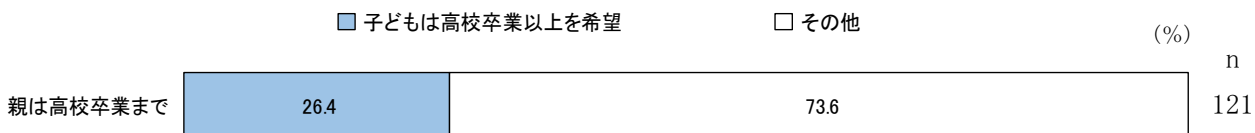
- ◇ 全体では、「大学まで」が50.7%と最も多く、次いで「専門学校まで」「大学院まで」が5.9%、「高校（普通科）まで」が4.3%となっている。また、「まだ決めていない」が15.6%である。
- ◇ 「大学まで」と回答した人は高校生で最も高い。



回答数 全体=1,482 小学生=432 中学生=571 高校生=438

### 『最終進学目標（子ども 問63）と親が希望する子どもの進路（就学後 問51）』

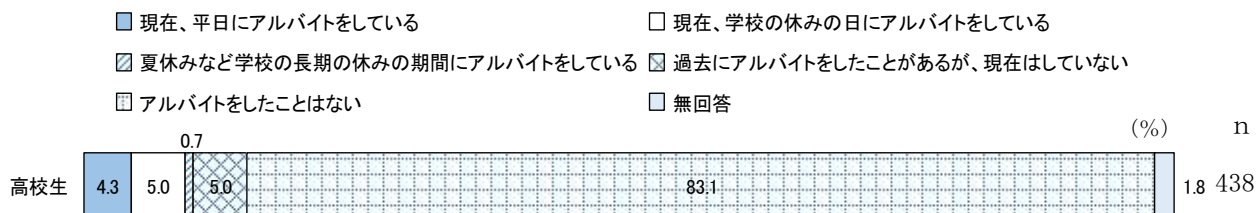
- 親が高校卒業までの進学を考えている子どものうち26.4%は高校卒業以上の進学（専門学校～大学院）を希望している。



高校生のアルバイトについて 【問64】

■あなたはアルバイトをしていますか。(高校生のみ)

◇ 「アルバイトをしたことはない」が83.1%と最も多く、次いで「現在、学校の休みの日にアルバイトをしている」「過去にアルバイトをしたことがあるが、現在はしていない」が5.0%、「現在、平日にアルバイトをしている」が4.3%となっている。





## ～自由意見～

自分の将来の夢や、大人に対して言いたいことなど、ご自由にお書きください。

- ◇ 「将来の職業・夢」は45.2%と最も多く、次いで「大人に対して」が16.9%、「子どもの気持ち」が12.5%であった。

表 子どもの意見の概要・件数

	件数 (件)	構成比 (%)
将来の職業・夢	166	45.2
子どもの気持ち	46	12.5
大人に対して	62	16.9
社会への関心	29	7.9
行政への意見等	31	8.4
その他	33	9.0
合計	367	100.0

主な意見は、以下のとおりである。

### (1) 将来の職業・夢 (166 件)

- ・自分の将来の夢はメジャーで世界一の投手になること。
- ・将来の夢はファッションモデルや女優など芸能人になりたいと思っています。
- ・自分の将来の夢は保健師さんです。理由はみんなの健康を守るからです。
- ・保育士になりたい。けど、お給料が少ないとニュースで聞いたから保育士のお給料を上げてほしい。
- ・将来の夢は図書館で働くことです。
- ・将来の夢・・・獣医。

### (2) 子どもの気持ち (46 件)

- ・小中学生でも参加できるボランティアなどをふやしてください。
- ・部活の時間を減らすなー！
- ・いじめがなくなれば良いと思っています。災害の被害も減れば良いと思います。
- ・早く大人になりたい。
- ・勉強も習い事もがんばります。

### (3) 大人に対して (62 件)

- ・子供の意見を尊重しよう。
- ・「SNS が全て悪い」と言った発言は控えてほしい。リラックスできる面もある。
- ・親が過保護すぎて本当に困る
- ・マナーが悪い大人が多い。
- ・自分は進路についてよく悩むから、大人の人たくさんアドバイスしてほしいです。
- ・大人に対して言いたいことは、子どもかもしれないけど、ちゃんと一人の人として接して欲しいなと思うときがある。

#### (4) 社会への関心 (29 件)

- ・ 18 歳になったら積極的に選挙に参加したい
- ・ ズルやイケズやウソはつかないようにしてください。日本の政治をよくしてくださいよろしくお願いします。
- ・ ぜいきんをへらしてほしい。
- ・ もっと大人がこの国を平和にしてほしい。
- ・ 犯罪の少ない平和な世の中にしてほしい。
- ・ 地球温暖化を進めないで。

#### (5) 行政への意見等 (31 件)

- ・ 私立高校の授業料の値下げをして欲しい。
- ・ 名古屋城の木造化、楽しみです。
- ・ 給食をもっとおいしくしてください。
- ・ 公園の遊具の種類をもっと多くしてください。
- ・ とても住みやすいいい町だと思う。自分が大人になっても、この場所に住み続けようと思う。次の世代でもこのいい町を守りつづけて欲しい。
- ・ 子供が安心して大人になりたいと思える社会を作って欲しい。

#### (6) その他 (33 件)

- ・ がんばってください。
- ・ このアンケートの人に意見です。このアンケートは小学生には少し難しいところが何個かあって、親に聞いてしまったので小学生にもわかるかんじにしてほしいです！
- ・ このアンケート結果で皆が満足できる働きができますか。